OPEN CAMPUS 2025

事前予約制

7.20 SUN / 8.10 SUN

詳細はホームページをご確認ください。

ACCESS MAP

公共交通機関をご利用の場合

新潟 → 上越新幹線 約1時間15分
金沢 → 北陸新幹線 約1時間50分
長野 → 北陸新幹線 約50分
東京 → 上越・北陸新幹線 約50分

→ 高崎

高崎駅西口 → 群馬バス（2番乗場）
- 本郷経由室田行
- 高崎経済大学経行
- 沖経由箕郷行
- 榛名湖行

→ 経済大学前 下車

高崎駅西口 → 市内循環バスぐるりん（4番乗場・系統番号3 経大先回り） → 高経大前 下車

→ 高崎経済大学

お車でお越しの場合

関越自動車道　前橋I.C.より約16分（国道17号利用）
高崎I.C.より約20分（県道27号利用）

周辺MAP

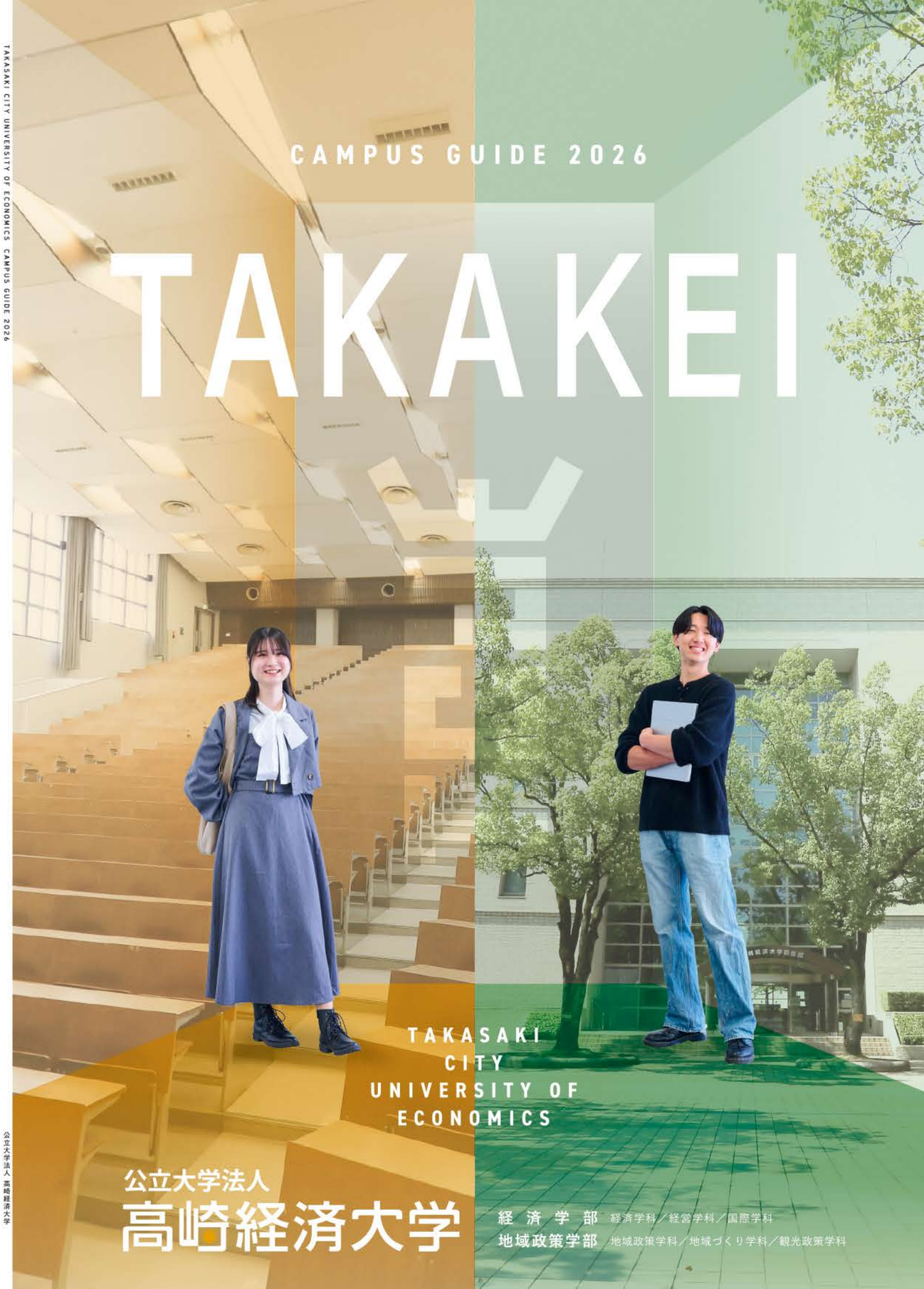
公立大学法人
高崎経済大学
［発行］ 経済学部 地域政策学部

〒370-0801　群馬県高崎市上並榎町1300番地
TEL.027-343-5417　FAX.027-343-4830

@tcue_PR　YouTube 高崎経済大学公式チャンネル

WEB SITE
https://www.tcue.ac.jp/

TAKASAKI CITY UNIVERSITY OF ECONOMICS CAMPUS GUIDE 2026



CAMPUS GUIDE 2026

TAKAKEI

TAKASAKI CITY UNIVERSITY OF ECONOMICS

公立大学法人
高崎経済大学

経済学部　経済学科／経営学科／国際学科
地域政策学部　地域政策学科／地域づくり学科／観光政策学科

公立大学法人 高崎経済大学

世界を見据える知識、
地域を変える行動力。

持続可能な明日を目指し、
「地域」に拠って、
「世界」を学び、
未来をつくるひとになろう。

LOCAL
SUSTAINABLE
FUTURE
GLOBAL

CONTENTS

【巻頭特集】
高崎経済大学が目指すもの P02
卒業生メッセージ P04
内定者メッセージ P06
高経大の特徴〈実践的学び〉 P08
高経大の特徴〈人材育成〉 P10
高経大の雰囲気・校風 P12
高崎の魅力紹介 P14
高経大生ライフ〈暮らし〉 P16
高経大生ライフ〈クラブ・サークル〉 P18
数字で見る高崎経済大学 P19

学長メッセージ／大学紹介 P20

学部・学科インデックス P22
【経済学部】 P24
教員&ゼミ紹介 P27
経済学科 P30
経営学科 P32
国際学科 P34
【地域政策学部】 P36
教員&ゼミ紹介 P39
地域政策学科 P42
地域づくり学科 P44
観光政策学科 P46
海外研修プログラム・支援事業 P48
充実の英語教育／留学体験記 P50
キャリアサポート P52
就職実績 P54
学費・奨学金制度 P56
大学院紹介 P57
キャンパスマップ／年間行事予定 P58

2025年度 入学者選抜実施状況 P60
2026年度 入学者選抜情報 P61
入試情報／経済学部 P62
入試情報／地域政策学部 P64

巻頭特集
EDUCATION

高崎経済大学が目指すもの

国際性と地域性の融合

世界で、地域で、力づよく活躍できる人材の育成

世界と渡り合う力を
身に付ける
グローバル教育

国や地域を超えての人やモノの移動が当たり前となり、異文化と触れ合うことが日常となった現代。多様な価値観を持つ人々と交流し理解を深め合うためには、幅広い教養や国際感覚、また、その土台となる語学力が必要です。本学は英語教育をはじめとする外国語教育に力を入れ、世界でも地域でも通用する人材の基礎づくりを行っています。また、英語副専攻(※詳細p50)も設けています。

専門知識を持つ教員たちと
「地域」について学び、考える

日頃何気なく使っている「地域」という言葉。でもよく考えてみると、「地域」とはどのような範囲や場所を指すのでしょう？「地域」にはどんな可能性があり、どんな問題を抱えているのでしょう？ 少子高齢化とも深い関わりを持つ「地域」の問題を、専門知識の豊富な教員たちと共に掘り下げることは、私たちを取り巻く社会について、改めて丁寧に考えてみることでもあります。

世の中を駆動する
「経済」について深く知る

いま、世界も地域も「経済」で動いていると言っても過言ではありません。「経済」は、多くのレベルや段階に分けて見ることができると同時に、無数の事象が絡み合って複雑な動きをするものでもあります。経済を知ることは、世界や地域を知ること、そして人間を知ることにつながります。本学は「経済」にアプローチするための多くの手段と個性豊かな教員をそろえ、学生の興味・関心に応えます。

英語の授業には「General English」「Business English」の2種があり、多様な活動を通して英語の読む・聞く・話す能力を高めます。グローバルに活躍できる力が育まれます。

地域政策学部
地域政策学科 3年
石川 晃久
茨城県・水城高等学校 出身

本学では、授業はもちろんゼミやサークル活動を通して地域と関わることができます。全国各地から学生が集まることも、さまざまな地域について考えるきっかけになります。

地域政策学部
観光政策学科 3年
上村 菜々
群馬県立太田東高等学校 出身

大学で学ぶ「経済」は、心理学や数学など幅広い分野に関わる、とても自由度の高い学問。交通の要衝であり、都市と郊外の両面を持つ高崎では、生の経済活動を広く経験できます。

経済学部
経済学科 3年
南 空優
群馬県立高崎高等学校 出身

主体性と自律性の向上

自らの生き方を自在にデザインできる力の育成

「生きる力」につながる
充実の
教養教育科目

複雑化し未来を予測しにくくなっている現代において、真の「生きる力」は、各人の中に芯としてつくられる「本質を捉え、対応する能力」から生まれます。本学は専門科目以外にも多くの教養教育科目を設けています。それは、人間としての根幹を形成し、ひいては固定概念からの解放をもって人間を自由にする「リベラル・アーツ」としての教養教育科目を重視しているからです。

自ら学ぶ姿勢を育てる
アクティブラーニング＆必修のゼミナール

学びは本来、主体的な活動です。その大前提を踏まえ、本学では、学修にアクティブラーニングの手法を多く取り入れるとともに、ゼミナールを必修とし、能動的に学ぶ姿勢を培っています。調査や議論の手法、プレゼンテーション技術、人前で話すことへの慣れなど、社会で活躍するために必須の多くの素養が身に付きます。

知識を基に
「実践」することで学問を深める

書物や講義を通じて基礎知識を学んだ上で、学んだことを実践してみることは発見につながり、新たな気付きや考えの深まりをくれます。それが学問することの面白さです。ボランティアやNPO活動への参加、ゼミ活動でのフィールドワークなど、学内外での多彩な活動を通じて、実践による学びの深まりや喜びがもたらされます。

ファイナンシャルリテラシーやデータサイエンスなど具体的に有用なスキルが身に付く一方、「社会学」で得た"全体を客観視する力"は、壁を乗り越える際の力になると思います。

経済学部
経営学科 2年
松岡 琴音
茨城県立藤代高等学校 出身

周囲の人と意見を交換する機会が多く、そのたびに新しい発見があります。多様な参加型学習により、プレゼンテーション力、文書作成力、データ検索力が向上しています。

地域政策学部
地域づくり学科 3年
大澤 脩平
群馬県立太田高等学校 出身

本学はボランティアやNPO活動に参加しやすい環境が整っています。私は「キングオブバスタ2024」に関わり、多くの人と協力する中で、自分で考え、行動する力が身に付きました。

経済学部
経営学科 3年
大西 麻友
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 出身

巻頭特集 EDUCATION

それぞれの想い、独自のスタイル　を持って活躍する卒業生たち。

01

自分の力を試す

いつの日か、自分で番組制作を!

日々の仕事の中でやりがいを感じる瞬間は、CMのご契約をいただいたとき。著名な企業の方と会話をし、青森でのCM出稿をいただく瞬間は、すごい世界で仕事をしていると感じます。また、ねぷた祭でスマホゲームのねぷたをプロデュースした際は、クライアント様、広告代理店の方、ユーザーの方が喜ぶ様子をリアルで実感し、大きな感慨を得ました。将来的な目標としては、番組制作に取り組めたらと考えています。

大学時代を思い返すと、キャリアの授業が最も印象に残っています。自分が何をしたいかを見つめ直し、憧れていた放送業界へと実際に進むきっかけをつくってくれました。

高校生の皆さんには、大学に入ったらぜひ、主体的に動き、いろいろなことに挑戦していってほしいです。それができた人はきっと、その後の人生も充実して歩んでいけるはずです。

青森朝日放送株式会社
東京支社営業部
松村 爽楽さん
2021年度 地域政策学部 地域づくり学科 卒業
（青森県立八戸北高等学校 出身）

03

ふるさとに貢献する

地元に貢献したいとの思いから就職先を選択

現在、主に個人のお客様に対する資産運用のご提案を行っています。最初は慣れないことも多かったですが、経験を重ねるごとに知識も増え、よりお客様のニーズに寄り添ったご提案ができるようになりました。私の役割は、人が生きていく上で欠かせないお金に関する不安や悩みを解消し、よりよい未来につなげていくためのお手伝いをすることだと考えています。

大学で学んだ金融学は、今の業務に生かせる部分も多く、とても役に立っています。その他にも、多くの講義を通して論理的思考力やコミュニケーションスキルを身に付けることができました。また、米国に短期留学した際には、現地の学生が自分の意見をしっかり持ち、それを堂々と周りに伝えている姿に刺激を受けました。こうした大学生活でのさまざまな経験が、社会人としての考え方や行動の基礎になっています。

株式会社群馬銀行
桐生支店 渉外係
平澤 千佳さん
2020年度 経済学部 経済学科 卒業
（群馬県立前橋女子高等学校 出身）

世界で、　地域で。

02

成長のその先へ

大学での経験が、社会に出て力になる

大学で環境系のゼミに所属しており、環境問題に関わる仕事に就きたいと考えていました。同時にサークルでの経験から、一緒に働く人を支える仕事に向いていると感じ、庶務や契約・予算で職員を支える現職を選びました。初めは分からないことばかりでしたが、今では業務に関する質問に対し的確に答えられるようになり、自分の成長とやりがいを感じています。将来的には国際会議等の責任の大きい業務も経験してみたいと考えています。

大学でレポートや論文をたくさん書いた経験は文書作成能力を向上させ、文章量の多い資料や期限の短い資料を作成する際に役立っています。また、サークルでのリーダー経験を通じ、指示を出したりお願いをしたりする際の伝え方や、さまざまな関係性の調整の方法を学ぶことができました。

環境省
水・大気環境局環境管理課
高桑 崚汰さん
2022年度 地域政策学部 地域づくり学科 卒業
（新潟県立高田北城高等学校 出身）

04

信念に従って励む

経験を積み、周囲から信頼される県職員に

産業関係の部署から異動し、現在は県内にお住まいの方の生活保護のケースワーカーをしています。各世帯が抱える課題を発見して解決につながる策を講じ、自立を支援することが仕事です。生活全般の支援を行うため法律や制度など幅広い知識が求められます。知識不足を痛感することもありますが、その分新しい発見があることに面白さを感じています。

実は、入学時にはUターン就職も公務員も考えていませんでした。地元を離れたことで、地元の強みや弱みに気付き、大学での学びを生かしてふるさとの発展に寄与したいと考えました。

大学の講義やゼミでは、答えのない課題にアプローチする楽しさを知りました。物事に対する前向きな姿勢や、事象を多角的に捉える視点も養われました。それらは、多様化する行政へのニーズに応える上で大変役立っています。

山梨県庁
富士・東部保健福祉事務所 主事
河西 里奈さん
2021年度 地域政策学部 観光政策学科 卒業
（北杜市立甲陵高等学校 出身）

巻頭特集
EDUCATION

ここから始まる。

防衛省〔専門職〕

知識・スキルの向上に絶えず努め 日本の安全保障に貢献できる人材に

自身の海外生活の経験を通して領土問題に興味を持ち、安全保障に関する仕事をしたいと考えました。防衛省専門職は、語学力と安全保障に関する知識を生かし、各国との防衛協力や交流、通訳や翻訳に加え、在日米軍との折衝など防衛外交に深く関与できることに魅力を感じました。
就職活動においてはキャリア支援センターの就職相談に助けられました。困ったことがあったときに訪ねるとカウンセラーの方が親身になって相談に乗ってくださり、不安解消につながりました。また大学内の公務員講座も充実していて、筆記試験の対策はもちろん、面接対策が大学内でできることがよかったです。
今後も、語学力や安全保障に関する知識を学び続け、自信を高めていきたいです。

梶山 慧人
経済学部 国際学科 卒業
新潟県立小千谷高等学校 出身

東京海上日動火災保険株式会社

変化を恐れず、何事にも 挑戦し続ける社会人でありたい

損害保険業界を志望したのは、人々の日常生活や企業の挑戦を基盤から支えることができると考えたからです。中でも内定先は、国内外に広がるネットワークと専門性の高さを基軸にして、多くのお客様の課題解決に広く寄与できる点に魅力を感じました。
就職活動中は、キャリア支援センター実施の就職相談会において、志望動機の添削から内定先選定まで相談に乗っていただき、安心して活動に臨めました。また、先輩方の就職活動体験談を読み、想定質問の準備や面接の流れの把握をしました。所属していた英語研究部の弁論活動で培った「課題分析力」と「柔軟な発想力」は、内定先の企業から高く評価されたと感じます。

北山 雄大
地域政策学部 地域政策学科 卒業
新潟県立新発田南高等学校 出身

MY STARTING POINT

Messages from New Graduates

中部電力株式会社

苦手克服を目指し頑張った4年間の 成長を自信に、今後も前向きに挑戦！

生まれ育った地域や身近な人が抱える課題を一緒に解決したいという思いからインフラ業界を志望。中でも内定先企業は、電力供給だけでなく、電柱や電力使用データなどを社会課題の解決に生かすための新規事業に熱心に取り組んでいる点が魅力でした。また、関わらせていただいた社員の方々が皆、「誰かのために動く」ということにやりがいや楽しさを感じていることが、入社の決め手でした。
近年は業界を問わず多くの企業が地域とのつながりを強く意識しているため、講義やゼミで普段から考えていた地域課題に対する問題意識や意見を伝えることで、他の就活生との差別化ができたと感じます。部活動での経験も、面接やグループワーク等の際に円滑なコミュニケーションを図ることに役立ちました。

近藤 桃歌
地域政策学部 地域づくり学科 卒業
長野県飯田高等学校 出身

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

「妥協しない」をモットーに、 自分の最大限を発揮していきたい

「入社した会社で腰を据えて励み、同僚やお客様、地域とのつながりを得ることが、自分の自信につながる」と考え、長く勤められる会社への就職を目指しました。今後の成長が見込めるIT業界、かつ富士フイルムグループの会社であるという安定感も兼ね備えている点が魅力で、内定先に入社を決めました。
企業分析や業界分析を行う中では、大学で学んだ財務分析の知識が生きました。また、所属していた井上ゼミの活動を通して、就職したい企業像が明確になりました。私は、高校生が主役の商業祭「熱血！ 高校生販売甲子園」の実行委員として活動し、3年次には約130名の実行委員を指揮するという立場も経験しました。このことに興味を持ってくださる人事の方や役員の方も多かったです。

春木 萌
経済学部 経営学科 卒業
北海道旭川西高等学校 出身

ここから翔ぶ。

巻頭特集 EDUCATION

“実践”により、興味と可能性を広げる。

文献や議論による学びに加え、自ら動き、思考し、試し、結果を見てまた考えるという一連の行動は、視野を広げ、考えを深めます。本学では、地域や企業、自治体等と連携し、実践的に学べる環境を数多く設けています。

フィールドワーク

大学の外に出て調査等を行うことで、自らの仮説を検証したり、新たな発想を得たりすることができます。

ゼミ活動の中で、特産品を活用した商品を開発し群馬県の魅力をより多くの人に伝えることを目指しました。2つの企業の協力を得て、県産梅を使用した梅ウインナーを開発し、販売。仲間と議論を重ね、自信を持てる商品を作り上げることができました。

地域政策学部
観光政策学科 4年
齋藤 優香
岩手県立大船渡高等学校 出身

ボランティア活動・地域貢献活動

活動を通じての多くの人々との出会いは、視野と交流を広げ、コミュニケーションへの洞察を深めます。

学生協働スタッフ

2022年後期から、学生ボランティア活動支援室の運営に学生が参加。教職員と協働で、学生ボランティア活動を推進しています。

高崎ハロウィンをはじめとするイベントの当日ボランティアや、所属している二つのサークルでのボランティア活動などを行っています。多様な人々と交流する貴重な機会となっており、特に子どもたちと関わるボランティアは大きなやりがいを感じます。

経済学部
経済学科 3年
永濱 響輝
茨城県立土浦第一高等学校 出身

学生ボランティア活動支援室

地域では、ボランティア活動に対するニーズがある一方、本学の学生の側にもボランティア活動に参加したいという意欲を持った者がいます。学生ボランティア活動支援室は、このような状況を踏まえ、学生の自主的なボランティア活動の場の選定・マッチングと活動希望学生の教育指導等の支援を行う組織として設置されています。

①学生ボランティア活動に関する情報発信

②学生ボランティア活動の支援・教育

- 地域や学外団体との連携によりボランティア情報の収集を行い、支援室窓口や学生通知システムを通じて学生への情報発信を行います。
- ボランティア登録した希望学生のマッチングコーディネートを行います。
- ボランティア活動希望学生の保険加入や事前研修を行うとともに、学生ボランティアリーダー育成のための指導、教育を行います。

cafe あすなろ

店舗の企画から運営まで、全てを学生が手掛ける「cafe あすなろ」は、地域の人々に支えられ、2025年度で設立12周年を迎えました。運営に携わる学生たちにとっては、貴重な経験と大きな成長の場となっています。

メニュー開発

右の写真は、cafeあすなろの看板メニュー「まんまるチーズinオムライス」。卵にはとろけるチーズが入っており、濃厚なデミグラスソースで食べる、cafeあすなろ特製のオムライスです。

企画

カフェ店員の仕事体験ができるキッズカフェや、音楽コンサートなど、さまざまなイベントをあすなろ店舗内で実施しています。また、「あすなろキッチンカー」で各種イベントにも出店しています。

運営

毎週行う全体会議のほか、マネージャーや事務局を交えた店舗会議も月に2回開催しています。各部門の情報共有を行い、新メニューの開発や出店企画、広報活動などに役立てます。

情報システム管理部門に所属し、売上分析や各種書類のデジタル化、情報共有のためのアプリ整備などを行っています。関わる中で、物事の結果だけを見て終わらせるのではなく、過程で得た気付きを次に生かすことが大切なのだと学びました。

経済学部
経済学科 3年
根本 はぐみ
福島県・日本大学東北高等学校 出身

「cafe あすなろ」で得るもの

「cafe あすなろ」での活動の全てが、社会に出て役に立つ実践的な勉強であると考えています。ここでの活動を通じて、大きく成長することを願っています。

イベント企画／広報活動／メニュー開発／地域との関わり

↓

- 多様性を認識し、コミュニケーションのできる学生
- 経済に通じ、地域を見る目を持って、国の内外において活躍できる学生

「cafe あすなろ」の運営

「cafe あすなろ」は学生が中心となって運営していますが、その運営資金は、高崎市および本学からの支援となっています。

高崎市
↓
高崎経済大学（まちなか教育活動センター運営委員会）
↓ ↓
店舗会議（大学職員・マネージャー・学生代表）
↑ ↑

企画班
イベント企画／イベント運営／広報活動

経営班
メニュー開発／売上分析／人事管理

「cafe あすなろ」の地域貢献

本学の学生は、高崎市や地域の方々に勉強の場をご提供いただいています。その思いに応えるため、積極的に地域に溶け込み地域の活性化に貢献したいと考えています。

cafe あすなろ
↓
市民団体等への施設貸出・文化発信拠点としての充実・地域イベントへの参加協力・自主イベントの開催・学生の成果発表の「場」
↓
高崎市の活性化のために

巻頭特集 EDUCATION

「どこでも活躍できる人」をつくる

現代における社会課題の解決に貢献するためには、実践力やコミュニケーション能力など多くの力が必要です。本学では、あらゆる場所・環境において活躍するための力を育むカリキュラムと学修プログラムを用意しています。

グローバル教育

充実した英語教育で世界を視野に

英語教育は、eラーニングを積極的に活用し、TOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）受験に力を入れています。
さらに、世界の16の国と地域にある大学21校と提携しており、交換留学制度や短期語学研修制度を設けています。留学希望者には助成金制度（海外研修支援事業）も用意し、学ぶ意欲をサポートします。

→詳しくはp48・49へ

ゼミナール（必修）

ゼミナールで各種スキルを養成

高崎経済大学では、経済学部・地域政策学部ともに「ゼミナール（演習）」が必修となっています。指導教員のもとで、問題意識・関心の近い仲間とともに専門書の輪読、フィールドワーク、合宿、ディベート、論文・レポート執筆などを行います。さまざまなゼミナール活動を通じ、専門分野の研究が深められるだけではなく、社会に出て必須となる「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」を養うことができます。ゼミナールは高崎経済大学の「学びの柱」です。

ゼミナールで行う活動

フィールドワーク　プレゼンテーション　ディベート　ディスカッション　卒業論文

データサイエンス教育　2023年度からのNEW PROGRAM

データサイエンスとは

ネットショッピングでの購入履歴やSNSの何気ないつぶやきをはじめとして、日々膨大なデータが生まれ、蓄積されている現代。人の心理や行動をデータで捉えることができる時代において、データを適切に扱い、そこに新しい視点や価値を見出すための学問分野がデータサイエンスです。
「データサイエンス」という言葉から、データの処理や分析をする理系的分野という印象を持つかもしれませんが、その応用範囲は文理を超えた幅広い領域に及びます。データから新たな価値を生み出し、人間活動に応用するためには、人間や社会への深い洞察力が求められます。本学では、人文社会科学の知識や視点を身に付けながらデータの扱い方を学ぶことできます。

本学におけるデータサイエンス教育

本学では、2023年度から全学対象に『データサイエンス入門』、2025年度から『データサイエンス基礎：プログラミング・数学』、『データサイエンス基礎：AI概論』が開講されました。
『データサイエンス入門』では、データサイエンス・AIに関わる世の中の変化や必要性を理解した上で、各自のパソコンを用いてデータを入手、加工、分析する機会を設けています。この科目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けています（認定の有効期間：令和11年3月31日）。
『データサイエンス基礎：プログラミング・数学』では、数理・データサイエンス・AIを学習する上で土台となるプログラミングスキルと、微分積分、線形代数、確率といった数学の基礎を修得します。また、『データサイエンス基礎：AI概論』では、AIの基礎概念を学びつつ、AIリテラシーを身に付けます。この2科目は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」のモデルカリキュラムの内容に相当します。
今後、データを扱う力をさらに伸ばせるような専門的な科目や演習科目の開講を予定しています。

データの背後にある「人」や「暮らし」を想像してみよう

地域政策学部
津曲 達也 准教授

データサイエンスを学ぶことを通じて、学生たちには、身の周りにあふれるデータに気付き、その意味や可能性を考える習慣を身に付けてほしいと考えています。デジタル化が進む現代社会では、データが重要な資源となり、幅広い場面で活用されます。そのため、世の中に存在するさまざまなデータを理解し、それらを分析するための技術や手法をイメージできる能力を身に付けることが重要です。
データは単なる数字や文字の集まりではありません。その背後には「人」や「社会」が存在します。データを扱う際には、それらに想像を及ばせて分析に取り組む姿勢を持ってほしいと思います。
データを素材として、試行錯誤しながら新しい発見をすることや、今までにない価値を創造する過程には、楽しさや充実感があります。データサイエンス教育を通じて、この楽しさを感じてもらえることを願っています。

もともと持っていたデータサイエンスへの興味が深まっています

地域政策学部 観光政策学科
4年
増野 広貴
埼玉県立熊谷高等学校 出身

学部の必修科目「情報基礎Ⅰ」で基本的なアプリの操作方法を学び、発展科目である「情報基礎Ⅱ」でデータ処理やデータ分析を行いました。3年次に履修した「データサイエンス入門」では、情報倫理やデータサイエンスの応用事例と、コンピュータ言語であるPythonやRを使ったデータ分析を体験。さらに「AI・機械学習」でPythonを基礎から学ぶとともに、機械学習の手法を学習しました。Pythonは今後も自主的に学習していきたいです。また、所持しているICTプロフィシエンシー検定2級に加えて、他のデータサイエンス関連の検定・資格にも挑戦予定です。私は情報統計科目の授業補助（Student Assistant）をしているので、その活動でもデータサイエンス教育で学んだ内容を生かしていきたいと考えています。

巻頭特集
CAMPUS LIFE

Spread out from ONE CAMPUS

高経大に広がる雰囲気、育まれる校風

伝統 革新

VOICE
キャンパスは、コンパクトに見えつつも実際に入ると意外に広く、講義棟や教室もたくさんあります。田舎過ぎず都会過ぎない落ち着いた立地で、高崎駅にはバスで行けます。

経済学部 国際学科 4年
土田 翔太
埼玉県立川越高等学校 出身

緑 ゆとり

VOICE
本学は、必修のゼミナールで興味ある分野の学びを深め、英語や他の語学の授業で語学スキルを上げ、経済学以外にも美学や心理学など幅広い学問を学ぶことができる大学です！

経済学部 国際学科 4年
小池 美羽
長野県上田染谷丘高等学校 出身

VOICE
学食は、不足しがちな野菜を小鉢で補えたり、夜7時半まで開いているので夕食が済ませられたりと、ありがたい存在です。期間限定メニューの感想を友達と話すのも楽しいです！

経済学部 経営学科 4年
目黒 愛美
新潟県・中越高等学校 出身

VOICE
全国から学生が集まる本学は、キャンパス内にさまざまな方言が飛び交い、互いの文化・風習の違いを楽しめます。学外の人も本学のこの特色を認識しており、地域の人との会話のきっかけとして出身地の話で盛り上がることも多いです。

地域政策学部 地域づくり学科 4年
脇田 征典
愛知県立安城東高等学校 出身

交流 活力

VOICE
大学図書館は幅広い分野の文献を多く所蔵しています。自習スペースも複数あり、外の景色が眺められる席、隣との仕切りがあり集中できる席など、気分や目的で選んで使っています。

経済学部 経済学科 4年
木暮 文香
群馬県立太田女子高等学校 出身

知識 学び

先生 学生 職員

VOICE
先生方と学生の距離の近さは本学の魅力の一つだと思います。ゼミ合宿でBBQをしたとき、人間関係の悩みについての相談をゼミ生同士でしていたところ、先生がお持ちの知見からアドバイスをくださり、解決に向けて一緒に考えてくださいました。

地域政策学部
地域政策学科 4年
宮崎 穂佳
群馬県立
渋川女子高等学校 出身

VOICE
「cafeあすなろ」の活動に参加しており、2週間に一度、あすなろ担当の職員さんを交えた会議を行っています。職員さんは学生からの疑問や質問にいつも真摯に答えてくださり、「知りたいことがあったらいつでも聞きにきて」と声をかけてくださいます。

経済学部 経済学科 3年
根本 はぐみ
福島県・
日本大学東北高等学校 出身

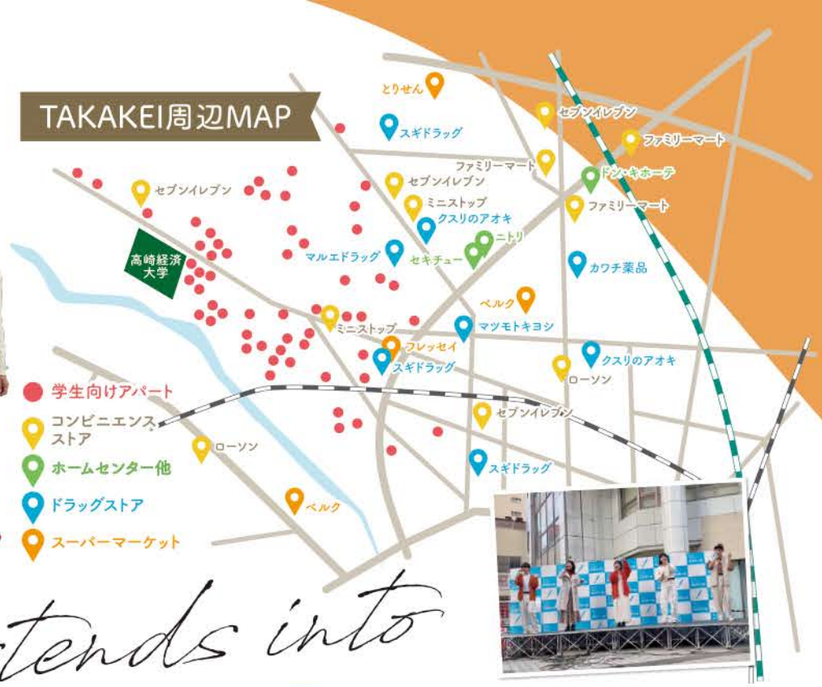
本学の創立は1957（昭和32）年。2025年で68周年を迎えます。
伝統の薫りただよう緑豊かなキャンパスに、2学部6学科の各種施設がコンパクトに立地。
公立大学の強みを生かし地元とのコミュニケーションを密にとりながら、最先端の学問に触れ、
自律性を高める実践教育により「学ぶ力」「生きる力」を育みます。

巻頭特集
CAMPUS LIFE

VOICE

アパートで一人暮らしをしています。やることが多いのは大変ですが、その分自由も多いので楽しいです。運動不足解消にジムに通ったり、友達とおいしいラーメン屋さん探しをしたりしています。

地域政策学部 観光政策学科 4年
本田 和流
東京都立白鷗高等学校 出身



It extends into THE TOWN

高崎の魅力、高崎ぐらしの楽しみ

TAKASAKI

VOICE

高崎のまちなかでは頻繁にイベントやストリートライブが行われていて、音楽を身近に感じることができます。私もサークル活動を通じて音楽イベントに参加し、地域の方々との交流を楽しんでいます！

地域政策学部 観光政策学科 4年
佐々木 愛純
岩手県立盛岡第三高等学校 出身

彩りゆたかな高経大の日々
高崎の魅力紹介

人気の観光地も近い！

草津温泉まで車で
約1時間30分

軽井沢まで車で
約1時間10分

伊香保温泉まで車で
約45分

高崎駅

JR上越新幹線、北陸新幹線、高崎線、上越線、信越本線、八高線、両毛線、吾妻線と、上信電鉄が乗り入れる県内最大のターミナル駅。駅ビルや駅周辺には商業施設、文化施設などが多く集積し、人々で賑わっています。

高崎市とは

- 面積／約460㎢
- 人口／約37万人

本州の中央、関東平野の西端に位置する高崎市は、首都圏と信越・北陸を結ぶ内陸交通の要衝です。

東京までは新幹線で 約50分、羽田空港までは 約1時間30分、成田・新潟空港までは 約2時間と、日本各地、そして海外へのアクセスも良好です。

TAKASAKI 名物 & スポット

高崎だるま

高崎市は、張子だるまの生産において全国シェアの約80%を占めています。伝統的なデザインに加え、現在はさまざまに装いを凝らしたカラフル・大小の変わりだるまも人気です。

榛名神社

修験道の流れを汲む山中の古刹。パワースポットとしても人気。

高崎パスタ

おいしくて、しかも量が多いことで有名な高崎パスタ。市内には多くのパスタ店が点在し、それぞれに独自の人気メニューを掲げて営業しています。高崎パスタNO.1を決めるイベント『キングオブパスタ』も毎年開催。

白衣大観音

1936（昭和11）年建立、高さ約42m。観音山の頂上から市街と市民を見守る観音様。

高崎芸術劇場

音楽・舞台芸術の公演に対応した大劇場、ロックコンサートや演劇など多様なパフォーマンスが可能なスタジオシアターなど、複数のホールやスタジオを擁します。「鑑賞と創造」が一体化した新時代の複合型芸術劇場です。

巻頭特集 CAMPUS LIFE

REAL STUDENT LIFE at TCUE

自宅生

大学まで、電車と自転車で片道約1時間半。毎朝4時に起床し、その日の授業に備えて予習復習を行っています。電車の中では息抜きとして、大好きな昭和歌謡を聴くことも。休日は、録りためた番組を見たり、買い物に行ったりします。栄養バランスの良い食事が食べられる自宅暮らしも家族の協力あってのこと。感謝しています！

地域政策学部 観光政策学科 4年
増野 広貴
埼玉県立熊谷高等学校 出身

趣味の一つは一人旅。秩父地場産業センターで「ポテくまくん」と記念撮影。

ゼミ活動の一環で、野菜を紹介するPOPを作りました。

週間スケジュール

	4:00	6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00
MON	起床・家事	朝食・通学	授業		昼食	授業・ゼミ	サブゼミ・帰宅	夕食	課題等	就寝
TUE	起床・課題等	朝食・通学	授業		昼食・帰宅	アルバイト		夕食	趣味	就寝
WED	起床・課題等	朝食・家事	課題等		昼食	通学	授業	帰宅	夕食・課題等	就寝
THU	起床・課題等	朝食・通学	授業		昼食	授業補助	帰宅・課題等	夕食	課題等	就寝
FRI	起床・課題等	朝食	通学	授業	昼食	授業	帰宅・課題等	夕食	課題等	就寝
SAT	起床・課題等	朝食・家事	趣味		昼食	趣味	課題等	夕食	趣味	就寝
SUN	起床・課題等	朝食	アルバイト		昼食	趣味	課題等	夕食	課題等	就寝

下宿生

東京で地元(茨城)の友達と遊んだ日の記念の一枚。

友人たちとおいしいものを持ち寄ってピクニック♪

大学から自転車で5分ほどのアパートで暮らしています。自転車があると学校帰りにスーパーなどに寄るのに便利です。休日は、日中ゆっくりしたあとでアルバイトへ。また、高崎駅周辺や、ときには東京まで遊びに出ることもあります。良くも悪くもすべて自分の裁量で物事が進む一人暮らしは、マイペースな私にはぴったりです！

週間スケジュール

	6:00	8:00	10:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00	22:00	24:00
MON				授業			三浦原実行委員	課題		就寝
TUE			趣味				アルバイト			就寝
WED			授業	昼食	授業	家事				就寝
THU				授業			三浦原実行委員	友人とごはん or買い物		就寝
FRI			自由時間	昼食	授業	課題	アルバイト			就寝
SAT			掃除	料理の作り置き			アルバイト			就寝
SUN			趣味				アルバイト			就寝

経済学部 経営学科 2年
松岡 琴音
茨城県立藤代高等学校 出身

学生生活支援

市街地と郊外の雰囲気が程よくミックスされている高崎市。家賃をはじめとする物価も安めで、暮らしやすい土地柄です。
高経大生たちはそれぞれのライフスタイルで、思い思いの学生生活を楽しんでいます。
また、大学としても各種の学生生活支援策を用意。全ての学生が不安なく大学に通えるようにサポートしています。

アパート

本学周辺には多くの学生向けアパート物件があります。物件によりますが、家賃は都内に比べると全般的に安めです。立地、間取りなど、好みの物件を選んで充実した一人暮らしを楽しんでください。

生活しやすい高崎で一人暮らしを楽しんでいます

ワンルームの平均家賃

家賃の差も大きい！

高崎[※1] **39,000円**

都内[※2] **約80,000円**

※1 本学周辺　※2 新宿区、渋谷区、豊島区、世田谷区の平均家賃

アパートの平均家賃の比較（ワンルーム）

新宿区	渋谷区	豊島区	世田谷区
80,000円	96,000円	71,000円	72,000円

※家賃情報は各種資料から本学が独自に算出(2025年5月現在)
※家賃は、部屋の広さ、家屋の新旧、各設備、日当たり、交通の便等により異なります。

アルバイト紹介

キャリア支援センターにおいて、在学生向けのアルバイト紹介を行っています。家庭教師、塾講師、事務、サービス業、販売等、スケジュールに合わせたアルバイトを選べます。

宅配便ロッカー（宅配ボックス）

学内に宅配便ロッカーを設置しています。荷物を受け取りにくい一人暮らしの学生の利便性向上に加え、再配達による宅配業者の負担の軽減にも貢献します。

各種サポート体制も万全

ヘルスケア

保健室

学生生活を健康に送ることができるよう、健康管理に関する業務を行っています。
健康診断や健康相談、傷の手当、急病のケア等、養護教諭が常駐し対応しています。
また、身長・体重・体脂肪・血圧測定・尿検査・視力色覚検査・聴力検査などの測定ができます。普通救命講習会や献血活動も行っています。

障害学生支援

学生サポートルーム

本学が提供しているさまざまな機会を、全ての学生が平等に受けられるよう支援をしています。
視覚障害、聴覚障害、発達障害学生等への支援として、履修・事務手続きの配慮、試験時の配慮の相談、語学・演習・実習科目における配慮、授業担当教員への配慮事項伝達、資料等の点訳・対面朗読、施設の整備、修学環境の調整等を行っています。

メンタルヘルスケア

学生相談

学生生活におけるあらゆる相談を受け付けています。勉強や進路に関することはもちろん、スポーツや課外活動での心配事やトラブル、何となく体がだるくてやる気が起きないなど、心身の健康全般についてもカウンセラーや保健師等が常時相談に応じています。対面相談はもちろん、遠隔相談や、電話による相談も受け付けています。
個人にかかわる相談内容等の秘密は厳守します。

ハラスメント

ハラスメント相談室

発生の予防および対策、ハラスメントに起因する問題への対応を行っています。
ハラスメント防止対策委員会、相談室を設置しています。

自主活動支援

学生ボランティア活動支援室

ボランティア活動に関する情報発信や、ボランティア活動希望学生に対する支援・教育を行います。

キャンパス特集 CAMPUS LIFE

クラブ・サークル活動を通じて自分の世界を広げませんか？
かけがえのない大学生活の中で、よき仲間と出会い共に成長することも、きっと価値ある体験です。

CLUB CIRCLE

体育会

本学体育会では、さまざまな運動部が活動しています。都留文科大学との大学対抗戦である「鶴鷹祭」や、新入生同士の交流を図る「フレッシャーズキャンプ」など、さまざまなイベントをとおして部同士でのつながりを深められるのも、本学体育会の特徴です。

合気道部	直心影流剣道部	バスケットボール部
アメリカンフットボール部	自動車部	バドミントン部
空手道部	柔道部	バレーボール部
弓道部	準硬式野球部	ハンドボール部
硬式庭球部	少林寺拳法部	ラクロス部
硬式野球部	水泳部	ラグビー部
サイクリング部	ソフトテニス部	陸上競技部
サッカー部	ソフトボール部	ローバースカウト部
山岳部	卓球部	ワンダーフォーゲル部

文化サークル協議会

文化サークル協議会は、文化サークルがよりよい活動をできるようにサポートしている団体です。
「フレッシャーズキャンプ」、「リーダーズキャンプ」などをとおし、サークル同士の交流も深めています。

映画研究部	経理研究部	美術部
英語研究部(E.S.S.)	考古学研究部	文芸研究部
演劇研究会	茶道部	放送研究会
会計学研究部	山野愛好会	法律研究会
観光研究会	写真部	漫画研究会
ギタークラブ	情報システム研究会(TISS)	マンドリンクラブ
棋道部	書道部	モダンジャズ研究会
グリークラブ	政治経済研究会	旅行研究会
軽音楽部	都市研究会	歴史研究会
経済数学研究部	ハイキング部	

学生団体

応援団　吹奏楽部　経済学部ゼミナール協議会　地域政策学部ゼミナール協議会　三扇祭実行委員会　国際交流協会

三扇祭（みつおうぎさい） Campus Festival

三扇祭とは本学の大学祭のことです。三扇祭ではゼミや部活動、サークルなどの団体による模擬店や展示、日々の活動の発表が行われ、来場される地域の方々と学生をつなぐひとつの大きな場となっています。

鶴鷹祭（かくようさい） Inter-university Sports Festival

鶴鷹祭とは本学と都留文科大学（山梨県都留市）との総合体育対抗戦のことです。48回を数える、非常に歴史のある大会です。「都留」と「高崎」の文字を「鶴」と「鷹」に置き換え、「鶴鷹祭」と命名されました。両大学がプライドを懸けた戦いを繰り広げ、切磋琢磨し合いながら絆を深めています。

数字で見る TAKAKEI

創立 68 周年
1957年に経済学部経済学科からなる高崎市立大学として設立。2025年で68周年を迎える。

学部・学科 2学部 6学科
経済学部　経済学科／経営学科／国際学科
地域政策学部　地域政策学科／地域づくり学科／観光政策学科

在籍学生数 4,138名
経済学部 2,211名 ／ 地域政策学部 1,927名

ゼミナール数 97ゼミ
経済学部／53ゼミ
地域政策学部／44ゼミ

専任教員数 109名
経済学部／59名
地域政策学部／50名

図書館蔵書数 約39万冊

海外提携校 16の国と地域 21大学
※2025年3月現在

全国入学試験会場 10カ所
札幌・仙台・新潟・東京（池袋）・名古屋・大阪・岡山・高松・福岡★
★地域枠専用会場（2日目を除きます）

就職率 98.9%
2024年度卒業生実績

同窓会 | 大企業 54.2%　中堅企業 14.4%　小企業 9.3%
公務員 | 国 家 1.8%　地 方 14.7%
教 員 | 公立・私立 0.7%

学長メッセージ PRESIDENT'S MESSAGE

持続可能な社会を目指して

学長 水口 剛

Future Maker[=未来を創る人]になろう

今、私たちは時代の分かれ道にいます。一方の道の先には地球温暖化が加速して異常気象が頻発したり、持てる者と持たざる者の対立が激化したりする未来が、もう一方の道の先には社会が分断を克服し、地球の環境容量の範囲内で豊かに暮らす未来が待っています。
後者の未来が「持続可能な社会」です。その道に進むには、少子高齢化や疲弊する地域社会という課題を克服し、脱炭素化やデジタルトランスフォーメーションに伴う産業構造の大転換を乗り越えなければなりません。皆さんはこの混沌とした時代に社会に出ることになります。当然、その中で生き抜く力をつけることが必要です。その際、変化する環境に単に受身的に適応するだけでなく、皆さん自身がより良い未来を創り出す「Future Maker」であってほしいと思います。どちらの未来が実現するかは、結局は私たち一人ひとりの行動次第だからです。高崎経済大学は皆さんがそのような人材に育つ機会にあふれています。

地域に根ざし、世界を視野に

本学は1957年に高崎市が設立した公立大学です。経済学部経済学科からスタートし、後に経営学科を設置。1996年には日本で最初の地域政策学部を設立し、地域政策研究という新しい領域を開拓しました。2011年には公立大学法人へと移行し、60周年を迎えた2017年には、社会・経済のグローバル化に対応する教育を拡充するために、経済学部に国際学科を新設しました。
その結果現在では2学部6学科体制となり、多様で充実したカリキュラムを備えています。中でも少人数のゼミナールを必修とし、教員と学生や、学生同士で積極的に議論したり、地域社会の実態を直接学んだりしています。また、手厚い助成金を支給し、長期・短期の海外語学研修や海外フィールドワークを推進しています。さらに、実践で使える語学力を鍛えるとともに、地域企業の課題解決への協力を通してデジタル、データサイエンス、AI等を実地で学び、スタートアップ人材を育成する共同教育研究センター（仮称）の開設に向けて準備を進めています。

多様な出会いを生む全国型公立大学

これらの教育活動に加え、学生の自主的活動が盛んなのも本学の特色です。本学は北海道から沖縄まで全国から学生が集まる全国型公立大学です。アジアからの留学生も多く、多様な出会いの機会があります。多くの学生が実家を離れて高崎で暮らしているため、部活動やサークル、ボランティア活動など多様な活動に打ち込んでいます。このような出会いと経験こそ、皆さんを人間的に成長させ、一生の財産となることでしょう。

大学について ABOUT THE UNIVERSITY

大学の目的

学術研究の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、真理と平和を希求する人間の育成を図り、学理とその応用を攻究し、国の内外と地域の向上発展に貢献することを目的とする。

大学の学生育成目標

1　多様性を認識し、コミュニケーションのできる学生の育成
2　限りなき探究心で明日を切り拓くことのできる学生の育成
3　経済に通じ、地域を見る目を持って、国の内外において活躍できる学生の育成
4　いつでも、どこでも主体的に学び、学ぶ喜びを生涯持続できる学生の育成

大学の卒業認定・学位授与の方針

本学に所定の期間在学し、大学・学部の教育目的に沿って開設された授業科目を履修し、所定の単位数を修得した者に学位を授与する。
卒業後は、本学での「学びへの誇り」を持って社会貢献できる人材となる。

大学の教育課程編成・実施の方針

学部・学科に開設する教養及び専門科目と演習を、4年間にわたり体系的に履修することにより、学部・学科の教育目的が達成され、「学びへの憧れ」が「学びへの誇り」へと変わる教育課程編成をし、「学ぶ喜び」を醸成する。

大学の入学者受入れの方針

基礎的な学力を十分に備え、本学の目的及び学生育成目標に共感し、学部の目的と教育内容に魅力を感じ、明確な目的意識と「学びへの憧れ」を持ち、主体的に学ぶことのできる人を受け入れる。

高崎経済大学の歴史

開学当初（1957年）

移転当時のキャンパス（1961年）

彫刻「独歩」（1987年）

図書館（1991年）

1957	昭和32年	● 高崎市立高崎経済大学 開学（経済学部経済学科）
1961	昭和36年	● 現キャンパスに移転
1964	昭和39年	● 経済学部経営学科 設置
1987	昭和62年	● 開学30周年記念　彫刻「独歩」設置
1991	平成 3 年	● 図書館完成
1996	平成 8 年	● 地域政策学部地域政策学科 設置
2000	平成12年	● 大学院地域政策研究科（修士課程）設置
2002	平成14年	● 大学院地域政策研究科（博士後期課程）設置
		● 大学院経済･経営研究科（修士課程）設置
2003	平成15年	● 地域政策学部地域づくり学科 設置
2004	平成16年	● 大学院経済･経営研究科（博士後期課程）設置
2006	平成18年	● 地域政策学部観光政策学科 設置
2011	平成23年	● 公立大学法人高崎経済大学へ移行
2016	平成28年	● 地域政策学部20周年
2017	平成29年	● 創立60周年
		● 経済学部国際学科 設置
2025	令和 7 年	● 現在

学部・学科 INDEX

※教育職員免許状を取得すると児童指導員の任用資格も取得できます。

経済学部

68年の伝統を持ち、国内大学の中でも有数の歴史を誇る経済学部

高度な専門知識と幅広い教養を備えた実践力の高い人材育成を目指す

2026年度入学者選抜区分

前期日程	公立大学中期日程	
学校推薦型選抜		
私費外国人留学生	社会人	帰国生徒

入試詳細はp61～65へ

2026年度入学定員

2026年度 入学定員	480名	専任教員数	59名
		ゼミナール数	53ゼミ
経済学部 在籍学生数	2,211名		
◆ 経済学科	652名		
◆ 経営学科	748名		
◆ 国際学科	259名		
学科選択前	552名		

1年次生は、いずれの学科にも所属していません。学科選択は1年次後期に行い、2年次に進級するときに決定します。
※2025年度現在

経済学科

学科の特徴
今日の社会・経済的な重要問題についてより的確に理解するための知識を系統的に修得し、内外の経済社会において第一線で活動できる人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格
◆教育職員免許状(教職課程)
・中学校教諭一種免許状(社会)
・高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
・高等学校教諭一種免許状(公民)

活躍のフィールド(一例)
銀行・証券会社／金融業界／総合商社／インフラ業界／教員／公務員／IT業界／保険会社／流通・小売り業界

p.30

経営学科

学科の特徴
多角的な視点から、企業が持続的かつ長期的に存続・成長するための経営について探究し、さまざまな組織において自律的に問題解決を行える人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格
◆教育職員免許状(教職課程)
・高等学校教諭一種免許状(商業)

活躍のフィールド(一例)
ロジスティクス／ファイナンシャルプランナー／店舗企画・管理／会社経営／起業／製品開発・販売／ビジネス支援／税理士／IT業界／公務員

p.32

国際学科

学科の特徴
英語や国際系科目などのグローバル教育と経済・経営のエキスパート教育を融合し、グローバル化する社会の課題に主体的に取り組むことができる「グローバル・エキスパート」の育成を目指します。

活躍のフィールド(一例)
多国籍企業／公務員／旅行・ホテル業界／国際NGO団体／航空・交通業界／教員／外資系企業／在外公館／流通・小売り業界

p.34

地域政策学部

地方分権時代の到来を受け、全国で最初に設立された地域政策学部

活力のある地域社会を担う「地域リーダー」の育成を目指す

2026年度入学者選抜区分

前期日程	後期日程	
学校推薦型選抜 Ⅰ	学校推薦型選抜 Ⅱ	
私費外国人留学生	社会人	帰国生徒

入試詳細はp61～65へ

2026年度入学定員

2026年度 入学定員	450名*	専任教員数	50名
		ゼミナール数	44ゼミ
地域政策学部 在籍学生数	1,927名		
◆ 地域政策学科	503名		
◆ 地域づくり学科	523名		
◆ 観光政策学科	412名		
学科選択前	489名		

*編転入30名含む

1年次生は、いずれの学科にも所属していません。学科選択は1年次後期に行い、2年次に進級するときに決定します。
※2025年度現在

地域政策学科

学科の特徴
国内外の地方分権や地域政策に関する高い専門知識と政策立案能力を有し、都市と農村等の地域振興を中心的に担う人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格
◆教育職員免許状(教職課程)
・中学校教諭一種免許状(社会)
・高等学校教諭一種免許状(公民)
◆学芸員
◆社会福祉主事(任用資格)
◆社会教育主事(任用資格)

活躍のフィールド(一例)
公務員／教員／NPO団体／農業法人／団体職員／製造業／流通・小売り業界／インフラ業界／ビジネス支援

p.42

地域づくり学科

学科の特徴
国内外の地方分権や地域づくりに関する高い専門知識を有し、地域社会における文化を活用することにより、住民参加に基づく地域づくりに寄与する人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格
◆教育職員免許状(教職課程)
・高等学校教諭一種免許状(公民)
◆学芸員
◆社会福祉主事(任用資格)
◆社会教育主事(任用資格)

活躍のフィールド(一例)
公務員／教員／学芸員／NPO団体／旅行・ホテル業界／団体職員／教育関連業界／インフラ業界／自動車・交通業界

p.44

観光政策学科

学科の特徴
国内外の観光に関する高い専門知識を有し、地域社会における観光資源を活用することにより、地域開発および観光経営を中心的に担う企画・立案能力に優れた人材の育成を目指します。

取得できる免許・資格
◆教育職員免許状(教職課程)
・高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
◆学芸員
◆社会福祉主事(任用資格)
◆社会教育主事(任用資格)

活躍のフィールド(一例)
公務員／学芸員／NPO団体／団体職員／旅行・ホテル業界／自動車・交通業界／飲食・サービス業界／広告業界／不動産ディベロッパー

p.46

FACULTY OF ECONOMICS

経済学部

より豊かな社会に向けて、
経済・経営について学ぶ

学部長メッセージ

不安定化する社会を高度な専門性で乗り切ろう

経済学部長 藤井 孝宗 教授

現在、世界はかつてないほど不安定な状況に置かれています。AIの急速な普及を含めたデジタル化の深化・拡大により生活環境が激変していく一方で、ロシアのウクライナ侵攻や中東紛争、米中対立やトランプ政権の外交政策など国際情勢も不安定さを増しています。

このような変化の激しい社会を生き抜くには、自身の判断の基準となる専門知識を確立させつつ、偏った意見を廃し最適な判断をくだすバランス感覚を持つことが必要です。経済学部では、国際社会で最も必要とされる分野の一つである経済・経営の専門知識を身に付けつつ、語学、数理統計、政治・社会問題など幅広い知識・スキルを学ぶカリキュラムを用意しています。また、海外提携校や国際学科プログラムなど豊富な海外研修の機会および経済的補助を用意し、バランス良い国際感覚を身に付けられます。国際・地域社会で活躍する人材を目指して一緒に学んでいきましょう。

経済学部で学べること

経済の仕組み

例えば普段着るもの、食べるもの、住むところ、すべて誰かがどこかから原材料を運んできて、誰かがつくり、誰かが売っています。多くの人が仕事を持ち、収入を得て、税金を納め、そのお金で政府がさまざまな活動をします。金利や為替レートが変われば、景気が良くなったり、悪くなったりします。こういったことの全てが「経済」です。経済の仕組みを学ぶとは、これらが互いにどのように関連し、どうしたらうまくいくのかを考えるということです。

経営の方法

有名な大企業から地元の中小企業まで、実際の経済は多くの企業が互いに協力したり、競争したりすることで成り立っています。どんな製品やサービスをどんな地域で売るのか。どういう相手と協力し、ライバル企業とどうやって競争するのか。どうしたら社員の力を引き出せるのか。そのやり方次第で、同じような分野の企業でも、うまくいったり、いかなかったりします。これらのことを学ぶのが、経営の方法を学ぶということです。

国際社会の渡り方

国際社会で活躍するためには何が必要でしょうか。語学力のほか、特定の視点、価値観に偏らない幅広い教養でしょうか。しかし、実際に国際的にビジネスや学術活動を行ってみると、それだけでは不十分なことに気が付きます。これらのスキルは、国際社会で活動している人は当然持っているからです。国際社会で自分の特徴を打ち出して活躍するためには、他人にはない専門的な知識・スキルを持つスペシャリストであることが重要なのです。

学部の入学者受入れの方針

経済学部では、「教育課程編成・実施の方針」にもとづく教育を施すことを通じて、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げた人材を育成するため、以下のような資質を備えたひとを積極的に受け入れる。

1 高等学校までの以下の学習の内容をきちんと身につけているひと
(1)日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
(2)英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
(3)数理的手法を身につけるために必要な数学の知識・技能
(4)人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
2 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができるひと
3 経済、経営および国際関係に強い興味・関心があり、主体的な態度で学習に取り組むことができるひと
4 多様な価値および意見を尊重し、他者と協力しながら学習や課外活動に取り組むことができるひと

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
一般選抜では、前期日程、公立大学中期日程とも、大学入学共通テストと個別学力検査を行い、上記1及び2の知識・技能及び能力を修得しているかを評価するとともに、調査書により、上記3、4の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
学校推薦型選抜では、英語と小論文試験で、上記1の(1)、(2)及び2の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、調査書・推薦書等の提出書類により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。さらに、1、3の知識・技能・態度に関しては、英語や簿記などの資格・検定試験の結果も適宜評価する。

○編入・転入学選抜
編入・転入学選抜では、英語及び経済学・経営学の基礎的な問題により、上記1の(2)、(3)及び3の知識・技能・態度を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績により、上記1の知識・技能を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○社会人選抜
社会人選抜では、英語と小論文試験により、上記1の(1)、(2)及び2の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○帰国生徒選抜
帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

学部の卒業認定・学位授与の方針

経済学部は一般教養科目、言語系科目および数理系科目、経済、経営および国際の3学科に設置された専門科目、演習の修得を通じて以下に掲げる知識・理解、態度・志向および汎用的技能を身につけると同時に、所定の単位数を修得した学生に学位を授与する。

【知識・理解】

【一般教養および隣接分野】
1 人文学、社会科学、数理系科学など幅広い学問領域の知識を身につけることで、経済、経営および国際の各学科の専門科目をより深く理解している。
2 人文学、社会科学、数理系科学に関わる特定の学問領域を深く学び、より高度な知識を身につけることで、社会とそれを構成する制度や人の営みをより深く理解している。

【態度・志向】
1 さまざまな知識・技術に興味・関心をもち、能動的かつ継続的に学修する。
2 積極的なコミュニケーションを通じて、他者と協調する。
3 倫理観をもって行動し、社会や組織に対し主体的に関与する。

【汎用的技能】
1 課題を設定し、それに対する調査、分析、評価をすることで解決策を提案できる。
2 論理的かつ批判的な思考ができる。
3 数理的手法と情報通信技術を活用できる。
4 多様な言語を他者とのコミュニケーションに活用できる。

学部の教育課程編成・実施の方針

経済学部では、学生に「卒業認定・学位授与の方針」で掲げる知識・理解、態度・志向および汎用的技能を修得し、さまざまな組織で自律的に課題を発見し、解決策を提案できる人材を育成するため、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。

1 経済あるいは経営に関する専門知識を有し、それを基盤に経済社会や国際社会で能動的・主体的に活動できる人材を育成するため、経済学、経営学および国際関係に関連する領域の科目を幅広く配置する。
2 他者との円滑なコミュニケーションに必要な思考力や表現力を高めるため、少人数のクラス編成により、グループワークや双方向の対話を重視した科目を配置する。
3 英語を用いたコミュニケーションに必要な思考力や表現力を高めるため、習熟度に応じた少人数のクラス編成により、グループワークや双方向の対話を重視した英語科目を配置する。
4 英語をはじめ諸言語を使用するひととのコミュニケーションに必要な語学力を高めるため、習熟度に応じて学生が選択できる複数の外国語科目を配置する。
5 数理的手法と情報通信技術の活用に必要な知識および技能を身につけるため、習熟度に応じて学生が選択できる科目を配置する。
6 さまざまな学問領域の知識に触れることを通じて、自己および自分とは異なる社会や文化などを理解するとともに、能動的かつ継続的な学修を促すため、教養を涵養する科目を配置する。
7 経済学、経営学および国際関係を中心に特定の学問領域の知識を深く理解するとともに、論理的かつ批判的な思考に基づいた課題を設定したうえで解決策の提案を行い、積極的なコミュニケーションを通じて他者と協調する方法を見出すため、グループワークや双方向の対話を重視した少人数編成の専門科目を設置する。
8 学修成果の評価に関しては、学部における成績評価の基準を定めたうえで、各科目の達成目標に基づいて評価する。

“学び”の本質を捉えたユニークなカリキュラム

POINT 01

充実の教養教育科目

専門教育科目を勉強する上でも、また社会に出たときにも、大切なのは幅広い教養を積み上げておくこと。経済学部のカリキュラムでは、1年次に少人数クラスで文章の読み方と書き方（日本語リテラシー）をしっかり学び、その後の学修のために数学の基礎固めもします。外国語科目は、英語力を強化するとともに、他の言語も修得できるように、豊富なメニューを用意しています。さらに、経済学以外にもさまざまな一般教養科目を学ぶことができます。

POINT 02

専門教育科目の学びやすさ

専門教育科目は、1年次必修科目の「市場と経済」「企業と会計」で経済学と経営学の土台を学んだ後、2年次から経済学科、経営学科、国際学科に分かれて本格的に勉強します。カリキュラムは、学生自身が関心を抱いたテーマについて、基礎から応用へと発展的に学んでいく道筋が分かるように設計されています。また、社会人講師によるリレー講義もあり、現実の社会の動きにも触れることができます。

POINT 03

必修のゼミナール

経済学部における学びの中心は、2年次後期から卒業までの2年半にわたる必修科目の「ゼミナール（演習）」です。ゼミナールとは、1人の教員の指導のもと少人数クラスで専門分野を深く学ぶ仕組みで、講義形式の授業とは異なり、「研究テーマの設定→調査→報告→議論→新たなテーマの発見」を繰り返す問題発見・解決型の授業です。ゼミナールには、「人と人とが交わり新しいものを生み出す」という大学教育の醍醐味があります。また、学生の多様な興味関心に対応できるよう、指導教員が充実しています。

POINT 04

卒業後の将来のために

教養教育科目で身に付ける言語運用力・数理的思考力・国際的な教養、そして、専門教育科目で学ぶ経済の仕組みや企業経営に関する専門的な知識、さらに、必修科目のゼミナールで培う問題発見力・解決力・プレゼンテーション力、4年間のカリキュラムを通じこれらの力を育むことで、卒業後の業界や企業、進路を見極めることができるようになります。また、多くの卒業生がさまざまな分野で活躍しています。

全学科共通 教養教育科目

日本語リテラシー科目	◆日本語リテラシー
外国語科目	◆General English ◆Business English 【留学生】 ◆大学生活のための日本語 ◆専門講解 ◆日本事情 ◆文章表現 ◆専門読解 ◆口頭表現
言語系科目	◆Oral Communication ◆Advanced Oral Communication ◆English Language and Culture ◆Grammar ◆Writing ◆Reading ◆Listening ◆Discussion ◆Advanced Discussion ◆English for Academic Purposes ◆TOEIC Basic ◆TOEIC Intermediate ◆TOEFL ◆日本語リテラシー上級 ◆日本古典研究 ◆中国古典研究 【留学生】 ◆ビジネス日本語 ◆ドイツ語 ◆フランス語 ◆中国語 ◆ハングル ◆スペイン語 ◆イタリア語 ◆アラビア語の世界 ◆西洋古典語の世界 ◆ドイツ語文献講読 ◆フランス語文献講読 ◆中国語文献講読 ◆ハングル文献講読 ◆スペイン語文献講読 ◆イタリア語文献講読
数理系科目	◆基礎数学 ◆微積分 ◆線形代数概論 ◆確率・統計入門 ◆データ分析入門 ◆多変量データの分析 ◆論理学 ◆社会調査法
一般教養科目	◆論理的思考 ◆哲学 ◆倫理学 ◆現代思想 ◆科学哲学 ◆教育原理 ◆教育心理学 ◆心理学 ◆社会学 ◆ジェンダー論 ◆法学 ◆日本国憲法 ◆国際法 ◆政治学 ◆日本政治 ◆国際関係論 ◆西洋史 ◆東洋史 ◆中国文化論 ◆イスラーム文化論 ◆宗教学 ◆人類学 ◆人文地理学 ◆自然地理学 ◆世界地誌 ◆日本地誌 ◆日本史(古代～近世) ◆日本史(近現代) ◆宇宙と地球 ◆生態系と環境 ◆生命科学 ◆医療と健康 ◆技術とものづくり ◆美学 ◆物理学 ◆ファイナンシャル・リテラシー ◆キャリア・デザイン ◆学問研究入門
総合科目	◆コンピュータ・リテラシー ◆Readings on Economics and Management ◆Language Learner Development ◆スポーツ科学 ◆海外語学研修(英語) ◆海外語学研修(中国語) ◆特別講義「世界と日本の未来を考える2.0」 ◆データサイエンス入門 ◆データサイエンス基礎：AI概論 ◆データサイエンス基礎：プログラミング・数学

経済学部 教員&ゼミ 紹介

山本 芳弘ゼミ

ゼミナールの研究テーマ　環境問題の解決策を経済や経営の観点から考える。

環境問題の解決を目指し自らの興味に従い自由に学ぶ

さまざまな環境問題に対して、経済や経営の観点から解決策を考えます。学術的知見に基づいた、根拠のある解決策を模索します。誰でも思いつくような解決策があるなら、環境問題はすでに解決済みのはずだからです。経済、経営、および関連分野で用いられる方法で効果的と思われるものは全て検討対象になります。前提として、学生たちの自由で、柔軟で、ユニークな思考や発想を大切にしています。

山本 芳弘 経済学科 教授

■教員研究分野・テーマ
環境経済学、特に再生可能エネルギーを社会で効率的に利用するための制度を研究

■担当科目
市場と経済、環境経済学Ⅰ／Ⅱ、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

■私はこんな人
山歩きが好きです。大自然の中を歩いてリフレッシュ。「山ごはん」や帰りの温泉も格別です。高崎からは多くの日本百名山にアクセスできます。

STUDENT'S VOICE

1年次に履修した山本先生の講義「市場と経済」の中で、環境経済学について興味を持ちました。身近に存在する、一見経済学とは無関係に見える課題にも、経済学とつながっている点を発見できることがゼミの魅力です。ゼミの活動の中では、どのような意見でも先生が議題として取り上げてくださることで、学生たちが自分の意見や質問を出しやすい雰囲気になっています。

群馬県立太田女子高等学校 出身
木暮 文香 ゼミ生(4年)

髙橋 済ゼミ

ゼミナールの研究テーマ　公共経済学、マクロ経済学、財政学

髙橋 済 経済学科 准教授

■教員研究分野・テーマ
地方財政、財政学、公共経済学、マクロ経済学、空間経済学

■担当科目
現代経済入門Ⅰ／Ⅱ、資本主義経済の理論Ⅰ／Ⅱ、中級マクロ経済学Ⅱ、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

■私はこんな人
旅行・読書が好きです。天気のいい休日には本を持って散歩に出かけ、外で本を読んでいます。ジャンルとしては歴史・SFが好きです。

身のまわりの出来事を「経済学」を通して考える

「政府や企業、私たちがどのように社会をよくすることができるか」を経済学で考えていきます。身近な社会問題や日常の出来事も、経済学により考えることで新しい捉え方ができるのが醍醐味です。また、データを使ってさまざまな問題を分析する手法は、データサイエンスにも通ずるところがあります。
各学生が自らの関心に応じて学習機会を選択することが重要だと考え、自主性を重んじた指導をしています。

STUDENT'S VOICE

本ゼミでは、学生自身の興味に基づき自由なテーマを選択できるよう、髙橋先生が親身に相談に乗ってくださいます。先生の扱われる経済分野は幅広く、さまざまな観点から助言や指摘をしていただけます。フィールドワーク等の調査で新しい発見をし、学んだ知識と組み合わせつつ研究テーマについて考察を深めていくのはワクワクします。先生もゼミも穏やかな雰囲気で、時々企画される見学会や親睦会が楽しみです。

群馬県立渋川女子高等学校 出身
尾見 心咲 ゼミ生(3年)

経済学部 教員&ゼミ 紹介

Faculty of Economics

佐藤 敏久ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 定量的、定性的なアプローチによるマーケティング戦略上の商品開発やコミュニケーション開発

マーケティングを学ぶには「走りながら考えよ」

マーケティング戦略上の手法（打ち手）を学ぶために、製品開発や広告系の大会等への参加を通じ、不明点・疑問点を本や論文で調べたり、実際にデータを取って分析したりしながら理解を深めていきます。2年生の段階から卒業までの間、ずっと何かに取り組み続けつつ、その中で学ぶスタイルです。
学生たちと時間・空間を共有し、会話を積み重ね、自分の失敗経験を話すことなどを大切にしています。

佐藤 敏久 経営学科 教授

■教員研究分野・テーマ
企業と消費者、企業と企業、消費者と消費者の関係がどのように進化継続されるのか
■担当科目
消費者行動論、マーケティングコミュニケーション、マーケティングリサーチ、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ
■私はこんな人
“作る”ことに関心があります。料理、パン、楽器修理、DIY…。「作ってみたい」に突き動かされ、道具と材料をそろえて日夜作っています。

STUDENT'S VOICE

本ゼミでは2年次からビジネスコンテストに参加します。毎年参加している「Sカレ」では、商品プレゼンをして優勝すると実際に商品化されます。大会に向けてチームメンバーで話し合うことが多く、自分だけでは出てこないアイデアに触れられて楽しいです。また、知識を実践で使ってみることで理解が深まります。将来は、ゼミで得た知識や経験を生かせる仕事に就きたいです。

新潟県・中越高等学校 出身
目黒 愛美 ゼミ生(4年)

溝口 哲郎ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 株式市場の基礎を学ぶ

私も、あなたも、「経済活動」の一部です

お金とは何か、お金に活躍してもらって社会がどのように豊かになっていくのかを、経済学の方法（特に「投資」の概念）により学びます。企業活動を身近に感じると同時に、自分が経済の一部であるということを「投資活動」を通じて習得することができます。
学生の自主性を重んじているので、学生たちが好きなことができるようなテーマ設定をしています。ゼミのメンバーみんなで一つのテーマについて考えます。

溝口 哲郎 国際学科 教授

■教員研究分野・テーマ
公共経済学・応用ミクロ経済学、腐敗の経済分析
■担当科目
経済政策論Ⅰ／Ⅱ、Introductory Economics、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ
■私はこんな人
本がジャンル問わず好きで、時間があると神保町の古書店街などを見て回り、古書を蒐集しています。研究室は本であふれています。

STUDENT'S VOICE

株や金融等に関する本を輪読します。担当ページについて調べ、発表し、疑問点などをゼミ生で議論します。今後の暮らしや人生を豊かにするためのお金の知識を深めることができます。時には難しい数式やグラフが出てきて惑わされますが、理解できたときの達成感は大きいです。先生は本やゲームが好きで、学生とたくさん話し、私たちの気持ちをよく理解し尊重してくださいます。

長野県上田染谷丘高等学校 出身
小池 美羽 ゼミ生(4年)

澤田 悠紀ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 日常の「これって法的に大丈夫!?」について徹底討論する

澤田 悠紀 経営学科 教授

■教員研究分野・テーマ
知的財産法、文化と法、芸術と法
■担当科目
知的財産法、法と経済学、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ
■私はこんな人
大学時代の恩師とゼミ仲間たちと、今でもよく食事や観劇や旅行に行きます。今の学生たちもそんな関係が続くといいなと思っています。

ネット通販もSNSも…日常の背景には知財法がある

SNSに投稿するにも授業のレポートを書くにも無視できない「著作権法」、発明についての「特許法」、ブランド品についての「商標法」などについて勉強します。全員参加型の討論を通じて理解を深めます。世の中、「正解」「不正解」が明確に分かれていることはほとんどなく、多くのことがグレーゾーンです。だったらいっそ、思ったことをそのまま発言して、ゼミ友の発言もおおらかに受け止めて、討論をガンガン楽しんじゃいましょう！

STUDENT'S VOICE

私にとって身近な音楽と関わりが深い著作権について学ぼうと、本ゼミを選びました。生活の中で気になったことを題材にディスカッションをしますが、他のゼミ生が、今まで目に入ってはいたけれど問題視はしていなかった事柄を題材に取り上げることもあり、新しい発見があります。澤田先生の「ゼミはゼミ生みんなのもの」というお考えのもと、自由な雰囲気で、仲良く学んでいます。

富山県立滑川高等学校 出身
酒井 来歌 ゼミ生(4年)

ヌルガリエヴァ・リャイリャ ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 国際関係の理論から現代の主要な国際問題を分析する

ヌルガリエヴァ・リャイリャ 国際学科 准教授

■教員研究分野・テーマ
カザフスタンを中心とする国際関係、中央アジア研究
■担当科目
平和学、現代アジア論、Introductory International Relations、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ
■私はこんな人
旅行や温泉が大好き。特に沖縄の伝統文化や食べ物、自然、人情に心惹かれます。ゼミ生と、温泉や旅行の情報交換を楽しんでいます。

世界的事件の背景や影響を国際関係の視点から考える

本ゼミでは、現代の主要な国際問題（紛争、難民、環境、貧困等）を国際関係の理論から分析することを学びます。資料を基にグループ内やグループ間で議論し、自らの主張を展開する能力を発達させます。
国際関係を学ぶことは、国、社会、世界をより明確に理解し、自分の意見を持ち、すべてをより合理的に考えることにつながります。分析能力と批判的思考力も養われ、社会で活躍できる人材へと育ちます。

STUDENT'S VOICE

身近な事例を通じて複雑な国際関係や経済の仕組みを分かりやすく理解できることが本ゼミの大きな魅力です。私は国際関係論の中でも環境問題について興味があり、地球温暖化と共存しながらどんな解決策を見出せるかを調べたいと考えています。個性あふれるゼミメンバーの視点から出される多様な意見を通じて、一人では辿り着けなかった答えに辿り着けるのがゼミの面白さです。

埼玉県立川越高等学校 出身
土田 翔太 ゼミ生(4年)

経済学科

経済に関する幅広い知識を修得し、将来、経済社会の第一線で活動できる人材を育成する

経済学とは、人々の経済生活に関わる現実・制度・政策などが個人または社会に対してどのような意味や影響を持つのかを、歴史的な事実（または現実）と一貫した論理（または数学的手法）によって明らかにする社会科学です。そこでは、多様な経済システムについて、それぞれに特徴的な仕組みや構造、そして運動のあり方が、理論的かつ実証的に分析、解明されます。

経済学科では、経済に関する具体的な状況などを取り扱う科目を、全体のバランスを考慮して配置しています。専門的な科目でも1年次から受講できる科目もあります。2年次後期からはゼミナール（演習）を「必修」とし、少人数で専門領域の学修を深めていきます。また、企業や社会の最新情報を提供するため、経験豊かで高い知見を有する多様な社会人講師による「リレー講義」を毎年開講しています。こうして、全国さらには海外から集まる多様な学生の学習意欲に応えるカリキュラムを、段階的かつ体系的に整備しています。

経済学科では、このようなカリキュラムを通じて、為替レートの変動やエネルギー資源価格の高騰、少子高齢化や社会保障制度の課題、巨額の財政赤字や自由貿易協定の締結など、今日の社会・経済的な重要問題についてより的確に理解するための視点や能力が身に付きます。経済全般に関する生きた知識を修得し、ゼミ活動を通じて実践力を高めれば、自分自身の進路を主体的に切り拓くことができるでしょう。

社会やお金について、リアルな経営戦略よりも、「経済」というより広い枠組みで考えてみたかった。

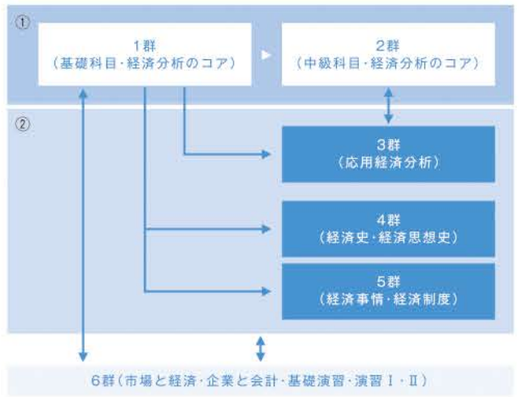
経済について幅広く学んでおくことは、きっと将来に生きると思っています。今は主に財政学について学んでいるのですが、財政学は、輪読等を通じて「過去」に学びつつ、「今」を考えていく学問だと感じています。資料などを読んでいて、自分とは違う考えに触れられたとき、学ぶことの面白さを実感します。

3年 群馬県立高崎高等学校 出身 南 空優

学科の卒業認定・学位授与の方針

学科の教育課程編成・実施の方針

経済学科専門科目の群配当と位置付け



①経済学的な考え方・分析手法を身に付ける　②特定の経済分野についての理解と関心を深める

1群　基礎科目
1群に配置された科目は経済分析を行うための核(コア)となる初級科目や、社会経済の制度的または歴史的な捉え方を学ぶ基礎科目です。これらの科目を履修したのち、2群の中級科目や3～5群の応用分析科目分野に進むことが望ましいです。

2群　経済理論
1群の初級科目で経済理論の基礎を学んだら、2群で中級レベルの理論科目の修得を目指しましょう。2群には、1群で身に付けた経済分析のスキルをさらに高める科目が配置されています。また、2年次から履修可能な1群科目を並行して学習することで、3群の応用科目をより深く理解することが可能となります。

3群　応用経済分析
3群には、1群ならびに2群で身に付けた経済分析を現実の経済問題に応用する科目を配置しており、財政学・金融論・経済統計は2年次から履修が可能です。経済学科の学生は3群科目を履修してはじめて、1群・2群科目の学修を通じて自身の社会を見る目がどのように養われたかを実感するでしょう。

4群　経済史・経済思想史
4群は経済社会の歴史と経済思想、経済学史などを学ぶことのできる科目で構成されています。

5群　経済事情・経済制度
5群にはさまざまな応用領域について考察する科目が配置されています。これらの科目は1・2群の経済分析や4群の歴史・思想分野と比較してより具体的な時事経済を扱う傾向が強く、現実経済への理解や関心を促す科目であると言えます。

経済学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
1群　基礎科目	◆統計学 ◆経済数学入門 ◆現代経済入門 ◆初級マクロ経済学 ◆初級ミクロ経済学			
2群　経済理論		◆ゲーム理論 ◆経済学方法論 ◆情報の経済学 ◆経済数学特講	◆中級マクロ経済学 ◆中級ミクロ経済学 ◆経済成長論 ◆計量経済学 ◆経済数学 ◆厚生経済学 ◆産業組織論 ◆数理統計学	
3群　応用経済分析		◆経済統計 ◆金融論 ◆財政学	◆応用計量経済学 ◆国際経済学 ◆環境経済学 ◆国際金融論 ◆公共経済学 ◆経済政策論 ◆労働経済学 ◆都市経済学	
4群　経済史・経済思想史	◆経済史概論	◆日本近世経済史 ◆日本近代経済史 ◆西洋経済史 ◆アジア経済史 ◆日本史特講 ◆世界史特講		
		◆社会経済学 ◆日本経済思想史 ◆社会思想 ◆日本中世農業史 ◆日本近世農業史 ◆現代資本主義論		
			◆現代経済思想 ◆経済学史	
5群　経済事情・経済制度		◆世界経済論 ◆行政法 ◆日本経済論 ◆社会政策論 ◆社会学特講		
		◆経済地理学 ◆経済システム論 ◆中国経済論 ◆アジア経済論 ◆開発経済論 ◆農業経済論 ◆中小企業論 ◆地域経済論 ◆社会保障原理 ◆社会保障制度論 ◆地域の金融と経済 ◆特別講義（経済学）		
			◆経済法 ◆地方財政論 ◆近代経済学	
6群　必修	◆市場と経済 ◆企業と会計			
		◆基礎演習		
				◆演習

専任教員一覧

伊藤 宣広 教授	経済学史、現代経済学、経済学方法論
唐澤 達之 教授	西洋経済史、イギリス社会経済史、イギリス都市史
小林 徹 教授	労働経済学、応用ミクロ計量経済学
鵜田 禎人 教授	社会保障、社会政策
富澤 一弘 教授	経済史学、歴史学
名和 賢美 教授	デモクラシー論
森 祐司 教授	金融論
矢野 修一 教授	世界経済論、開発経済論、経済思想
山﨑 薫里 教授	位相空間論
山本 芳弘 教授	環境経済学
天羽 正継 准教授	財政学、地方財政論、財政金融史
石原 庸博 准教授	ベイズ統計学、計量経済学、計量ファイナンス
板垣 智洋 准教授	多元環の表現論
内山 知一 准教授	教科教育学
岡田 知之 准教授	経済成長論
高橋 済 准教授	空間経済学、空間計量経済学、地方財政学、公共経済学
谷川 卓 准教授	哲学
中路 敬 准教授	経済理論史
中野 正裕 准教授	貨幣・金融経済論
夏苅 佐宣 准教授	英語教育、第二言語習得
西川 静華 准教授	応用ミクロ経済学、ゲーム理論、産業組織論
服部 昌彦 准教授	産業組織論
宮田 庸一 准教授	数理統計学
塩澤 康平 講師	ミクロ経済学、顕示選好分析

経営学科

ビジネスに必要な広範囲の知識を有し、特定の分野を深く研鑽した上で、自律的に問題解決を行える人材を育成する

経営学とは、経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）をうまく活用することによって、企業を中心としたさまざまな組織を効率的に運営し、最大の成果を得るための方法を体系化した学問です。企業が持続的かつ長期的に存続・成長するためには、消費者や取引企業、地域住民、政府、株主、金融機関、従業員といった、「ステークホルダー（利害関係者）」との間で共存共栄の関係を構築しなければなりません。本学科では、多角的な視点から企業経営を探究し、自律的に問題解決を行える人材を育成するため、さまざまな科目を用意しています。

［主な分野］
- ●企業や経営学の歴史について学ぶ科目分野
- ●企業の社会的意義や形態、統治について学ぶ科目分野
- ●企業における人材や生産プロセス、情報のマネジメントについて学ぶ科目分野
- ●企業の戦略やマーケティング、国際展開について学ぶ科目分野
- ●企業の会計や財務について学ぶ科目分野
- ●企業のあり方や活動を規定する法律について学ぶ科目分野

経営学科では、以上のような科目分野を体系的かつ専門的に学ぶことができます。それにより、官民という枠にとらわれることなく、「社会人としてビジネスの第一線で活躍できる人物」および「企業の振興に積極的に貢献できる人物」を育成します。

きっかけは、高校時代の探究活動で消費者行動やマーケティングに興味を持ったこと。

企業の経営に関してさまざまな側面から学ぶことができる学科です。理論だけでなく、実際の企業のケーススタディーを通して知り、考えることができるのが面白いです。実生活に関係する学びも多く、身近に感じることができる学問だと思います。将来は群馬県の経済活性化に貢献できるような仕事に就きたいと考えています。

3年 伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 出身　大西　麻友

学科の卒業認定・学位授与の方針

学科の教育課程編成・実施の方針

経営学科専門科目の群配当と位置付け

1群　経営学の基礎
2群から5群の基礎的な内容を解説する入門科目を配置しています。

2群　戦略とマーケティング
企業は、競争の中で勝ち抜き利益という成果を生み出すために基本となる方針である戦略「経営戦略」を立てます。長期的な発展を目指して、いかにして市場で自社の製品やサービスの魅力を高めるか。それを明らかにするのが戦略論です。商品やサービスの提供は、マーケティングと密接に関わっています。マーケティングの課題は、消費者への適応にあり、消費者をより深く理解するため、意思決定プロセスや情報処理といった消費者行動、広告をはじめとするコミュニケーションの作用などを分析します。消費者とは、自分自身であるため、マーケティングを学ぶことは、消費する自分自身を考えることにもつながります。

3群　組織とマネジメント
戦略を立て、事業を展開して利益を上げるには、複数人で協力し合う「組織」で行うのが効果的です。組織論は、目標の達成に向けて、どのように組織の力を大きくするかという問いを明らかにします。組織論は、組織の中の個人に着目したミクロ組織論（組織行動論）と、個人ではなく、組織を一つの主体として捉えるマクロ組織論に分類され、組織の力を最大限に発揮させるためにはどのような形態（構造）がよいのか、どのようにマネジメントすべきか、集権／分権のバランスをどのようにとるのか、組織構造のあり方を考えます。組織とマネジメントを考えることは将来の自分自身を考えることにつながります。

4群　会計と企業財務
会計は企業の活動を一定のルールに則って測定・記録・伝達する一連の手続きです。外部の利害関係者に対する情報提供を目的として、経営成績を「決算書財務諸表」という形で公表し、企業の将来予測の参考になる領域である財務会計や、企業が、経営計画を策定し、それに基づく事業活動の成果を分析・評価する際にも使われる領域の管理会計など多岐にわたります。会計と企業財務は、単に「数値」の扱い方を学ぶだけでなく、「数値」を生み出す企業活動そのものに目を向けるきっかけとなり、企業活動をより深く理解する道標にもなります。

5群　経営と法
企業は、さまざまなルール「法律」の中で活動しなければなりません。労働時間の取り決め、公共事業の入札、下請企業との契約、有価証券報告書の記載、金融商品の取引（販売）などさまざまな経営行動にわたり、経営と法は切っても切れないつながりを持ちます。法律を守るためには、法律を知らなければなりません。　同時に、一人の消費者として、あるいは一人の働く人として、法律を知ることで自分を守ることもできるのです。

経営学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
1群　経営学の基礎	◆経営学総論 ◆経営学史 ◆産業史 ◆日本産業史 ◆戦後日本経営史 ◆戦前期日本経営史 ◆外国経営史	◆企業論 ◆マーケティング入門 ◆経営管理論 ◆経営統計 ◆簿記論 ◆会計学入門		
		◆特別講義（経営学）		
2群　戦略とマーケティング	◆イノベーション論 ◆消費者行動論			
		◆国際ビジネス概論 ◆国際経営論 ◆マーケティング ◆貿易論 ◆流通システム論 ◆小売マーケティング ◆ロジスティクス論		
			◆経営戦略論 ◆戦略的経営論 ◆多国籍企業論 ◆マーケティング・コミュニケーション	
			◆マーケティング・リサーチ ◆サプライチェーン・マネジメント	
3群　組織とマネジメント		◆産業社会学 ◆産業・組織心理学 ◆経営情報論 ◆経営情報システム論 ◆経営工学		
		◆経営組織論 ◆生産管理 ◆人的資源管理 ◆経営労務論 ◆経営科学 ◆情報処理		
			◆コーポレート・ガバナンス ◆組織行動論 ◆技術経営	
4群　会計と企業財務			◆会計学 ◆証券論	
		◆経営分析 ◆管理会計論 ◆原価計算論 ◆財務会計 ◆企業財務論 ◆中級簿記 ◆上級簿記		
			◆税務会計 ◆会計監査論 ◆デリバティブ論 ◆環境会計	
5群　経営と法	◆民法総則 ◆物権法 ◆債権法総論 ◆債権法各論 ◆労働法 ◆労使関係法 ◆会社法 ◆商法総則・商行為 ◆知的財産法			
			◆法と経済学 ◆金融商品取引法	
			◆租税法	
6群　必修	◆市場と経済 ◆企業と会計			
		◆基礎演習		
			◆演習	

専任教員一覧

阿久津 由佳 教授	英語教育法、語用論
阿部 圭司 教授	証券市場分析
井上 真由美 教授	経営倫理、アントレプレナーシップ、コーポレートガバナンス
加藤 健太 教授	日本経営史
木下 まゆみ 教授	教育心理学、社会心理学
佐藤 敏久 教授	マーケティング戦略、消費者行動、マーケティング・コミュニケーション、ブランド・競争戦略
澤田 悠紀 教授	知的財産法、文化と法、芸術と法
関根 雅則 教授	イノベーション論、経営戦略論
高松 正毅 教授	言語学、日本語学、高等教育
谷口　聡 教授	民法、不法行為法、成年後見制度、継続的債務関係
永田　瞬 教授	経営労務論、社会政策論
中村 彰良 教授	管理会計
藤本　哲 教授	経営組織論
石田　崇 准教授	統計的学習理論、情報理論、教育工学
梅田　宙 准教授	原価計算、管理会計
笠見 弥生 准教授	中国文学
金 艶華 准教授	医薬品物流、ロジスティクス、国際物流
沈　律 准教授	会社法、商法、合同会社制度
高橋 克幸 准教授	会計学、実証会計、セグメント会計
三富 悠紀 准教授	マーケティング・消費者行動
向井 悠一朗 准教授	生産管理、技術経営
藻利 衣恵 准教授	財務会計、国際会計、会計史

国際学科

語学力に支えられたコミュニケーション力、異文化に対する理解力を培い、国内外のグローバル化する経済・経営の分野で活躍できる人材を育成する

国際学科での学修は、学科に所属する前の1年次は学部共通科目や教養教育科目を中心に、2年次から国際学科に所属すると本格的に学科の専門教育科目の学修を進めます。

経済学・経営学の基礎的な科目を学修し、グローバルな舞台で「何を話すか」ということの基礎固めを行ったあと、「英語で話す」ことを重点的に学修します。授業のすべてを英語で行う専門科目を複数開講するほか、海外における学修や体験を単位認定するための科目を開設し、実践的な英語スキルの修得をねらいます。

海外での研修の機会は、国際学科所属の2年次夏季での参加を想定した語学研修プログラムをはじめ、演習などでの研究を推進するために、海外に赴きビジネスの現場を体感する海外フィールドワーク、大学の提携校に半年間または1年間留学する交換留学などがあり、すべての学生が海外での研修に参加できるよう充実した助成制度を用意しています。

国際学科では、経済学・経営学のいずれも学ぶことができ、そのエキスパートとなるため、応用科目、発展科目を学修します。国際社会や文化、エリア・スタディなどグローバル分野の幅広い専門知識を学び、経済学・経営学の国際分野に特化した科目を配置し、グローバルな視野を養います。

高崎経済大学の特徴の一つである「ゼミナール（演習）」は、経済学部の他の学科同様、2年次後期から4年次にかけて学修しますが、国際学科のゼミナールは、学科所属学生のみを対象とするため、国際分野での経験豊かな教員のもと、グローバルな分野への学ぶ憧れを持った仲間と切磋琢磨して学修に取り組むことができます。

英語や国際系科目をはじめとしたグローバル教育と経済・経営のエキスパート教育が融合したカリキュラムにより、グローバル化する社会の課題に主体的に取り組むことができる「グローバル・エキスパート」の育成を目指します。

学科の制度を活用して3か国での研修や留学を経験。グローバルな視点と協働の重要性を知った。

高校のときから洋画や海外文化に興味があり、世界各地の経済やビジネスについて国際的な視点で学んでみたいと本学科を選びました。全て英語で行われる授業を通じてグローバルな視点を身に付けたり、世界で活躍されているビジネスパーソンによる特別講義で実際のビジネスの現場や国際的な問題について学ぶことができます。

4年 宮城県仙台第三高等学校 出身　山崎　誠英

学科の卒業認定・学位授与の方針

学科の教育課程編成・実施の方針

国際学科専門科目の群配当と位置付け

	1年次	2年次	3,4年次
経済または経営の高度な専門知識を身に付ける	1群 経済・経営の基礎		3群 A 経済系応用 / B 経営系応用
			5群 国際系応用（経済・経営）
語学力を身に付ける 国際感覚や幅広い教養を身に付ける 海外研修		2群 国際系基礎	4群 国際系応用（社会・政治）
学部必修科目 ゼミナール教育（2年次～）	6群 必修		

1群　経済・経営の基礎
1群には、経済学科および経営学科のそれぞれの専門科目の中でも特に重要なもの、経済、経営を知る上で基本的な枠組みとなる科目をそろえています。

2群　国際系基礎
2群には、国際社会に参加し、ビジネスその他で活躍するために必要なスキルを身に付けるための科目がそろっています。具体的にはコミュニケーションのための英語スキルを磨く科目と、国際感覚を身に付けるための海外研修です。

3群　A 経済系応用　B 経営系応用
3群では、経済学分野の専門科目（3-A）か経営学分野の専門科目（3-B）どちらか一方を選びます。それぞれ経済学、経営学の基礎を1群科目で学んだあとの応用的分野のうち、重要なものをそろえています。

4群　国際系応用（社会・政治）
4群では、国際社会に関する幅広い知識・教養を身に付けるための科目が設置されています。国際社会や政治の動向や異文化コミュニケーション、発展途上国の開発問題や移民問題、歴史やさまざまな地域に関するエリア・スタディなどをこの群の科目で学ぶことができます。

5群　国際系応用（経済・経営）
5群では、国際社会や経営に関する応用的な知識を身に付けるための科目が設置されています。同じく経済・経営に関する知識を身に付けるための科目群である3群と比較すると、この5群の科目は「国際」的な経済事情やビジネス活動により深く関連した科目を設置しています。

国際学科 専門教育科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
1群　経済・経営の基礎	◆統計学 ◆経営学総論 ◆マーケティング入門 ◆経営管理論 ◆会計学入門 ◆初級マクロ経済学 ◆初級ミクロ経済学			
2群　国際系基礎	◆World Issues ◆Critical Thinking ◆TOEIC Advanced ◆TOEFL Advanced			
		◆Introductory Economics ◆Introductory Management ◆Introductory International Relations ◆Introductory Legal Systems ◆Innovation and Entrepreneurship ◆海外語学研修（専門） ◆海外フィールドワーク ◆海外ボランティア ◆海外インターンシップ		
3群-A　経済系応用		◆金融論 ◆財政学 ◆ゲーム理論		
			◆国際経済学 ◆環境経済学 ◆国際金融論 ◆公共経済学 ◆経済政策論 ◆経済成長論 ◆計量経済学 ◆労働経済学	
3群-B　経営系応用	◆企業論 ◆消費者行動論 ◆民法総則 ◆会社法			
		◆国際ビジネス概論 ◆国際経営論 ◆貿易論 ◆経営組織論 ◆生産管理 ◆経営労務論 ◆経営分析 ◆財務会計 ◆企業財務論		
			◆多国籍企業論 ◆経営戦略論 ◆コーポレート・ガバナンス	
4群　国際系応用（社会・政治）	◆国際機構論 ◆国際コミュニケーション論 ◆国際開発論 ◆国際文化論 ◆国際協力論			
		◆平和学 ◆移民研究 ◆グローバルメディア論 ◆グローバル政治論 ◆国際人権論 ◆国際社会学 ◆グローバルヒストリー ◆現代ヨーロッパ論 ◆現代アジア論 ◆現代アメリカ論 ◆現代アフリカ論 ◆現代ラテンアメリカ論		
5群　国際系応用（経済・経営）	◆世界経済論 ◆西洋経済史 ◆アジア経済史 ◆外国経営史			
		◆開発経済論 ◆アジア経済論 ◆中国経済論 ◆社会保障原理 ◆社会保障制度論 ◆経済史概論 ◆国際経済法 ◆異文化経営論 ◆国際経営戦略論 ◆国際マーケティング論 ◆貿易政策論 ◆国際物流論 ◆アジアビジネス論 ◆Special Seminar（特別講義：国際）		
6群　必修	◆市場と経済 ◆企業と会計			
		◆基礎演習		
			◆演習	

専任教員一覧

清水 さゆり 教授	国際経営論、中堅・中小企業研究
土谷 岳史 教授	EU研究
野崎 謙二 教授	経済連携
パフトン ニコラス アンドリュー 教授	ESP
藤井 孝宗 教授	国際貿易論
溝口 哲郎 教授	応用ミクロ経済学、公共経済学
黒崎 龍悟 准教授	アフリカ地域研究
齋川 貴嗣 准教授	国際機構史、国際文化論、グローバル・ヒストリー
佐藤 敦子 准教授	異文化マネジメント論、国際ビジネス研究
ヌルガリエヴァ・リャイリャ 准教授	国際関係論、中央アジア研究
梁 瑞希 講師	刑法、国際法、アメリカ法
王 亦菲 講師	ロジスティクス、サプライチェーン、マネジメント、流通論

FACULTY OF REGIONAL POLICY

地域政策学部

地域問題解決の先頭に立つ「地域リーダー」を育成する

学部長メッセージ

多様性に富む高崎で地域の諸課題を考えよう

地域政策学部長 佐藤 英人 教授

地域政策学部は、地域をめぐる諸課題に取り組む学部として、1996年に日本で最初に設立されました。設立からまもなく30年が経ちますが、地域の諸課題はより複雑、かつ深刻になっています。特に人口減少と高齢化は不可避の問題です。「消滅可能性自治体」という言葉が、マスメディアで広く取り上げられたことは、みなさんもご存知のことでしょう。つまり、人口増加を前提とした従来の地域づくりではなく、人口減少と高齢化を受け入れながら、いかにして地域をつくり変えていくべきかを考えなくてはなりません。

私たち地域政策学部では、このような地域の諸課題に対して、自分で問題を見つけ、客観的なデータを基に分析し、自分なりの答えを人に伝えられる力を育てます。企業や役所でのインターンシップ、社会人によるリレー講義、ゼミを通じたフィールドワークなど、ユニークな学びが、みなさんのチャレンジを心待ちにしています。都市から農山村までを包含する多様性に富む高崎で、ぜひ学びの扉を開いてみてください。

地域政策学部で学べること

地域政策学部のチャレンジ

日本の地域では現在、海外との競争に直面している地域産業の再生、衰退する中心市街地の活性化、過疎化に苦しむ農山村地域の活性化、高齢化が進むコミュニティの再生など、多くの問題を抱えています。
こうした背景の中、昨今では、地域問題解決の先頭に立つ多くの人材が求められています。地域政策学部では、自治体はもちろん企業、NPOなど幅広く官民両分野にわたって地域問題解決の先頭に立つ人材の育成を目指します。

グローバル化が進む現在、わが国の社会経済は大きな転換点に立っています。また、環境問題をはじめとして、世界が協働して取り組むべき課題にも直面しています。こうした時代だからこそ、地域からの新たなチャレンジが欠かせません。地域からの日本再生のモデル構築、地方創生という課題に、私たちと一緒にチャレンジしましょう。

地域政策学部の3つの学科

地域政策学部は、多様な地域問題に対応し、主に地域政策の理論や制度を学ぶ「地域政策学科」、実践を学ぶ「地域づくり学科」、地域活性化のための観光政策を学ぶ「観光政策学科」の3学科から構成されています。

学部の入学者受入れの方針

地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

1 大学で学ぶための基礎的な学力として、高等学校までの以下の学習の内容を身に付けている人
（1）日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（2）英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（3）データや資料を適切に分析・処理するのに必要な知識・技能
（4）人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識
2 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができる、聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている人
3 地域社会に関する幅広い問題意識を持っている人
4 地域社会が直面する諸課題の解決に積極的に取り組む意欲を持っている人
5 大学内外の人たちと協力して学修・研究に取り組むことができる人

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
一般選抜では、前期日程、後期日程とも、大学入学共通テストと個別学力検査を行い、上記1の知識・技能を修得しているかを評価する。個別学力検査では小論文の受験を必須とし、上記3及び4の問題意識や関心を有しているかを評価するとともに、論理的な文章を作成する能力をはかる。あわせて、調査書により、上記3、4、5の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
学校推薦型選抜では、小論文試験（英語を含む）により、上記1の（1）、（2）及び2の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、活動実績報告書及び調査書等により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○編入・転入学選抜
編入・転入学選抜では、小論文試験により、上記1の（3）、（4）、3及び4の知識・関心を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力について総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績により、上記1の知識・技能を有しているかを評価するとともに、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○社会人選抜
社会人選抜では、小論文試験により、上記1の（1）及び2の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験及び志望論文により、上記3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○帰国生徒選抜
帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

学部の卒業認定・学位授与の方針

地域政策学部では、基礎教育科目を通じて学問の方法論、論理的思考法、幅広い教養と実践的語学力など基礎力を修得し、専門教育科目を通じて所属する学科で指定した能力を身に付けた者で、定められた年限在学し、所定の単位数を修得した者に学位「学士（地域政策学）」を授与する。

学部の教育課程編成・実施の方針

地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げる知識・技能を修得させるために、以下の方針にしたがって教育課程を編成する。

1 「地域リーダーとしての問題解決能力」を構成する、問題発見力、調査分析力、政策立案力、コミュニケーション力、組織的行動力、社会的責任力の諸能力が修得できるよう教育の充実をはかる。
2 地域政策学を構成する諸分野の基礎である人文科学・社会科学・自然科学等を幅広く学ばせ、国際化社会に対応できる実践的な外国語能力を修得させるために基礎教育科目を配置する。専門教育を理解するうえで必要となる方法論を学ばせるために、基礎教育科目の中に基幹教養科目を配置する。
3 地域政策学の基礎となる考え方や地域問題の捉え方を修得させ、さらに大学生活の基礎となる学びの方法論を修得させるために専門導入科目を配置する。
4 地域が直面する多様な課題を理解させ、地域問題解決に結び付く幅広い理論と深い専門的知識を修得させるために、3学科に専門基礎科目及び専門発展科目を配置する。
5 専門分野における地域政策学の理論の深化と、実践的・実証的調査研究により、地域問題解決の高い能力を修得させるために必修科目として基礎演習、演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文を配置する。
6 広い視野と深い問題意識の修得をはかるため、現場の地域リーダーを招聘する実践的・実証的な講義を配置する。

時代を先取りする体系的かつ自由度の高いカリキュラム

POINT 01

充実の基礎教育科目

市民としてあるいは社会人として必須の教養を磨くためのものです。専門教育の基盤となるアプローチを学ぶ「基幹教養科目」、必修英語を中心とした「外国語科目」、コンピューティングを中心とした「情報・統計科目」を履修します。これらの科目群は、「専門基礎科目」、「専門発展科目」、「ゼミナール」、「卒業論文」の土台となるものです。

POINT 02

段階的に学べる専門教育科目

専門教育のスタートは1年次前期の必修科目である「初年次ゼミ」と「地域政策学入門」です。前者は「大学での学び方」を大学特有の「ゼミナール形式」で学び、後者は「地域政策学」の全体像を学ぶ「専門導入科目」です。これらを基礎として、2年次から4年次にかけて「専門基礎科目」、「専門発展科目」を段階的に履修します。各科目群は、2年次以上の学生が特に興味を持った分野を深く掘り下げることを目指したものです。

POINT 03

少人数制の必修ゼミナール

地域政策学部では2年次後期から始まるゼミナール（演習）を必修としており、特に重視しています。ゼミナールは1学年10人前後の少人数で行われ、各指導教員の専門分野に即した地域課題を理論的・実証的に分析したり、課題解決の実践を行ったりします。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーションを繰り返しながら、グループ研究や個人研究を進めていくことにより、学士にふさわしい専門的能力を身に付けることを目指します。

POINT 04

学びの集大成、卒業論文

卒業論文は地域政策学部での学びの集大成であり、これを完成させ審査に合格することが卒業の条件となります。自らテーマを設定し、先行研究を調べ、統計データの収集・インタビュー・アンケート調査などを行い、それらを分析し、一つの作品を仕上げるというプロセスは大学ならではの贅沢な時間であり、この経験は卒業後に大きな力となるでしょう。卒業論文に意欲的に取り組むことが、本学部における学業の総仕上げとなります。

全学科共通 教養教育科目

教養科目群	基幹教養	◆法学 ◆政治学 ◆行政学 ◆経済学 ◆経営学 ◆社会学 ◆地理学 ◆公共哲学 ◆歴史学
	一般教養（人文）	◆哲学 ◆倫理学 ◆心理学 ◆民俗学 ◆宗教学 ◆言語学 ◆日本史（古代～近世） ◆日本史（近現代） ◆西洋史 ◆東洋史 ◆言語学 ◆日本文学 ◆海外文学 ◆街と建築 ◆美学 ◆音楽論 ◆西洋美術史 ◆東洋美術史 ◆発達心理学
	一般教養（社会）	◆憲法 ◆比較憲法論 ◆法哲学 ◆ミクロ経済学 ◆マクロ経済学 ◆日本経済論 ◆社会保障論 ◆会計学 ◆教育学 ◆ジェンダー論 ◆犯罪と法 ◆労働と法
	一般教養（自然）	◆数学 ◆応用数学 ◆自然人類学 ◆生態系と環境 ◆自然地理学 ◆宇宙と地球 ◆地球環境学 ◆地質と環境 ◆生命科学 ◆食と健康 ◆スポーツ科学
外国語科目群	英語または日本語	◆General English ◆Business English 【留学生】 ◆大学生活のための日本語 ◆専門読解 ◆日本事情 ◆文章表現 ◆専門読解 ◆口頭表現 ◆ビジネス日本語
	外国語（選択）	◆Language Learner Development ◆Oral Communication ◆Advanced Oral Communication ◆English Language and Culture ◆Grammar ◆Writing ◆Reading ◆Listening ◆Discussion ◆Advanced Discussion ◆English for Academic Purposes ◆World Issues ◆Critical Thinking ◆TOEIC Basic ◆TOEIC Intermediate ◆TOEIC Advanced ◆TOEFL ◆TOEFL Advanced ◆ドイツ語 ◆フランス語 ◆中国語 ◆スペイン語 ◆イタリア語 ◆ハングル ◆海外語学研修（英語） ◆海外語学研修（中国語）
情報・統計科目群		◆情報基礎 ◆情報科学 ◆地域統計論 ◆社会調査（質的調査） ◆社会調査（量的調査） ◆プログラミング ◆AI・機械学習 ◆データ分析 ◆統計学 ◆計量分析 ◆地域調査法 ◆地理情報システム論

地域政策学部 教員&ゼミ 紹介

増田 正ゼミ

ゼミナールの研究テーマ　政治学、主権者教育、選挙啓発

投票率の向上を理論と実践により目指す

なぜ投票しなければならないのか、どんな人が投票するのか、政治参加論や投票行動論を学んだ上で、投票率向上を目指し主権者教育や投票啓発を行います。
ゼミ生には「当事者」としてゼミに、ひいては社会に向き合ってほしいと考えています。積極的にディスカッションし、全員に発言が求められます。ただし強制されてやるのは望ましくないため、本ゼミの姿勢は「自分のやりたいことを自分で追求する」です。

増田 正　地域政策学科 教授

■教員研究分野・テーマ
地方議会、投票行動、フランス政治
■担当科目
政治学、地方政治論、現代政治論、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ
■私はこんな人
「ポケモンGO！」のキャリア8年。ワイン好きで、ゼミのOB会は例年、ボジョレーヌーボー解禁日（11月第3木曜日）の2日後。

STUDENT'S VOICE

若者の投票率について研究を行い、投票率向上に向けた動画を作ったり、実際の選挙の際には投票を呼び掛けるキャンペーンを行ったりしました。ゼミは各自の意見を自由に発表できる雰囲気があり、ゼミ生同士や先生との議論により新たな考え方や視点を得ることができます。投票啓発の動画やチラシを作ることに魅力を感じたため、広告業界への就職を考えています。

埼玉県立伊奈学園総合高等学校 出身
大河原 拓弥 ゼミ生（4年）

若林 隆久ゼミ

ゼミナールの研究テーマ　経営学、組織論、リーダーシップ、キャリア、商品企画

若林 隆久　地域政策学科 准教授

■教員研究分野・テーマ
経営学、組織論、リーダーシップ、教育工学
■担当科目
経営学、キャリアデザイン論、経営分析、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ
■私はこんな人
実は競馬でも盛んなインプロ（即興演劇）にはまっています。子どもの寝かしつけの際に即興でお話を語るのにも役立っています。

「学び」は、実践することで大きな価値を生み出します

経営学や組織論の知識や考え方を活用しながら、ゼミ内外での「つながり」を重視したゼミ運営を一緒に行い、「良い組織」とは何かを考え、「良い組織」を実現するためのリーダーシップを身に付けます。商品企画の大会「Sカレ」や各種コンテストへの参加、海外フィールドワークなど、広く活動します。主に2学年合同で、学年を超えて切磋琢磨しつつ、仲良く学び合っています。自主性と自律性を育む指導を心掛けています。

STUDENT'S VOICE

部活動やサークル活動の中で「良い組織とは？」を考える機会が多く、組織論を学ぼうと、このゼミを選びました。ゼミ生たちは、活動しやすい環境をつくろうと自ら考え、さまざまな工夫をしています。2学年合同ながら学年の壁はあまりなく、ワークを通して自己開示をし、意見交換を盛んに行っています。ゼミ外での交流も多く、みんなで食事に行ったり旅行に行ったりもします。

岩手県立盛岡第三高等学校 出身
佐々木 愛純 ゼミ生（4年）

地域政策学部 教員&ゼミ 紹介

Faculty of Regional Policy

倪 鏡ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 農業・農村を中心とする地域づくり

フィールドワークを通じ、農山村地域の実態を肌で知る

理論と実態（現場）の両面から農業・農村問題を学び、フィールドワークを通じて農山村地域が抱える課題の解決にチャレンジします。フィールドワーク実施前には勉強会を行い、対象地域の状況を把握した上、調査票の作り方やヒアリングの仕方を学びます。丁寧な事前準備で、学生の現場での主体性と実践力を高めます。また、社会問題に関心を持ってもらうため、ゼミでは新聞記事の発表にも取り組んでいます。こうしてさまざまな経験を通して社会で役立つ力を育んでいきます。

倪 鏡 地域づくり学科 准教授

■教員研究分野・テーマ
農業経済学、中国農業論、
農山村の地域づくり

■担当科目
現代の農村問題、アグリビジネス論、
協同組合論、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

■私はこんな人
歴史（特に中国史）と猫が好きです。娘友人家の飼い猫を時々預かります。「客猫」をなでながら歴史小説を読むのが至福のひと時です。

STUDENT'S VOICE

倪先生の授業を履修した際、専門知識の豊富さと分かりやすい説明に魅了されました。ゼミの研究の中では、農家の方々の生の声を聞くことができます。教科書やデータからは分からない具体的な課題や取り組みの実情を知ることで、研究がよりリアルで説得力のあるものになります。ゼミは、真剣に議論しながらも、リラックスした雰囲気です。先生はよく笑う方で、とても話しやすいです。

愛知県立安城東高等学校 出身
脇田 征典 ゼミ生(4年)

丸山 奈穂ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 観光に関わることを幅広く扱います（メインは文化と観光にまつわること）

「観光」を掘り下げると社会的課題が見えてきます

観光に関して地域で起こり得る諸問題について、事例研究やフィールドワークにより、その原因や解決方法を探っていきます。「観光」という範囲の広い分野を扱うため、議論の対象となる事柄はさまざまあり、身近なテーマに触れることも多いです。
ゼミを通じ、自分の学びたいことを自主的に学ぶ方法や、答えが一つではないことについて多様な側面から分析する基礎を身に付けてほしいと思っています。

丸山 奈穂 観光政策学科 教授

■教員研究分野・テーマ
観光と異文化理解、移民と観光、
外国人労働と観光

■担当科目
国際観光論、観光文化政策論、
観光プロモーション論、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

■私はこんな人
水族館が大好きです。イルカショーをはじめとするすべてのショーを見たいので、水族館に行くときは事前に綿密な計画を立てます。

STUDENT'S VOICE

観光学について広く学ぼうと、2年次で編成、3年次でグループ研究があり、その中で自らの学びたい内容について探せる本ゼミを選びました。グループ研究では「食と観光」をテーマにし、ゼミの時間外にも仲間と集まるなど充実した学習ができています。調べるほどに、食が観光に与える影響の奥深さを感じます。明るくて仲の良いゼミで、先生との関係も良好です。オンとオフを切り替えながら、学んだり楽しんだりしています。

静岡市立清水桜が丘高等学校 出身
平佐美 海音 ゼミ生(4年)

鈴木 耕太郎ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 民俗学を基本としつつ、広く日本文化論や国文学（説話や伝承、地域性の高い文学作品研究）も扱います。

鈴木 耕太郎 地域づくり学科 准教授

■教員研究分野・テーマ
前近代の日本で全国的広がりを見せた牛頭天王信仰（国文学や宗教民俗学的観点から）

■担当科目
博物館概論、民俗学、地域文化論、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

■私はこんな人
普段はさほどおしゃべりではない（と思う）のですが、講義やゼミになると急に口が滑らかに。話が長くなりがちな点は反省しきり…。

身近な風景や風習の意味を知れる民俗学は面白い！

日本国内の風習や言い伝えなど、その土地に残る文化・民俗に関するものであれば自由にテーマを選んで研究できます。文献調査に加え、現地でのフィールドワークを行います。ゼミ生同士の議論からヒントを得るケースもあるので、ディスカッションも重視しています。
学生たちの可能性を最大限大切にすべく、指導は「自由」を基本にし、要所で助言するスタイルです。自分で考え、自分で決める経験は、社会に出ても役立ちます。

STUDENT'S VOICE

3年前期のグループ研究では、群馬県内の民俗事象について調査しました。私のグループは「たかさきパスタ」について文献調査やアンケート調査に加え、似た事例である「宇都宮餃子」との比較調査を行いました。鈴木先生は、楽しむときは学生と一緒に全力で楽しみ、民俗学の幅広い知識を生かしてゼミ生各人に対し手厚いサポートをしてくださる方。学生と強い信頼関係で結ばれています。

群馬県立渋川女子高等学校 出身
宮崎 穂佳 ゼミ生(4年)

外山 昌樹ゼミ

ゼミナールの研究テーマ 観光マーケティング

外山 昌樹 観光政策学科 准教授

■教員研究分野・テーマ
観光マーケティング、消費者行動

■担当科目
観光経営論、観光経済論、観光マーケティング論、基礎演習、演習Ⅰ／Ⅱ

■私はこんな人
観光関連の調査研究機関に就職後、本格的に観光について勉強し始めました。私的な旅でも、つい仕事目線で観察しています。

私たち自身も楽しんでいる「観光」が研究対象です

観光地や観光施設の集客に関連するあらゆるテーマについて、学生へのアンケート調査や行政機関へのヒアリング調査など、各種の手法を駆使して研究します。
ゼミでは、社会人となって仕事をする際にも必要となる情報検索能力、文献読解能力、調査能力、プレゼンテーション能力等の向上を意識しています。考える機会を多くするために、学生同士で議論する時間や、アウトプットを作成する時間も確保しています。

STUDENT'S VOICE

群馬県内の温泉郡を事例に、大学生の観光におけるニーズと観光地の公式SNSの更なる運用方法の在り方について、グループで研究を行っています。実際の調査結果が想定と大きく異なるなど、分析のやりがいがあります。将来は、ゼミやサークル（高校生販売甲子園実行委員会）での経験を生かし、地域の活性化の一助となるようなイベントを企画・運営できる人材になりたいと考えています。

東京都立白鷗高等学校 出身
本田 和流 ゼミ生(4年)

地域政策学科

国内外の地方分権や地域政策に関する高い
専門知識と政策立案能力を有し、都市と農村等の
地域振興を中心的に担う人材を育成する

地域政策学科の教育目的

［養成をめざす具体的な人材］
- 高い政策立案能力を有する人材
- 地方自治に関心を有する人材
- 企業の地域戦略に強い人材
- 都市農村開発のプランナー
- 国際関係に強い人材

［専門分野の主な研究テーマ］
- 都市について理解を深め、地域論・経済論・政策論の立場から有効な地域政策を考える
- 農業・農村について理解を深め、持続的発展の立場から有効な地域政策について考える
- 世界の中の日本について理解を深め、国際的視野に立ち、有効な地域政策について考える
- 地域経済・産業について理解を深め、その自立的発展の立場から有効な地域政策について考える
- 政治・法律・公共政策について理解を深め、公共性という視点から有効な地域政策について考える

「地域」について深く学ぶのは、自身の生まれ育った地域で活躍できる公務員になりたいから。

本学科では、地域政策に関する多くの知見が得られる講義がたくさん履修できます。そうした知見は、政策立案するための思考力の基礎となります。「地域政策を学ぶ」という講義は、学科専任教員がリレー形式で担当し、幅広い話を聞くことができてとても興味深かったです。卒業後の夢は「地域に貢献できる地方公務員」です。

2年 茨城県・水城高等学校 出身 石川 晃久

学科の卒業認定・学位授与の方針

学科の教育課程編成・実施の方針

地域政策学科専門科目の群配当と位置付け

専門分野の主な研究テーマ
- 政治・法律・公共政策について理解を深め、公共性という視点から有効な地域政策について考えたい
- 地域経済・産業について理解を深め、その自立的発展の立場から有効な地域政策について考えたい
- 世界の中の日本について理解を深め、国際的視野に立ち、有効な地域政策について考えたい
- 農業・農村について理解を深め、持続的発展の立場から有効な地域政策について考えたい
- 都市について理解を深め、地域論・経済論・政策論の立場から有効な地域政策を考えたい

基幹教養：法学・政治学・行政学・経済学・経営学・社会学・地理学・公共哲学・歴史学

一般教養：現代社会を理解するための教養、学問を学ぶ方法論を修得する科目

外国語：実用的な外国語を身に付ける科目

情報・統計：調査やデータの分析力を養うことを目指す科目（専門分野に応じて必要な科目を履修する）

専門導入A：地域政策学入門・初年次ゼミ・地域政策を学ぶ

専門導入B：専門的な勉強の入口となる科目（希望する専門分野の講義の他、幅広く選択する）

専門基礎
- 地方自治論／現代政治論／民法総則／行政法総論／政策科学
- 産業政策論／財政学
- 国際交流史／開発経済学
- 農業／農村政策論／農村地理学
- 都市経済学／都市地理学／都市計画学

専門発展
- 地方自治法／政策評価論／政治過程論／物権法／行政法各論
- 地方財政論／中小企業論／産業組織論／流通経済論
- アメリカの政治と歴史／ヨーロッパの政治と歴史／アジア経済論／マイノリティ論
- フードシステム論／農村社会学／農村土地政策論
- 国土開発論／住宅政策論／都市商業論／都市再開発論

基礎演習・演習Ⅰ・演習Ⅱ・卒業論文

地域政策学科 専門教育科目

		1年次〜4年次
専門導入科目群	専門導入A	◆地域政策学入門 ◆初年次ゼミ ◆地域政策を学ぶ ◆地域づくりを学ぶ ◆観光政策を学ぶ
	専門導入B	◆現代の都市問題 ◆都市政策論 ◆現代の農村問題 ◆農業経済学 ◆国際経済学 ◆国際関係論 ◆地域経済論 ◆経済政策論 ◆地域政策論 ◆地方政治論 ◆地域づくり論 ◆マーケティング ◆環境学概論 ◆地域医療保健論 ◆社会福祉論 ◆日本文化論 ◆文化政策論 ◆地域社会学 ◆生涯学習概論 ◆社会調査入門 ◆観光産業論 ◆観光政策論 ◆観光経営論 ◆社会起業論 ◆多文化共生論 ◆国際観光論 ◆観光資源論 ◆観光地理学 ◆観光学概論 ◆観光地域調査演習
専門基礎科目群		◆都市経済学 ◆都市地理学 ◆都市計画学 ◆農業・農村政策論 ◆開発経済学 ◆国際交流史 ◆産業政策論 ◆財政学 ◆公共政策論 ◆政策科学 ◆現代政治論 ◆地方自治論 ◆民法総則 ◆行政法総論 ◆現代の法思想
特別講義		◆グループ研究 ◆特別講義「世界と日本の未来を考える20」 ◆データサイエンス入門 ◆データサイエンス基礎 AI概論 ◆データサイエンス基礎 プログラミング・数学 ◆高崎市の課題と政策 ◆防災政策論 ◆資本市場の役割と証券投資 ◆地方分権論 ◆市民生活と法
専門発展科目群		◆理論社会学 ◆社会思想 ◆国土開発論 ◆都市経営論 ◆住宅政策論 ◆都市社会学 ◆都市商業論 ◆都市再開発論 ◆農村土地政策論 ◆比較農業政策論 ◆フードシステム論 ◆森林資源論 ◆農村社会学 ◆アメリカの政治と歴史 ◆ヨーロッパの政治と歴史 ◆国際政治史 ◆マイノリティ論 ◆国際法 ◆国際協力論 ◆民族問題論 ◆アジア経済論 ◆中小企業論 ◆流通経済論 ◆地域金融論 ◆産業組織論 ◆雇用政策論 ◆産業立地論 ◆政治過程論 ◆地域行政論 ◆政策評価論 ◆地方財政論 ◆行政経営論 ◆行政法各論 ◆地方自治法 ◆物権法 ◆債権法 ◆環境法 ◆ビジネス法 ◆会社法
実習		◆インターンシップ
演習		◆基礎演習 ◆演習
卒業論文		◆卒業論文

専任教員一覧

氏名	職位	専門分野
金光 寛之	教授	民法、環境法
黒川 基裕	教授	開発経済学、商品企画・デザイン
佐藤 公俊	教授	政治学、公共政策
佐藤 徹	教授	行政学、地方自治、公共政策学、政策評価論、自治体経営論、都市政策
佐藤 英人	教授	都市地理学、経済地理学、地理情報システム
鈴木 陽子	教授	憲法学
中村 匡克	教授	地方財政、公共選択
増田 慎	教授	倫理学、社会哲学、応用哲学、死生学
藤田 和史	教授	産業政策、人文・経済地理学、工業地理学
増田 正	教授	政治学、地方政治論、投票行動論
宮田 剛志	教授	農政学・農業構造論、農業経営学
吉武 信彦	教授	国際関係論
米本 清	教授	都市・地域経済学
新木 洋昌	准教授	地方自治、行政学、大都市制度
長野 基一	准教授	都市政策、都市計画、地域デザイン、ユニバーサルデザイン、交通政策
山田 創一郎	准教授	行政法
若林 隆久	准教授	経営学、経営組織論、社会ネットワーク分析

地域づくり学科

国内外の地方分権や地域づくりに関する
高い専門知識を有し、地域社会における文化を
活用することにより、住民参加に基づく
地域づくりに寄与する人材を育成する

地域づくり学科の教育目的

［養成をめざす具体的な人材］
- 地域ビジネスや能力開発に関心を有する人材
- 地域の環境問題解決に寄与する人材
- 地域の福祉対策を担う人材
- コミュニティの活性化を担う人材
- 地域文化を活用した地域づくりを担う人材

［専門分野の主な研究テーマ］
- 地域固有の諸資源を活用した地域ビジネス・持続的開発の立場から地域活性化について考える
- 環境問題の発生から社会への影響の過程を理解し、持続可能な地域社会づくりについて考える
- 福祉・医療・保健の現状と課題を理解し、福祉サービスを構築する立場から地域のあり方を考える
- 地域固有の文化と歴史の重要性を理解し、文化事業に関わる立場から地域活性化を考える
- 地域社会の課題を明らかにし、コミュニティ振興と地域活性化のための人材育成について考える

Community Science Program

地域づくり学科では、住民主体の地域づくりをリードできる人材を育成します。
よりよい地域をデザインするためには、地域が抱える諸問題に解決策を提示し、その発展を助ける力（＝コンサルティング能力）、すなわち、データサイエンスに立脚した調査分析能力と、組織や集団における多様な意見を調整するファシリテーション能力が必須スキルとなります。これらの能力を育成することに特化したカリキュラムとして、コミュニティサイエンスプログラム（CSP）を開講しています。

履修したい専門科目が最も多かったのが地域づくり学科だった。自分の興味はそこに向いているのだと思った。

ゼミで指導していただきたい先生が地域づくり学科の所属だったことと、自分が履修したい専門科目がこの学科に多かったため、本学科を選択しました。「地域が発展するためには何をすべきか」を市民の視点から考え、それらを実行する際に必要なものや、どんな影響が出るかを考える力が身に付きます。

3年 群馬県立太田高等学校 出身 大澤 脩平

学科の卒業認定・学位授与の方針

学科の教育課程編成・実施の方針

地域づくり学科専門科目の群配当と位置付け

- 地域社会の課題を明らかにし、コミュニティ振興と地域活性化のための人材育成について考えたい
- 地域固有の文化と歴史の重要性を理解し、文化事業に関わる立場から地域活性化を考えたい
- 福祉・医療・保健の現状と課題を理解し、福祉サービスを構築する立場から地域のあり方を考えたい
- 環境問題の発生から社会への影響の過程を理解し、持続可能な地域社会づくりについて考えたい
- 地域固有の諸資源を活用した地域ビジネス・持続的開発の立場から地域活性化について考えたい

専門分野の主な研究テーマ

- 基幹教養：法学・政治学・行政学・経済学・経営学・社会学・地理学・公共哲学・歴史学
- 一般教養：現代社会を理解するための教養、学問を学ぶ方法論を修得する科目
- 外国語：実用的な外国語を身に付ける科目
- 情報・統計：調査やデータの分析力を養うことを目指す科目（専門分野に応じて必要な科目を履修する）
- 専門導入A：地域政策学入門・初年次ゼミ・地域づくりを学ぶ
- 専門導入B：専門的な勉強の入口となる科目（希望する専門分野の講義の他、幅広く選択する）
- 専門基礎：教育政策論／スポーツ政策論／社会教育論／コミュニティ振興論／地域文化論／文化社会学／地域史史料講読／児童福祉論／高齢者福祉論／環境科学／環境経済学／環境社会学／キャリアデザイン論／地域マーケティング／オペレーションズリサーチ／経営分析
- 専門発展：地域づくり教育論／地域教育ガバナンス論／社会教育演習／日本地域史／ジャーナリズム論／博物館概論／公的扶助論／地域福祉論／障害者福祉論／福祉援助技術論／環境政策論／環境経営論／環境教育論／コミュニティビジネス論／財務会計論／事業再生論
- 基礎演習・演習Ⅰ・演習Ⅱ・卒業論文

地域づくり学科 専門教育科目

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門導入科目群	専門導入A	◆地域政策学入門 ◆初年次ゼミ ◆地域政策を学ぶ ◆地域づくりを学ぶ ◆観光政策を学ぶ			
	専門導入B	◆現代の都市問題 ◆都市政策論 ◆現代の農村問題 ◆農業経済学 ◆国際経済学 ◆国際関係論 ◆地域経済論 ◆経済政策論 ◆地域政策論 ◆地方政治論 ◆地域づくり論 ◆マーケティング ◆環境学概論 ◆地域医療保健論 ◆社会福祉論 ◆日本文化論 ◆文化政策論 ◆地域社会学 ◆生涯学習概論 ◆社会調査入門 ◆観光産業論 ◆観光政策論 ◆観光経営論 ◆社会起業論 ◆多文化共生論 ◆国際観光論 ◆観光資源論 ◆観光地理学 ◆観光学概論 ◆観光地域調査演習			
専門基礎科目群			◆キャリアデザイン論 ◆経営分析 ◆オペレーションズ・リサーチ ◆地域マーケティング ◆アグリビジネス論 ◆環境科学 ◆環境経済学 ◆高齢者福祉論 ◆児童福祉論 ◆地域文化論 ◆文化社会学 ◆地域史史料講読 ◆コミュニティ振興論 ◆社会教育論 ◆スポーツ政策論 ◆教育政策論 ◆社会調査演習 ◆ファシリテーション演習 ◆環境社会学 ◆社会心理学		
特別講義		◆グループ研究 ◆特別講義「世界と日本の未来を考える 2.0」 ◆データサイエンス入門 ◆データサイエンス基礎：AI概論 ◆データサイエンス基礎：プログラミング・数学			
			◆高崎市の課題と政策 ◆防災政策論 ◆資本市場の役割と証券投資 ◆地方分権論 ◆市民生活と法		
専門発展科目群			◆日本地域史 ◆地域社会史 ◆アーツマネジメント論 ◆博物館概論 ◆博物館経営論 ◆博物館資料論 ◆博物館情報・メディア論 ◆博物館資料保存論 ◆博物館教育論 ◆博物館展示論 ◆地域づくり教育論 ◆地域教育ガバナンス論 ◆地域社会教育支援論 ◆社会教育課題研究 ◆社会教育活動 ◆社会教育演習 ◆現代経済学		
				◆コミュニティビジネス論 ◆財務会計論 ◆協同組合論 ◆事業再生論 ◆環境政策論 ◆環境経営論 ◆環境教育論 ◆家庭福祉論 ◆社会福祉と権利擁護 ◆地域福祉論 ◆公的扶助論 ◆ケアシステム論 ◆福祉援助技術論 ◆障害者福祉論 ◆ジャーナリズム論	
実習				◆インターンシップ	
演習			◆基礎演習	◆演習	
卒業論文					◆卒業論文

専任教員一覧

飯島 明宏 教授	環境科学、環境教育、環境統計学
熊澤 利和 教授	社会福祉学（障害者福祉）、緩和ケア（ターミナルケア）研究
櫻井 常矢 教授	社会教育学、生涯学習論、地域づくり教育
佐藤 彰彦 教授	地域社会学、地域政策
高橋 栄作 教授	理論言語学、第二言語習得、ICT活用教育
田戸岡 好香 教授	社会心理学、社会的認知
坪井 明彦 教授	マーケティング論、地域マーケティング
友岡 邦之 教授	社会学、文化政策研究
西沢 淳男 教授	日本近世史・地域史
原 史子 教授	社会福祉学、児童・家庭福祉論
齊藤 由倫 准教授	環境社会学、地域環境政策論
佐藤 和宏 准教授	住宅政策論
鈴木 耕太郎 准教授	国文学（中世神話研究）、宗教民俗学
高橋 美佐 准教授	オペレーションズ・リサーチ、確率モデル解析
津曲 達也 准教授	高等教育、データサイエンス
倪 娩 准教授	農業経済学、農政学、中国農業論
森田 稔 准教授	環境経済学
吉原 美那子 准教授	教育行政学、教育政策論、比較教育学

観光政策学科

国内外の観光に関する高い専門知識を有し、
地域社会における観光資源を活用することにより、
地域開発および観光経営を中心的に担う
企画・立案能力に優れた人材を育成する

観光政策学科の教育目的

［養成をめざす具体的な人材］
- 観光に関する政策立案能力を有する人材
- 観光産業の中核となる人材
- 国際観光を推進する人材
- 地域資源・地域文化を開発・活用する人材

［専門分野の主な研究テーマ］
- 立地条件や社会・経済構造の視点から地域を分析し、地域活性化のための観光政策について考える
- 観光を経営（ビジネス）・地域振興の視点から理解し、持続可能な観光経営のあり方を考える
- 世界各地の文化と生活を理解し、国際的な視点から観光開発・地域活性化について考える
- 持続的な地域づくりのための原理と方法を学び、地域振興政策の視点について考える

「観光」についての新たな視点を得ると、景色の見え方が変わって、出かけることがもっと楽しくなる。

もともと出かけることが好きだったため、「観光」というテーマで学ぶことに興味を持ちました。自分が知らなかった観光の在り方や新たな視点を学んだあとでは、同じ場所に行き同じ景色を見て同じものを食べても、別の捉え方が生まれます。将来については、大学生活で学んだことや自分の強みを生かせる道を模索していきたいです。

3年 群馬県立太田東高等学校 出身　上村　菜々

学科の卒業認定・学位授与の方針

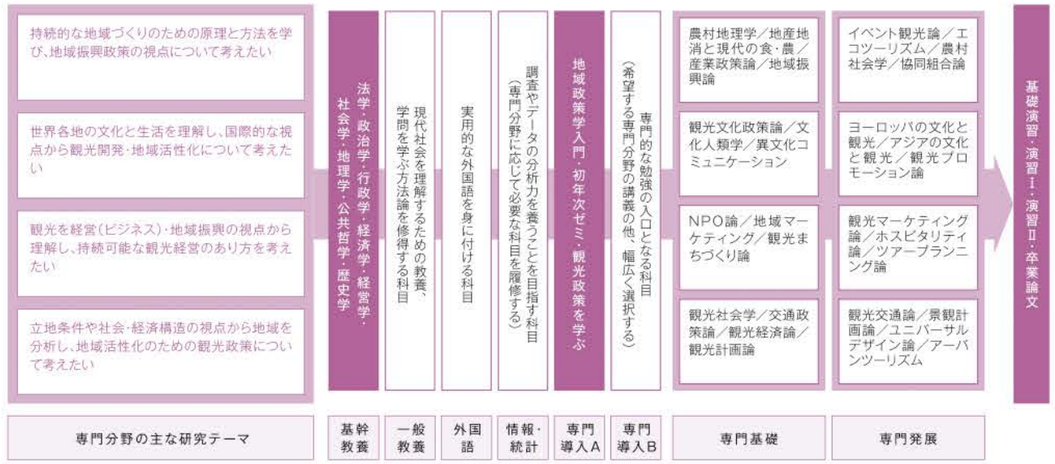
学科の教育課程編成・実施の方針

Tourism Science Program

観光政策学科では、地域社会における観光資源を活用することにより、観光開発および観光経営を中心的に担う人材を育成します。

地域社会や産業としての観光が抱える諸問題を的確に把握し、それらの問題を解決するための観光振興、観光経営を構想、推進していくためには、さまざまな調査手法および分析能力が求められます。そのため、よりよい観光地域づくり、観光経営に必要とされる調査、分析能力を育成することに特化したカリキュラムとして、ツーリズムサイエンスプログラム（TSP）を開講しています。

観光政策学科専門科目の群配当と位置付け



観光政策学科 専門教育科目

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門導入科目群	専門導入A	◆地域政策学入門　◆初年次ゼミ　◆地域政策を学ぶ　◆地域づくりを学ぶ　◆観光政策を学ぶ			
	専門導入B	◆現代の都市問題　◆都市政策論　◆現代の農村問題　◆農業経済学　◆国際経済学　◆国際関係論　◆地域経済論　◆経済政策論 ◆地域政策論　◆地方政治論　◆地域づくり論　◆マーケティング　◆環境学概論　◆地域医療保健論 ◆社会福祉論　◆日本文化論　◆文化政策論　◆地域社会学　◆生涯学習概論　◆社会調査入門　◆観光産業論　◆観光政策論 ◆観光経営論　◆社会起業論　◆多文化共生論　◆国際観光論　◆観光資源論　◆観光地理学　◆観光学概論　◆観光地域調査演習			
専門基礎科目群			◆観光経済論　◆観光社会学　◆交通政策論　◆観光計画論　◆旅行者行動論　◆NPO論 ◆異文化コミュニケーション　◆文化人類学　◆観光文化政策論　◆地産地消と現代の食・農 ◆農村地理学　◆観光まちづくり論　◆地域振興論　◆環境デザイン		
特別講義		◆グループ研究　◆特別講義「世界と日本の未来を考える2.0」 ◆データサイエンス入門　◆データサイエンス基礎：AI概論　◆データサイエンス基礎：プログラミング・数学			
			◆高崎市の課題と政策　◆防災政策論　◆地方分権論　◆市民生活と法		
専門発展科目群			◆観光経営関連法規　◆観光旅行関連法規　◆外国史　◆地誌		
				◆景観計画論　◆観光交通論　◆ユニバーサルデザイン論 ◆観光マーケティング論　◆ツアープランニング論　◆ホスピタリティ論 ◆イベント観光論　◆観光情報論　◆アメリカの文化と観光 ◆ヨーロッパの文化と観光　◆アジアの文化と観光　◆オセアニアの文化と観光 ◆観光プロモーション論　◆アーバンツーリズム　◆エコツーリズム ◆観光開発関連法　◆サービスマネジメント	
実習				◆インターンシップ	
演習			◆基礎演習		
				◆演習	
卒業論文					◆卒業論文

専任教員一覧

小熊　仁 教授	交通政策論、観光交通論、公益企業論
片岡 美喜 教授	農業・環境教育、都市農村交流
関口 智子 教授	第二言語習得、通訳教育
丸山 奈穂 教授	観光人類学、観光とエスニックマイノリティ
八木橋 慶一 教授	社会的企業論
安田　慎 教授	中東地域研究、イスラーム地域研究、観光人類学、観光史、観光政策
石井 清輝 准教授	地域社会学、観光社会学
井手 拓郎 准教授	観光学、政策学、観光まちづくり、リーダー発達論、リーダーシップ論
太田　慧 准教授	地理学、人文地理学、観光地理学、GIS（地理情報システム）
嘉瀬井 恵子 准教授	社会デザイン学、ローカリズム
木暮 律子 准教授	日本語教育学、留学生教育
田中 宏和 准教授	スポーツ政策学、スポーツ行政学
外山 昌樹 准教授	観光マーケティング、消費者行動論
花井 友美 准教授	観光心理学、観光行動論
渡部 瑞希 准教授	文化人類学

海外研修プログラム・支援事業［2025年度］

2024年度渡航実績 **322人**

海外提携校（2025年3月現在）

16の国と地域21大学

本学は16の国と地域 21大学と提携し、短期語学研修や交換留学、教員の交流、学術雑誌の交換などを行っており、2024年度には322人の学生が海外へ渡り、さまざまな経験や学びを得ています。
海外研修を行う学生には、海外提携校以外でも要件を満たせば大学の助成制度や後援会・同窓会等からの補助金支給があります。

※プログラム内容（研修先、期間、滞在形態等）は変更になることがあります。
※2025年度の助成金制度です。2026年度以降は変更の可能性があります。

交換留学・長期語学研修

助成金制度

交換留学
研修期間：6か月未満 — 一律 **40万円**（後援会助成金金額……2万円／同窓会補助金額……1万円）
研修期間：6か月以上 — 一律 **50万円**（後援会助成金金額……10万円／同窓会補助金額……1万円）

長期語学研修（個人検索プログラム）
研修期間：2か月以上6か月未満 — 一律 **40万円**（後援会助成金金額……2万円／同窓会補助金額……1万円）
研修期間：6か月以上1年以内 — 一律 **50万円**（後援会助成金金額……10万円／同窓会補助金額……1万円）

2024年度 海外研修支援事業 実績　13名　※研修先・その他諸条件に関してはお問い合わせください。

プログラム

		研修先	募集人数	留学期間	滞在形態	応募資格	単位認定
交換留学	夏・春	ダブリン・シティ大学(DCU)〈アイルランド〉	各校2名	約8か月	寮またはアパート	学部 1～4年生 ※ただし派遣時4年生で1年間留学する場合、留学途中で卒業しないような履修をする必要あり。	あり
		ルートヴィヒスハーフェン経済大学(LUBS)〈ドイツ〉		約10か月			
		テネシー大学マーティン校(UTM)〈アメリカ〉		約4か月または9か月	寮		
		ヴロツワフ経済経営大学(WUE)〈ポーランド〉		約5か月または10か月	寮またはアパート		
		ダナン外国語大学(UFLS)〈ベトナム〉		約5か月または10か月	アパート		
		南ソウル大学(NSU)〈韓国〉		約4か月または10か月	寮		
		長栄大学(CJCU)〈台湾〉		約5か月または10か月			
		ウズベキスタン国立大学(NUU)〈ウズベキスタン〉		約5か月または10か月			
上記以外	夏・春	個人で選定	―	2か月以上1年以内	寮またはホームステイ	なし	なし

※交換留学は学内選考があります。

短期語学研修

助成金制度

● 短期語学研修（国際学科プログラムもしくは語学成績優秀者※1）

国際学科プログラム ―在学中1回限り―
東アジア・東南アジア地域 — 一律 **20万円**
それ以外の地域 — 一律 **40万円**
同窓会補助金額……1万3千円
後援会助成金金額……3万2千円

語学成績優秀者※1 ―在学中1回限り―
東アジア・東南アジア地域 — 一律 **20万円**
それ以外の地域 — 一律 **40万円**
同窓会補助金額……1万3千円
後援会助成金金額……3万2千円

※1 語学成績優秀者とは、申請時に実検 準1級以上、TOEIC 700点以上、TOEFL iBT 70以上、IELTS 6.0(overall)以上の人です。語学能力証明書のコピーを提出していただきます。

● 短期語学研修（上記以外）
東アジア・東南アジア地域 — 一律 **15万円**
それ以外の地域 — 一律 **25万円**
後援会助成金金額……2万2千円
同窓会補助金額……8千円

2024年度 海外研修支援事業 実績　85名　※研修先・その他諸条件に関してはお問い合わせください。

株式会社キーテクノロジー 留学奨励金 — 一律 **15万円**
実検準1級以上または TOEIC650点以上を保有する学生が対象です。
年間の給付対象人数が決まっており、実検またはTOEICスコア上位者から選考されます。
詳しくは国際交流支援チームまでお問い合わせください。

プログラム

			研修先	プログラムレベル	留学期間	滞在形態	応募資格	単位認定
国際学科	夏・春		大学が指定する語学研修機関	英語（初級～上級）	3週間	ホームステイ（または寮）	経済学部-国際学科所属学生	あり
提携校	夏		テネシー大学マーティン校(UTM)〈アメリカ〉	英語（初級～中級）	3週間	寮	全学生	あり
			ウェスタン・ミシガン大学(WMU)〈アメリカ〉	英語（初級～上級）		ホームステイ		
			ダブリン・シティ大学(DCU)〈アイルランド〉			寮		
			ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ(HC)〈イギリス〉	英語（中級～上級）	2週間		全学生※	
			アベリストウィス大学(AU)〈イギリス〉	英語（初級～上級）	4週間		全学生	
			トンプソン・リバーズ大学(TRU)〈カナダ〉		3週間	ホームステイ		
			ハワイ大学マノア校(UHM)〈アメリカ〉	英語（初級～中級）	2週間			
			淡江大学(TKU)〈台湾〉	中国語（初級～上級）	3週間	寮または大学指定のホテル		
	春		テネシー大学マーティン校(UTM)〈アメリカ〉	英語（初級～中級）	3週間	寮	全学生	あり
			トンプソン・リバーズ大学(TRU)〈カナダ〉	英語（初級～上級）		ホームステイ		
			ハワイ大学マノア校(UHM)〈アメリカ〉	英語（初級～中級）	2週間			
			ラ・トローブ大学(LTU)〈オーストラリア〉	英語（初級～上級）	5週間			
			ワイカト大学(UoW)〈ニュージーランド〉		4週間			
			パーペチュアル・ヘルプ(UPH)〈フィリピン〉	英語（初級～中級）	3週間	大学指定のホテル		
上記以外	夏・春		個人で選定する語学学校等（授業時間週15時間以上）	―	2週間以上2か月未満	寮またはホームステイ	全学生	なし

※IELTS 4.0/TOEIC L&R 400点以上の英語力があることが望ましい

海外フィールドワーク、ボランティア・インターンシップ

助成金制度

● 海外フィールドワーク、ボランティア・インターンシップ
東アジア・東南アジア地域 — 一律 **6万円**
それ以外の地域 — 一律 **10万円**
後援会助成金金額……1万7千円
同窓会補助金額……3千円

2024年度 海外研修支援事業 実績　224名　※研修先・その他諸条件に関してはお問い合わせください。

プログラム

	研修先	従事時間	研修期間
国際学科	国際学科の学生個人またはゼミ教員が決定	フィールドワーク：30時間以上 ボランティア・インターンシップ：60時間以上	夏季休業期間内 または 春季休業期間内
一般学生	学生個人またはゼミ教員が決定	フィールドワーク：15時間以上 ボランティア・インターンシップ：30時間以上	

高崎経済大学の英語教育

本学では、グローバル化や情報化社会に対応した教育環境を提供しています。

英語副専攻

副専攻とは、所属学科で専門的に学修する主専攻（経済・経営・国際、地域政策・地域づくり・観光政策）とは別に、個々のキャリアアップ、英語学修意欲の向上と在学中の継続的学習の維持を図ることを目的に、以下の英語科目のうち、一定の単位を修得した学生に副専攻「英語(Global Communicator Program)」を認定するものです。

下記の科目区分から20単位以上（上級科目10単位以上を含む）を修得すると、副専攻「英語（Global Communicator Program）」を認定します。

上級	◆ Advanced Oral Communication ◆ Advanced Discussion	◆ English for Academic Purposes ◆ Critical Thinking	◆ TOEFL ◆ TOEIC Advanced	◆ TOEFL Advanced
選択	◆ Language Learner Development ◆ Oral Communication ◆ English Language and Culture ◆ World Issues	◆ 海外語学研修（英語） ◆ 海外語学研修（専門）	◆ Grammar ◆ Writing ◆ Reading ◆ Listening	◆ Discussion ◆ TOEIC Basic ◆ TOEIC Intermediate

幅広い科目から選択することができるため、「文献を読めるようになりたい」「日常会話ができるようになりたい」「TOEIC・TOEFLのスコアを向上させたい」「専門的なビジネス英語を修得したい」といった、学生それぞれの達成目標に合わせて選択し、学ぶことができます。

副専攻「英語」を修得するメリット

- ✔ 英語を身に付けることができ、それを証明できる。
- ✔ 主専攻の学びを補うことができる。
- ✔ 就職活動に活用することができる。

所属学科の主専攻だけでなく、英語を、達成目的の設定されたカリキュラムに沿って体系的に学ぶことができます。また、副専攻「英語」として修了認定を受けることができ、大学で英語を学んだことの証明として「副専攻認定証書」が授与されます。

学修環境

本学では学生たちが国際交流や英語学習に効率的かつ積極的に取り組めるよう、以下のような取り組みを行っています。

学内でできる国際交流英語学習

- バディ制度
- 日本語チューター制度
- eラーニング

eラーニング

本学では、コンピュータによる英語教育を積極的に行っています。2年生全員にTOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）の受験が義務付けられており、英語教材として「eラーニング」を導入し、学内だけでなくインターネットにつながっているパソコンがあれば、24時間いつでもどこでも英語学習が可能です。

留学体験記

鈴木 新汰　経済学部 経済学科　静岡県立浜松北高等学校 出身

留学先：イギリス / ケンブリッジ大学ホマートンカレッジ

利用プログラム：短期語学研修（提携校）

期間：約2週間　出発時の学年：3年

初めての海外体験はとても刺激的な2週間でした。TOEICや学校の授業でしか英語を使ったことがなかったため、英語での生活は当初とても疲れ、言いたいことを伝えられないストレスがありました。しかし徐々に、こういう言い方をすれば伝わりやすいといったことが理解できていきました。考え込まずにすぐに話せるよう、使いやすい構文を頭の中に入れておくなどの工夫もしました。積極的に授業に参加することで、自分の伝えたいことが伝わっていることが分かり、嬉しく感じました。

ロンドンをはじめとするいくつもの街の散策では、街の特色や日本との違いを感じ、良い経験になりました。バッキンガム宮殿などの観光地では、トイレに入るためにクレカで支払いが必要なことに驚きました。

自然豊かな敷地にレンガの建物が建つホマートンカレッジは、まるでファンタジーの世界のように印象的な場所でした。仲間やTAに恵まれ、授業は大変でしたが、のびのび過ごすことができました。留学を通じ英語を使うことへの自信がついたので、ほかの国も訪れてみたいです。

鈴木 美智子　経済学部 国際学科　埼玉県・聖望高等学校 出身

留学先：アイルランド / ダブリン・シティ大学

利用プログラム：交換留学

期間：約8か月　出発時の学年：2年

交換留学を通して得たものや感じたことはたくさんあります。まず、ヨーロッパの学生の政治や経済、国際情勢に対する関心の強さです。彼らは常に社会問題と世界情勢に関心を持ち、積極的に自分の意見を言っていました。授業スタイルも、周りの学生と議論することが多く、文化による考え方の違いも感じられました。

国外に出たことで分かった日本の良さもあります。アイルランドで学生ビザを予約するために電話をした際、電話越しで英語が聞き取りづらく、聞き返すと、怒鳴られました。自分の英語力に失望すると同時に、日本とは違う対応に戸惑いました。一方で、日本の課題はワークライフバランスではないかと感じました。海外体験は、社会の構成員として自分に何ができるかを考える貴重な機会となり、視野を広げてくれます。

留学中はさまざまなハプニングにも遭いましたが、それらを通して、冷静に状況を分析し、落ち着いて行動することが大切だと学びました。

夢のような留学経験は、私にとってとても大切な宝物となりました。

吉澤 亜美　経済学部 国際学科　群馬県立太田女子高等学校 出身

留学先：イギリス／EFオックスフォード校

利用プログラム：短期語学研修（国際学科プログラム）

期間：約3週間　出発時の学年：4年

人種差別に関する情報や、英国での暴動に関する外務省の注意喚起など、渡航前は不安も少なくありませんでした。また、このプログラムに4年生で参加するのは遅いのではないかとも考え、委縮する気持ちもありました。しかし、実際にイギリスに行ってみると、初対面にもかかわらず日本の文化に興味を持って話しかけてくれる留学生がいたり、年下のルームメイトが積極的にコミュニケーションを取ってくれたり、75歳のクラスメイト（！）がいたりと、勇気づけられたり、語学を磨くモチベーションになったりすることがたくさんありました。自分も頑張らねば、と思い、彼らと、その日にあった出来事や、互いの国の文化について話しました。その結果、ルームメイトやホストファミリーから「英語が上達したね！」と褒められ、とても嬉しかったです。

留学は、私にとって非常に有意義な体験でした。海外の人と英語で話すことに加えて、憧れのアフタヌーンティーや建造物の観賞も叶いました。何より、私自身の価値観に良い変化がもたらされました。

CAREER SUPPORT

就職活動トータルサポート

学生に寄り添い、思いを後押しするトータルサポート

キャリア支援センター

キャリア支援センターでは、学生が社会に向けて確かな一歩を踏み出せるよう「高崎経済大学キャリア形成年次ピラミッド（キャリア支援指針）」を策定し、これに基づいて体系的にさまざまなキャリア形成支援を行っています。具体的には各種ガイダンスやセミナーといった就職支援事業のほか、求人受付・掲示、進路調査、就職指導・相談、就職資料の収集等、就職に関するさまざまな業務に加え、卒業後の進路全般についても助言や指導を行っています。

各種ガイダンス講座案内

就職活動関連書籍・問題集

相談カウンター

最新情報の提供

- インターンシップ情報
- 就職内定報告書等の閲覧
- 企業別求人ファイル
- 就職に関するフリーペーパーの配布
- 各種ガイダンス、講座開催のメール配信　等

対策講座

社会や就職活動で役立つ能力・知識を身に付けます。

- 公務員試験対策講座
- エントリーシート対策講座
- SPI対策講座
- ビジネスマナー講座
- 面接対策講座　等

模擬面接

OB・OGが実践的な模擬面接を行います。

参加者の声

- その場でフィードバックをいただきありがたかった。
- 他の学生の考え、意見を聞くことができて参考になった。
- 企業研究の足りなさと必要性を理解できた。
- 面接の良い練習になった。
- 自分では気付かなかったことを指摘していただけた。

合同企業説明会

現地に行かなくても、たくさんの企業が来学してくれます。

参加者の声

- 交通費をかけずに、多くの企業の話を聞けた。
- 好きな時間に、多くの企業の話を聞けた。
- 大きな合同企業説明会では質問しにくいことまで、少人数なので聞けた。
- 興味がある業界でも、知らない企業があることに気付けた。
- 実際に働いている人の話が参考になった。

公務員志望者支援

キャリア支援センターでは、国家公務員総合職・一般職、地方公務員上級等、多岐にわたる公務員の仕事に対する理解促進と、職種に応じた試験対策のためのさまざまな支援を行っています。

対策講座の一例

- 公務員試験・資格取得に関する個別相談
- 国家公務員採用制度説明会
- 公務員志望者向け就職セミナー
- 公務員・民間併願就職活動スケジュール解説講座
- 公務員試験合格者報告会
- 高崎市役所採用試験制度説明会

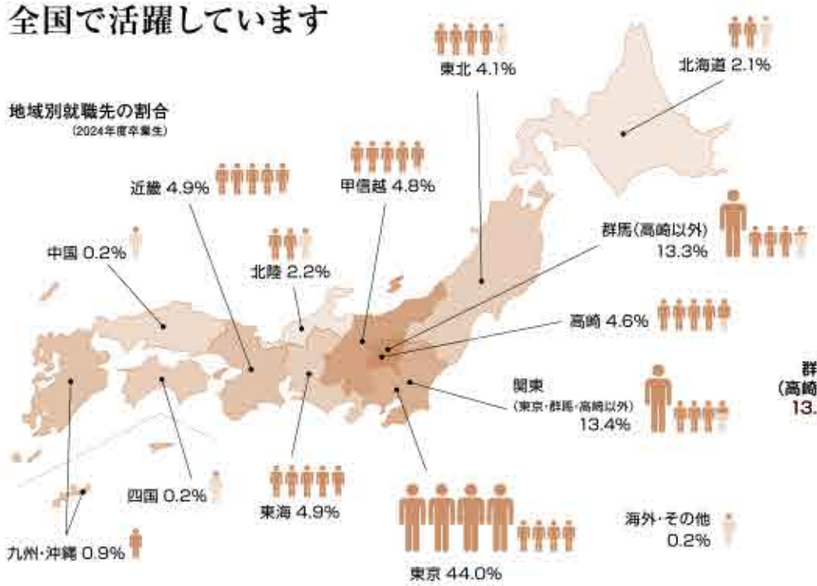
公務員試験対策講座

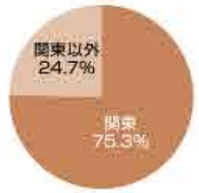
（専門学校と提携：有料）

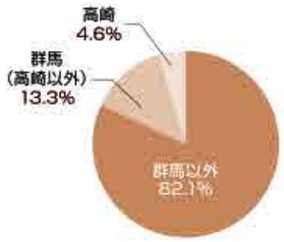
本学の公務員試験対策講座は「教養科目コース」と「教養科目＋専門主要科目コース」の2コースから選択できます。主に3年生が対象となりますが、1・2年生の受講も可能です。毎年5月中旬から翌年3月までの通年講座です。

約42,800人の卒業生たちが全国で活躍しています

地域別就職先の割合
（2024年度卒業生）







U・Iターン就職希望者支援

キャリア支援センターでは、地元への就職や首都圏以外の地域への就職を希望する学生の疑問や不安を解消するため、以下のような就職支援事業を行っています。

▶ Uターン志望者向け就職セミナー

講義形式で、効率の良い情報収集のやり方や地域優良企業の特徴と探し方、遠方地での就職活動にかかる費用などについて説明します。

▶ 自治体との連携事業

本学は複数の自治体と就職協定を結び、U・Iターンセミナーを開催しています。自治体との連携を強化し、学生の地元就職を支援する取り組みを行っています。

その他 就職サポート

就職相談

- 就職活動に関する不安・悩みなど、専門の相談員が個別で相談に応じます。
- エントリーシート・履歴書などの添削にも対応します。
- 面接の練習や情報提供も行っています。
- 学年を問わずお申し込み可能となっています。

OB・OGとの交流会

- OB・OGとのつながりを強め、就職活動に役立つ情報を伝えてもらいます。
- 群馬県外の企業で働くOB・OGが地元にて職業相談会を開催。
- 全国からOB・OGを本学に招き、就職活動に有益なアドバイスをいただくイベントを開催。

【就職活動カレンダー】

1年次

- 4月　1年生向けキャリアガイダンス／「簿記3級講座」事前説明会／各種資格取得ガイダンス／大学1・2年生のためのキャリアデザイン講座／公務員志望者向けセミナー／金融リテラシー講座
- 5月　大学1・2年生のための就活講座
- 6月　公務員・民間併願に向けた就活解説講座／国内研修プログラム事前説明会
- 8月　高崎市内優良企業見学バスツアー
- 10月　Uターン志望者向け就職セミナー／FP資格ガイダンス
- 11月　公務員合格者報告会

2年次

- 4月　「簿記3級講座」事前説明会／各種資格取得ガイダンス／大学1・2年生のためのキャリアデザイン講座／「公務員試験対策講座」事前説明会／公務員志望者向けセミナー／金融リテラシー講座
- 5月　大学1・2年生のための就活講座
- 6月　公務員・民間併願に向けた就活解説講座／国内研修プログラム事前説明会
- 8月　高崎市内優良企業見学バスツアー
- 10月　Uターン志望者向け就職セミナー／FP資格ガイダンス
- 11月　公務員試験合格者報告会
- 1月　面接対策実践講座／国家公務員採用制度説明会／高崎市役所採用試験制度説明会

3年次

- 4月　「簿記3級講座」事前説明会／就活スタート講座／「公務員試験対策講座」事前説明会／公務員志望者向けセミナー／金融リテラシー講座
- 5月　就職ガイダンス／優良企業の探し方講座／SPI適性検査講座
- 6月　首都圏で活躍するOB・OGによる就職相談会／公務員・民間併願就活に向けた解説講座
- 7月　留学生向けインターンシップ＆就職セミナー／面接対策実践講座／グループディスカッション実践講座／グループディスカッション実践練習会
- 8月　高崎市内優良企業見学バスツアー
- 10月　Uターン志望者向け就職セミナー／エントリーシート対策講座／後期就活準備講座／FP資格ガイダンス
- 11月　就職活動実践講座／OB・OGによる就職相談会in高崎／自己PR&志望動機の作り方セミナー／公務員試験合格者報告会／高崎市内大学連携合同企業説明会
- 12月　グループディスカッション実践講座／OB・OGによる模擬面接会／SPI能力検査
- 1月　面接対策実践講座／国家公務員採用制度説明会／高崎市役所採用試験制度説明会
- 2月　グループディスカッション実践練習会
- 3月　合同企業説明会

4年次

- 7月　面接対策実践講座／グループディスカッション実践講座／グループディスカッション実践練習会

随時　就職相談会

キャリア支援による、
高い就職率

就職実績

就職率 98.9%（2024年度卒業生実績）

民間等		公務員		教員	
大企業	54.7%	国家	1.8%	公立・私立	0.7%
中企業	18.9%	地方	14.7%		
小企業	0.1%				

【業種別就職状況】（2024年度卒業生合計）

業種	農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気、ガス、熱供給、水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	分類不能の産業	合計
経済	0	0	0	6	41	5	61	13	43	62	29	29	6	3	7	7	1	34	54	1	404
地域政策	1	0	1	14	37	3	65	13	44	60	15	18	3	4	9	7	5	27	80	1	407
合計	1	0	1	22	78	8	126	26	87	122	44	47	9	7	16	14	6	61	134	2	811

【2024年度 主な就職先】

※順不同 ※【 】内の数字は複数就職・進学

農業、林業
カネコ種苗(株)

鉱業、採石業、砂利採取業
ENEOS(株)

建設業
(株)安藤・間
(株)一条工務店[2]
大森建設(株)
(株)オノヤ
(株)加賀田組
グランディハウス(株)
群馬セキスイハイム(株)[2]
群馬ホーム(株)
四季の住まい(株)
住まいるホーム(株)
住友林業ホームエンジニアリング(株)
積水ハウス(株)
大和リース(株)
鉄建建設(株)
戸田建設(株)
トヨタウッドユーホーム(株)
(株)長谷工コーポレーション
昭和工業(株)
(株)ヤマダホームズ
(株)要興

製造業
(株)アイエイアイ
アイリスオーヤマ(株)
(株)えがお
(株)STIフードホールディングス
エスビー食品(株)
エスフーズ(株)
NECプラットフォームズ(株)
(株)荏原製作所
王子製鉄(株)
(株)岡本工作機械製作所
小倉クラッチ(株)
(株)カネダイ
ガリレイパネルクリエイト(株)
(株)河合楽器製作所
川崎工業(株)
(株)キーテクノロジー[3]
キヤノン・コンポーネンツ(株)
京三電機(株)
(株)キリウ
キヤノン・コンポーネンツ(株)
京三電機(株)
(株)コイシカワ
(株)コスモビューティー
サーモス(株)
(有)サタケ工業
サトーホールディングス(株)
三協立山(株)
サンデン(株)
参天製薬(株)
三立製菓(株)
(株)JSP
しげる工業(株)
シチズンマイクロ(株)
シナノケンシ(株)
(株)シャトレーゼ
(株)ジャムコ
正田醤油(株)
(株)鈴木
(株)SUBARU[2]
セコム工業(株)
ダイハツ工業(株)
太平洋製鋼(株)
太陽誘電ケミカルテクノロジー(株)
タキロンシーアイ(株)
(株)タニタ
(株)たねや
タマムラデリカ(株)
東亜工業(株)[2]
(株)ニコン
日本電気(株)
日本蓄電器ホールディングス(株)
パナソニックAP空調・冷設機器(株)
北海道糖業(株)
(株)ホンダカーズ群馬
マスプロ電工(株)
マチダコーポレーション(株)
マテックス(株)
マルハニチロ(株)
マルマテクニカ(株)
(株)ミツバ[2]
三菱電機ホーム機器(株)
三菱マテリアルテクノ(株)
三益半導体工業(株)
(株)栄養産業社
山形カシオ(株)
UDトラックス(株)
ヨシモトポール(株)
(株)LUXURY
理研計器(株)[2]
(株)ロイズコンフェクト
ローレルバンクマシン(株)
(株)ワールド

電気・ガス・熱供給・水道業
あおいホーム(株)
アストモスエネルギー(株)
サーラエナジー(株)
中部電力(株)
テス・エンジニアリング(株)
東電タウンプランニング(株)
東北電力(株)
TOKAIグループ

情報通信業
(株)アイアンドエーエス
(株)アイエイエフコンサルティング
アイエスエフネットグループ
(株)アイ・ステーション
(株)アイティフォー
アイレット(株)
アヴァント(株)
(株)アクティアス
(株)アシスト
(株)アドヴァンスト・インフォーメイション・デザイン
(株)ABABA
アバンテック(株)
(株)アビリッツ
(株)いえらぶGROUP
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
(株)ウエルストーン
ALH(株)
SES(株)
エスツーアイ(株)
NECソリューションイノベータ(株)
NTTアドバンステクノロジ(株)
NTTデータカスタマーサービス(株)
(株)NTT東日本－南関東[2]
ENEOSシステムズ(株)
(株)MCOR
(株)カイテクノロジー
カチシステムプロダクツ(株)
(株)キタムラ・ホールディングス[2]
(株)QUICK
good daysホールディングス(株)
グットビー(株)
XMile(株)
群馬テレビ(株)
(株)ケイケンシステム
(株)コーエーテクモゲームス
(株)ココナラ
(株)コスメディア
(株)コスモネット
コムチュア(株)[4]
サイボウズ(株)
サン・エム・システム(株)
(株)シーシーシー[2]
CTCシステムマネジメント(株)
(株)JR東日本情報システム[2]
(株)システムクエスト
(株)システムリサーチ
(株)SHIFT[3]
(株)ジャステック
(株)情報技術社
(株)上毛新聞社
(株)ゼウス・エンタープライズ
ソプラ(株)
第一生命情報システム(株)
大興電子通信(株)
(株)タカインフォテクノ
W CREATIVE(株)
都築電気(株)
(株)ティーガイア
(株)TKC
(株)ディマージシェア
テクバン(株)
(株)デジタルブロックス
テプコ・ソリューション・アドバンス(株)
(株)トインクス
東京海上日動システムズ(株)
(株)東朋システムサイエンス
(株)トーハン
(株)ドコモCS
トヨタ情報システム愛知(株)
トランスコスモス(株)
ニッセイ情報テクノロジー(株)[2]
日鉄ソリューションズ北海道(株)
日本情報産業(株)
日本電気航空宇宙システム(株)
日本情報通信(株)
パーソルビジネスプロセスデザイン(株)
パーソルプロセス&テクノロジー(株)[3]
バーチャレクス・コンサルティング(株)
(株)ビジネス・インフォメーション・テクノロジー
(株)日立ソリューションズ[2]
BIPROGY(株)
(株)ヒューマンシステム
(株)Felix Film
(株)フォーミュレーションI.T.S.[2]
富士通ネットワークソリューションズ(株)
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)[6]
(株)プラスト
(株)ブリーチ
(株)ブリングアップ史
(株)ブルーアルバーロ
(株)ぶんか社
(株)ベイシアグループソリューションズ
(株)ベオスアイティーホールディングス
(株)マイベスト
丸紅情報システムズ(株)
三菱総研DCS(株)
METATEAM(株)
mode(株)
ヤマトシステム開発(株)[2]
横河レンタ・リース(株)
(株)ラキール
(株)リアソルマネージメント
(株)両毛システムズ
(株)Works Human Intelligence
(株)ワールドスカイ

運輸業、郵便業
IRいしかわ鉄道(株)
(株)JR東日本ステーションサービス
西武鉄道(株)
東京地下鉄(株)
東武ステーションサービス(株)[2]
(株)ハピラインふくい
東日本旅客鉄道(株)[7]
北海道旅客鉄道(株)
西日本高速道路(株)
アーク引越センター(株)
丸全昭和運輸(株)
(株)丸和運輸機関[2]
神鋼物流(株)
朝日航洋(株)
(株)AIRDO
ANA関西空港(株)
ANA成田エアポートサービス(株)
トランコム(株)

卸売業、小売業
(株)アインホールディングス[3]
(株)アエナ
(株)いーふらん
伊藤忠食品(株)
(株)IDOM
岩瀬産業(株)
AMJ(株)
(株)ACN
(株)ネクステージ
(株)カインズ
(株)カワチ薬品
関東商事(株)
関東日本フード(株)[2]
(株)関東マツダ
キヤノンシステムアンドサポート(株)
(株)ギャレリア・ニズム
協和商事(株)
(株)クスリのアオキ[4]
(株)東邦医療器械商店
群馬トヨタ自動車(株)
群馬トヨペット(株)[2]
群馬日産自動車(株)[2]
ゲンキー(株)[2]
国分東北(株)
(株)コダイン
サンセイ医機(株)
サンメディックス(株)
(株)サンワ
(株)ジェイックスコーポレーション
(株)ジンズ[2]
(株)スズキ自販群馬
鈴与マタイ(株)
スターティア(株)
生活協同組合コープぐんま
(株)セキチュー
(株)セコマ
(株)大道
東海澱粉(株)
(株)トーメンデバイス
(株)トップ
(株)巴商会
トヨタカローラ群馬(株)
トヨタモビリティパーツ(株)
(株)とりせん
ナガイレーベン(株)
(株)日本アクセス
日本瓦斯(株)
(株)ニトリ
(株)ニトリホールディングス[2]
根岸鋼材(株)
(株)パンクチュアル
フィールズ(株)
(株)富士薬品
(株)ベルーナ
(株)ベルク[2]
(株)ホンダベルノ栃木中
まいばすけっと(株)
(株)マクニカ[2]
丸文(株)
三菱食品(株)
明光電子(株)
(株)メガ
(株)守谷商会
(株)ヤオコー
(株)ヤマダデンキ
(株)ヤマダホールディングス[2]
(株)ヨドバシカメラ
ラディックス(株)
リコージャパン(株)
(株)良品計画[4]

金融業、保険業
(株)りそな銀行
(株)埼玉りそな銀行
りそなグループ[2]
(株)足利銀行[3]
(株)大垣共立銀行[2]
(株)京都銀行
(株)群馬銀行[7]
(株)京葉銀行
(株)七十七銀行[2]
(株)清水銀行
十六フィナンシャルグループ
(株)常陽銀行[5]
(株)第四北越銀行
(株)筑波銀行[3]
(株)東邦銀行
(株)東北銀行
(株)東和銀行[5]
(株)名古屋銀行
(株)八十二銀行[3]
(株)北洋銀行[2]
(株)北陸銀行[2]
(株)山形銀行[2]
(株)山梨中央銀行[2]
(株)ゆうちょ銀行
三井住友信託銀行(株)
(株)日本政策金融公庫[5]
信金中央金庫[2]
桐生信用金庫[3]
埼玉縣信用金庫
しののめ信用金庫[8]
高崎信用金庫[5]
栃木信用金庫
館林信用金庫
長野信用金庫[2]
浜松磐田信用金庫
朝銀信用金庫[2]
あかぎ信用組合
ぐんまみらい信用組合
(株)商工組合中央金庫
農林中央金庫
中央労働金庫[2]
静岡県労働金庫
長野県労働金庫[3]
労働金庫連合会[2]
群馬県信用保証協会[2]
東京信用保証協会
群馬県農業(共済)
宮城県農業(共済)
アイザワ証券(株)
第三にいがた証券(株)
ソニー生命保険(株)
第一生命保険(株)
東京海上日動火災保険(株)[4]
日本生命保険(相)[4]
日本コープ共済生活協同組合連合会
アコム(株)
イオンフィナンシャルサービス(株)
(株)イントラスト
内山鑑定(株)
(株)ETERNAL
オリックス・クレジット(株)
新生フィナンシャル(株)
(株)整理回収機構
ソニーペイメントサービス(株)

不動産業、物品賃貸業
(株)アーキテクト・ディベロッパー
(株)アクティオ
穴吹興産(株)
イオンモール(株)
伊藤忠アーバンコミュニティ(株)
(株)インヴァランス
(株)ウィルレイズ
(株)NST[2]
NTT・TCリース(株)
(株)オープンハウスグループ[4]
オリックス・レンテック(株)
片倉工業(株)
JA三井リース(株)
(株)ジェクトワン
シャープファイナンス(株)
昭和リース(株)
住友不動産販売(株)
積水ハウス不動産東京(株)
大和リビング(株)
高崎ターミナルビル(株)
(株)ツクルバ
トウショウレックス(株)[2]
(株)トヨタレンタリース群馬
NEXTGROUP
(株)パーキングマーケット
(株)ひなご
(株)フージャースホールディングス
芙蓉総合リース
ホームトレードセンター(株)
三井住友ファイナンス&リース(株)
三井不動産リアルティ(株)
三井不動産レジデンシャルサービス(株)
三菱地所コミュニティ(株)
三菱地所リアルエステートサービス(株)
武蔵コーポレーション(株)[2]
りそなリース(株)
(株)リビングライフ
(株)渡辺住研

学術研究、専門・技術サービス業
(株)アイ・ビー・イー
(株)揚羽
Ascent Business Consulting(株)
アチーブメント(株)
(株)あとらすニ十一
(税)アミック&パートナーズ
荒井会計事務所
(株)AVIC
(株)エスケーホーム
小野寺会計事務所
(株)ギミック
(株)アイ・ディー・エー
キャムコムグループ
共同エンジニアリング(株)
(株)昇和
(株)サイネックス
国立研究開発法人産業技術総合研究所
(株)シンクジャム
(税)ゼニックス・コンサルティング英竣
(税)チェスター
(株)中央総研
(株)帝国データバンク
ディップ(株)[2]
(株)DIRBATO[2]
データアナリティクスラボ(株)
(株)トリドリ
日本駐車場開発(株)
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
(株)ノースサンド
初山公認会計士税理士事務所
(株)ピーシーデポコーポレーション
(株)ビジブル
(株)フォー・ファイヴ
船井総研ロジ(株)
(株)文化放送キャリアパートナーズ
(株)マクロミル
三井デザインテック(株)
(株)Regrit Partners
(株)リンクアカデミー
レイス(株)[3]
レイスグループ[3]

宿泊業、飲食サービス業
(株)共立メンテナンス
ヒューリックホテルマネジメント(株)
(株)星野リゾート[2]
(株)星野リゾート・マネジメント
(株)三井不動産ホテルマネジメント
元気寿司(株)
(株)すかいらーくホールディングス
(株)力の源カンパニー

生活関連サービス業、娯楽業
イオンエンターテイメント(株)
(株)快活フロンティア
空港ターミナルサービス(株)
クラブツーリズム(株)
(株)JTB
(株)永田屋
(株)はとバス

教育、学習支援業
茨城県教育委員会
(学)東京経済大学
関東甲信越地区国立大学法人等グループ
岐阜県教育委員会
群馬県教育委員会
静岡県教育委員会
(株)スプリックス
(株)成学社
(学)高崎商科大学
(大)東京医科歯科大学
(株)トライグループ
長野県教育委員会
(株)日本保育サービス
(株)パソナフォスター
(株)Vivixy
(株)LITALICO

医療・福祉
(株)グッドライフケア東京
(福)広済会
社会保険診療報酬支払基金
(福)清光会
全国健康保険協会
(株)ソラスト
戸田中央メディカルケアグループ
(株)日医リース
日本年金機構[6]

複合サービス事業
あおば農業(協組)
北新潟農業(協組)
長野県農業(協組)
全国農業協同組合連合会群馬県本部
晴れの国岡山農業(協組)
山形県農業協同組合中央会

サービス業（他に分類されないもの）
(株)アウトソーシングテクノロジー[2]
アデコ(株)
(株)irodas
(株)インター・アート・コミッティーズ
ANAあきんど(株)
(株)エスプールリンク
NTTアーバンバリューサポート(株)[3]
エン・ジャパン(株)[2]
一般財団法人工業所有権協力センター
(株)ザイマックスグループ
(株)シー・アイ・シー
JR東日本東北総合サービス(株)
シンクトワイス(株)
(株)スタッフサービス・ホールディングス[2]
全国中小企業団体中央会
(株)総合キャリアオプション
タイムズ24(株)
(株)タケダ
DSP(株)
(株)テクノジャパン
(株)東京海上日動コミュニケーションズ
鳳翔(株)
独立行政法人水資源機構
富山ターミナルビル(株)
長井商工会議所
公益財団法人長野県農業開発公社
日研トータルソーシング(株)
日本郵政コーポレートサービス(株)
日本郵便(株)
(株)ネオキャリア
農林中金ファシリティーズ(株)
パーソルキャリア(株)[4]
(株)ビーネックステクノロジーズ
(株)日立ビルシステム
beauty works LoopLine
(株)フジヤ
ブックオフコーポレーション(株)
(株)プライムプレイス
(株)ボールド[2]
北海道エアポート(株)
(株)マイナビ
ミイダス(株)
水戸商工会議所
(株)武蔵屋
(株)ヤマニ熱工業
(株)4976ホールディングス
(株)横浜フリエスポーツクラブ
(株)リンクスタッフグループ
(株)ロフティー
(株)ワールドインテック[3]

公務（他に分類されるものを除く）
経済産業省関東経済産業局
総務省中部管区行政評価局
林野庁
前橋地方法務局[2]
前橋地方裁判所[2]
水戸地方裁判所
関東信越国税局[2]
東京国税局[2]
防衛省
防衛省航空自衛隊
防衛省情報本部
青森県庁
茨城県庁[2]
岩手県庁
神奈川県庁
群馬県庁[16]
埼玉県庁[3]
滋賀県庁
静岡県庁[4]
千葉県庁
東京都庁
長野県庁[6]
新潟県庁[2]
福島県庁
北海道庁[2]
三重県庁
山形県庁
阿賀野市役所
秋田市役所
上尾市役所
足利市役所[2]
伊勢崎市役所[2]
魚津市役所
宇都宮市役所
太田市役所[5]
加須市役所[2]
金沢市役所[2]
桐生市役所
久喜市役所
古河市役所
越谷市役所
さいたま市役所[3]
仙台市役所
仙北市役所
高崎市役所[13]
館林市役所[2]
つくばみらい市役所
鶴岡市役所[2]
栃木市役所
富岡市役所
豊橋市役所
長野市役所
新潟市役所
沼田市役所[2]
沼津市役所
飯能市役所
富士市役所
本庄市役所
みどり市役所[2]
南魚沼市役所
焼津市役所
葛飾区役所
江東区役所
目黒区役所
石川町役場
玉村町役場
小鹿野町役場
小川町役場
邑楽町役場
那須町役場
野木町役場
森町役場
山ノ内町役場
利府町役場
群馬県警察
東京消防庁

分類不能の産業
起業、創業、個人事業主[2]

大学院進学等
【経済学部】
北海道大学大学院
お茶の水女子大学大学院
東京理科大学大学院
武蔵野大学大学院経営学研究科
早稲田大学大学院人間科学研究科
上越教育大学大学院学校教育研究科

【地域政策学部】
東北大学大学院経済学研究科
筑波大学大学院
高崎経済大学大学院地域政策研究科[3]
法政大学大学院政治学研究科

学費

両学部共通

年間授業料 **520,800円**

◎初年度納入金内訳

	一　般	高崎市民※1
入学金	282,000円	141,000円
授業料※2	520,800円	520,800円
諸費用	106,300円	106,300円
合　計	909,100円	768,100円

2年次以降

	一　般	高崎市民※1
授業料※2	520,800円	520,800円

4年間合計

	一　般	高崎市民※1
納入金	2,471,500円	2,330,500円

※1 高崎市民とは、入学年の4月1日現在において、本人又はその配偶者若しくは1親等の親族が、引き続き1年以上高崎市に住所を有する者をさします。
※2 授業料は前期・後期 各260,400円で合計520,800円です。前期分授業料は4月、後期分授業料は、10月の納入です。
・上記のほか、両学部2年生及び地域政策学部3年次編転入の3年生は、TOEIC受験料を受験時に納入いただきます。

私立大との初年度納入金比較

文部科学省「令和5年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金等平均額」より

奨学金制度

大学独自の制度のほか、高崎経済大学同窓会および高崎経済大学後援会には以下の奨学金があります。また、日本学生支援機構をはじめとして、各種の奨学金制度を学内で申し込めます。

修学支援制度について

「大学等における修学の支援に関する法律」に基づき、2020年度から高等教育における修学支援新制度が開始されました。
本学は、本制度の対象機関となっています。
詳細は、本学ホームページをご確認ください。なお、本制度の概要等については、文部科学省のホームページ等で確認してください。

高崎経済大学同窓会給付金

家計を支えている者の死亡や被災など、家計が急変し就学が困難になった学生で、事由発生月から12か月以内、死亡の場合6か月以内に申請があったものを対象に審査し、給付します。

給付額	給付実績（2024年度）
100,000円	0人

高崎経済大学後援会就学支援金

家計を支えている者の死亡や被災など、家計が急変し就学が困難になった学生に対し、公的機関による支援が措置されるまでの間の就学継続等を目的として支給する制度です。

給付額	給付実績（2024年度）
上限300,000円	1人

日本学生支援機構

種　類	給付奨学金	貸与奨学金	
		第一種（無利子）	第二種（有利子）
人　数（2024年度）	407人	768人	717人

※ 貸与月額等の詳細は日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

留学生

（2024年度）

種　類	金　額	人　数
日本学生支援機構（学習奨励費予約者）	月額　48,000円	3人
（一財）高崎経済大学後援会奨学金	月額　10,000円	18人
ロータリー米山記念奨学金	学部生：月額 100,000円 院生：月額 140,000円	5人
JEES日本語修学支援奨学金	月額　50,000円	1人

大学院

より高度で専門的な研究を志す人は大学院へ

地域政策研究科

博士前期課程

各領域（都市・農村を主とする研究、産業・経営を主とする研究、行政・政治を主とする研究、環境・人間・福祉を主とする研究、文化・観光を主とする研究）固有の課題に加え、領域横断的な地域政策課題についての総合的解決法を研究・教育します。

博士後期課程

「地域政策学」の教育研究実践を積み重ねて、博士（地域政策学、学術）の取得を目指します。

経済・経営研究科

博士前期課程

「現代社会経済システム専攻」では経済学を、「現代経営ビジネス専攻」では経営学・会計学をベースにしながら、より幅広い歴史的・社会的視野を持って経済・経営の諸課題に取り組めるようなカリキュラムを用意しています。

博士後期課程

「現代経済経営研究専攻」では、独創性・創造性にあふれた高度な専門的研究を進めて博士（経済学、経営学）の取得を目指します。

早期履修制度

本学の成績優秀者は学部4年次に本学大学院の授業科目を履修することが認められます。大学院入学後、修得した単位を認定することで1年間での博士前期課程修了を可能とする制度です。

※経済学部は経済・経営研究科、地域政策学部は地域政策研究科で利用可能です。

詳細は大学院案内をご覧ください

＼ キャンパスマップ ／

CAMPUS MAP

烏川のほとりに全ての施設がまとまって配置された本学キャンパス。大きく育った木は伝統の証です。学びの場にふさわしい開放的かつ落ち着いた環境の中で、豊かなキャンパスライフを送ってください。

1 1号館
2 2号館
3 3号館
4 4号館
5 5号館
6 6号館
7 7号館
8 事務棟
9 学生ボランティア活動支援室
10 研究棟
11 三扇会館
12 図書館
13 三扇祭実行委員会室
14 旧音楽サークル棟
15 旧文化サークル棟
16 第1グラウンド
17 野球場
18 文化サークル棟
19 総合体育館
20 体育会クラブハウス
21 弓道場
22 茶道室
23 倉庫
24 多目的広場
25 陸上競技場
26 総合グラウンド
27 テニスコート
28 BBQ場
29 噴水
30 駐車場
31 バス停
32 正門
33 経大前通り
34 駐車場

1 1号館（展望ラウンジ：6F）

展望が良く憩いのひと時を過ごせます

1号館の6階は、上毛三山を望む眺めが自慢の展望ラウンジになっており、空き時間や休憩時間に自由に利用することができます。

7 7号館（食堂：1F）

夜まで営業の食堂が嬉しい

1階の生協食堂は、いつも多くの学生で賑わっています。平日は11:00から19:00まで営業しているので、一人暮らしの学生の強い味方です。

11 三扇会館（購買部：1F 食堂：2F）

組合員証の提示で、書籍・雑誌10%OFF
教習所や資格スクールの割引も！

1階の生協購買部では、教習所・旅行・資格スクールなどの受付と、食品・飲料・文具・パソコン周辺機器・書籍・雑誌など幅広く商品を取り扱っています。2階には生協食堂もあります。

12 図書館（パソコンコーナー・グループ研究室）

約39万冊の蔵書、TAKAKEIのランドマーク施設

キャンパスの中央に位置する図書館には、約39万冊の蔵書があります。蔵書の種類は、経済・地域政策関連はもとより全国の郷土資料が充実していることが特色です。平日は21:30まで、日曜・祝日も開館しています。館内には利用目的に応じた閲覧スペース、パソコンコーナー、図書館ホール、ラウンジを設置しています。さらに、館内全域で無線LANが利用でき、データベースや電子ジャーナル等多くのコンテンツが図書館ウェブサイトを介して利用できるように整備されています。

パソコンコーナー
自由に利用できるパソコンが設置されています。

グループ研究室
部屋は4室、ゼミ活動やサークル活動で利用できます。予約が必要です。

可動式本棚
これにより数多くの書物を収蔵でき、目当ての書籍も探しやすくなっています。

エントランスホール（多目的スペース）
空き時間に、個人学習等で自由に活用できます。

＼ キャンパスカレンダー ／

CAMPUS CALENDAR

2025年度 年間行事予定

4月	入学式 新入生ガイダンス 教職課程ガイダンス 2～4学年ガイダンス 教育実習ガイダンス 前期開講 新入生歓迎会 新入留学生歓迎会 部活・サークル説明会 演習（ゼミ）選択ガイダンス （経済学部）
5月	フレッシャーズキャンプ （体育会） 学生献血活動
6月	フレッシャーズキャンプ （文化サークル協議会） 学長杯ソフトボール大会 開学記念日（6・25） 鶴麓祭
7月	体育会所属団体体育祭 オープンキャンパス
8月	前期末試験 夏季休業 オープンキャンパス
9月	救急救命講習 後期開講
10月	学内献血活動 プレゼンテーション大会 （経済学部） プレゼンテーション大会 （地域政策学部）
11月	教育実習ガイダンス 介護等体験実習ガイダンス 三扇祭（大学祭）
12月	体育会リーダーズキャンプ 冬季休業 学科選択ガイダンス
1月	授業再開 教育実習ガイダンス 後期末試験
2月	春季休業 リーダーズキャンプ （文化サークル協議会） 卒業論文発表会 （地域政策学部）
3月	合同企業説明会 体育会クリーンアップ活動 学位記授与式

入試情報

入学者選抜は全国10ヵ所で実施

一般選抜は、地元で受験することが可能なので、交通費等の経済的な負担や移動時間を抑えることができます。

札幌　仙台　**高崎**　東京　金沢

名古屋　大阪　岡山　高松*　福岡*

★地域政策学部後期日程を除きます。

2025年度 入学者選抜実施状況

経済学部

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
前期日程	140	687	633	201	170
公立大学中期日程	240	3,050	1,636	513	261
学校推薦型選抜	100	199	199	100	100
小計	480	3,936	2,468	814	531
私費外国人留学生	若干人	35	30	7	3
社会人	若干人	0	0	0	0
帰国生徒	若干人	1	1	1	1
小計	480	3,972	2,499	822	535
2年次編入・転入	若干人	2	2	1	1
小計	若干人	2	2	1	1
合計	480	3,974	2,501	823	536
科目等履修生聴講生	若干人	0	0	0	0

地域政策学部

試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
前期日程	200	804	686	280	244
後期日程	100	1,184	517	180	126
学校推薦型選抜Ⅰ	50	162	162	50	50
学校推薦型選抜Ⅱ	45	160	160	49	49
小計	395	2,310	1,525	559	469
私費外国人留学生	25	44	35	25	18
社会人	若干人	1	1	1	1
帰国生徒	若干人	0	0	0	0
小計	420	2,355	1,561	585	488
2年次編入・転入	20	52	51	23	22
3年次編入・転入	10	27	26	11	9
小計	30	79	77	34	31
合計	450	2,434	1,638	619	519
科目等履修生聴講生	若干人	3	3	3	3

両学部合計		
	募集人員	930
	志願者数	6,408
	受験者数	4,139
	合格者数	1,442
	入学者数	1,055

入学者選抜合格者点数内訳表

試験区分	合格者最高得点	合格者平均得点	合格者最低得点	満点
経済学部 前期日程	625.00	549.27	518.00	800
経済学部 公立大学中期日程	621.50	495.88	451.00	700
地域政策学部 前期日程	601.00	529.28	504.50	800
地域政策学部 後期日程	526.00	473.40	452.00	700

＊経済学部 前期日程の満点は800点、公立中期日程の満点は700点です。
＊地域政策学部は、3教科3科目対象者の得点で、前期日程の満点は800点、後期日程の満点は700点です。
＊合格発表日現在のもので、その後に追加合格者がある場合でも数値に含みません。

Web出願　事前準備完了後、Web出願システムを使って出願期間内にこれらのステップを完了させます。

1. 学生募集要項の確認
2. ガイダンスサイトにアクセス
3. 出願登録・写真登録
4. 入学検定料の支払い
5. 出願書類の印刷
6. 出願書類の郵送

こちらからアクセス！
※大学院を除く

すべての入試区分でWeb出願を導入しています。 → https://www.tcue.ac.jp/leafpage/652.html

入試情報は発行時点（2025年5月）のものです。諸般の事情により変更が生じる場合がありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

2026年度 入学者選抜情報　（募集要項はホームページで公開予定、冊子の配布はありません）

経済学部 学校推薦型選抜

実施学部学科名	経済学部（経済学科・経営学科・国際学科）
募集人員	100人 内訳：地域推薦15人・ 全国推薦50人（※高崎市立高崎経済大学附属高校3人含む）・ 英語重視推薦20人・商業等推薦15人 ※それぞれの募集人員に対して、1校あたり3人まで推薦することができます。
出願資格	本学への入学を特に志望する者で、次の各号のすべてに該当する者 ①高等学校又は中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者 ②人物・学力ともに優秀で、かつ、勉学意欲が旺盛で、学校長が責任をもって推薦できる者 ③入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者 （地域推薦においては） ④2026年4月1日現在において、本人自身、その者の配偶者又は1親等の親族が、引き続き1年以上高崎市に住所を有する者（2025年4月1日から2026年4月1日まで引き続き高崎市に住民登録のある者） （英語重視推薦においては） ④本学が指定する英語外部検定試験において、以下のア～エのいずれか一つを満たしている者 ア　実用英語技能検定試験（英検）2級以上 イ　TOEFL iBT 42点以上 ウ　GTEC 930点以上 エ　TOEIC L&R　TOEIC S&W 1150点以上 ※TOEIC L&R/TOEIC S&Wは、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算する。 （商業等推薦においては） ④高等学校学習指導要領における専門教育に関する教科（商業）の科目のうち、簿記及び財務会計Ⅰを履修している者 ⑤公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級を取得している者
選抜方法	□地域推薦・全国推薦 英語*、小論文、面接試験、調査書等の提出書類により総合的に判定します。 □英語重視推薦 英語*、面接試験、調査書等の提出書類により総合的に判定します。 また、志願者が所持する本学が指定する英語外部検定試験の等級及びスコアに応じて加点します。 注）英語重視推薦で合否判定が不合格の場合、「小論文」を受験していることで、全国推薦での合否判定対象とします。このため、英語重視推薦志願者で「小論文」の受験も希望する者は、出願時に「小論文を受験する」にチェックの上、「小論文」を受験してください。 □商業等推薦 英語*、面接試験、調査書等の提出書類により総合的に判定します。 注）志願者が所持する資格に応じて加点をします。 なお、対象となる資格は、英検準2級以上、日本商工会議所簿記検定試験2級以上及び公益財団法人全国商業高等学校協会が実施する「三種目以上1級合格者表彰制度」において試験種目としている検定試験です。 ＊本学における課程履修に耐え得る最低限の英語能力を判定するための基礎学力試験です。 ※大学入学共通テストを免除します。
出願期間	2025年11月1日（土）～11月7日（金）
試験日	2025年11月23日（日）
試験場	高崎
合格発表日	2025年12月1日（月）
募集要項	9月中旬HP公開予定

地域政策学部 学校推薦型選抜

▶ 学校推薦型Ⅰ

実施学部学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	50人（高崎市立高崎経済大学附属高校5人含む）
出願資格	高等学校（中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を2026年3月卒業（修了）見込みの者又は2022年3月以降卒業（修了）した者【卒業（修了）後4年以内】
出願要件	次の各号のすべてに該当する者 ①地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心をもつ者 ②学校長が責任をもって推薦できる者 ③入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者
選抜方法	学校長の推薦書及び調査書、自己推薦書・活動実績報告書、小論文（英語に関する問題を含む）、面接試験により総合的に判定します。 ※大学入学共通テストを免除します。
出願期間	2025年11月1日（土）～2025年11月7日（金）
試験日	2025年11月23日（日）
試験場	高崎・仙台
合格発表日	2025年12月1日（月）
募集要項	9月中旬HP公開予定

▶ 学校推薦型Ⅱ（大学入学共通テスト利用）

実施学部学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	45人
出願資格	高等学校（中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む）を2026年3月卒業（修了）見込みの者
出願要件	次の各号のすべてに該当する者 ①地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心を持つ者 ②学校長が責任をもって推薦できる者 ③入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者 ④令和8年度大学入学共通テスト3教科3科目（外国語を含む）以上受験する者
選抜方法	令和8年度大学入学共通テスト3教科3科目（外国語を含む）の成績、学校長の推薦書、調査書及び自己推薦書により総合的に判定します。 ※書類選考のため、個別学力検査は実施しません。
出願期間	2026年1月5日（月）～2026年1月13日（火）
合格発表日	2026年2月6日（金）
募集要項	9月中旬HP公開予定

経済学部 その他の入試

◆ 編入・転入学

試験日	2025年12月21日（日） ※事前審査を兼ねます。
募集人員	2年次 若干人
試験科目	英語、経済学・経営学の基礎問題、面接試験
試験場	高崎
募集要項	7月中旬HP公開予定

◆ 帰国生徒

試験日	2025年12月21日（日）
募集人員	若干人
試験科目	志望論文（出願時提出）、小論文、面接試験
試験場	高崎
募集要項	9月中旬HP公開予定

◆ 社会人

試験日	2025年12月21日（日）
募集人員	若干人
試験科目	英語、小論文、面接試験
試験場	高崎
募集要項	9月中旬HP公開予定

◆ 私費外国人留学生

試験日	2025年12月21日（日）
募集人員	若干人
試験科目	日本留学試験の成績、面接試験
試験場	高崎
募集要項	7月中旬HP公開予定

地域政策学部 その他の入試

◆ 編入・転入学

試験日	2025年9月13日（土）
募集人員	2年次20人 3年次10人
試験科目	小論文、面接試験
試験場	高崎
募集要項	7月中旬HP公開予定

◆ 帰国生徒

試験日	2025年12月21日（日）
募集人員	若干人
試験科目	志望論文（出願時提出）、小論文、面接試験
試験場	高崎
募集要項	9月中旬HP公開予定

◆ 社会人

試験日	2025年11月23日（日）
募集人員	若干人
試験科目	志望論文（出願時提出）、小論文、面接試験
試験場	高崎
募集要項	9月中旬HP公開予定

◆ 私費外国人留学生

試験日	2025年12月21日（日）
募集人員	25人
試験科目	日本留学試験の成績、小論文、面接試験
試験場	高崎
募集要項	7月中旬HP公開予定

入試情報／経済学部

入試情報は発行時点（2025年5月）のものです。諸般の事情により変更が生じる場合がありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

経済学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部では、「教育課程編成・実施の方針」にもとづく教育を施すことを通じて、「卒業認定・学位授与の方針」に掲げた人材を育成するため、以下のような資質を備えたひとを積極的に受け入れる。

1 高等学校までの以下の学習の内容をきちんと身につけているひと
（1）日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（2）英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（3）数理的手法を身につけるために必要な数学の知識・技能
（4）人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識

2 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができるひと

3 経済、経営及び国際関係に強い興味・関心があり、主体的な態度で学習に取り組むことができるひと

4 多様な価値及び意見を尊重し、他者と協力しながら学習や課外活動に取り組むことができるひと

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
一般選抜では、前期日程、公立大学中期日程とも、大学入学共通テストと個別学力検査を行い、上記1及び2の知識・技能及び能力を修得しているかを評価するとともに、調査書により、上記3、4の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
学校推薦型選抜では、英語と小論文試験で、上記1の（1）、（2）及び2の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、調査書・推薦書等の提出書類により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。さらに、1、3の知識・技能・態度に関しては、英語や簿記などの資格・検定試験の結果も適宜評価する。

○編入・転入学選抜
編入・転入学選抜では、英語及び経済学・経営学の基礎的な問題により、上記1の（2）、（3）及び3の知識・技能・態度を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績により、上記1の知識・技能を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○社会人選抜
社会人選抜では、英語と小論文試験により、上記1の（1）、（2）及び2の知識・技能及び能力を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

○帰国生徒選抜
帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4の態度・能力を総合的に判断する。

2026年度 一般選抜情報

（募集要項は11月中旬ホームページで公開予定、冊子の配布はありません）

募集人員

学部	学科	入学定員	一般選抜 前期日程	一般選抜 公立大学中期日程
経済	経済	200人	140人	240人
	経営	200人		
	国際	80人		

Ⅰ 出願資格（前期日程・公立大学中期日程）

令和8年度大学入学共通テストを、本学の指示に従って受験した者＊で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

（1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2026年3月31日までに卒業見込みの者
（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）又は2026年3月31日までに修了見込みの者
（3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは2026年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2026年3月31日までに修了見込みの者
（5）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2026年3月31日までに修了見込みの者
（6）文部科学大臣の指定した者
（7）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
（8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2026年3月31日までに18歳に達するもの

＊本学では、大学入学共通テストを利用した選抜を実施します。令和8年度大学入学共通テストは、本要項で指示したとおりの教科・科目（英語を選択した場合はリスニングを含む）を必ず受験してください。未受験の教科・科目があるなど本要項で指示したとおりの教科・科目を受験していない場合は、判定の対象としません。

Ⅱ 出願期間（前期日程・公立大学中期日程）

2026年1月26日（月）～2月4日（水）
＊2月4日までの消印有効

Ⅲ 選抜方法（前期日程・公立大学中期日程）

本学が指示する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目及び本学が実施する個別学力検査の成績ならびに調査書を総合して判定します。

大学入学共通テスト

大学入学共通テストを次の指示に従い、受験してください。
〈前期日程〉　外国語を含む4教科4科目を選択解答してください。
〈公立大学中期日程〉　外国語を含む3教科3科目を選択解答してください。

区分・日程	教科	科目名等		科目数
前期	国語	「国語」		から3
	地理歴史	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」，「地理総合／歴史総合／公共」	から1	
	公民	「公共，倫理」，「公共，政治・経済」		
	数学①	「数学Ⅰ，数学A」，「数学Ⅰ」	から1	
	数学②	「数学Ⅱ，数学B，数学C」		
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」	から1	
	情報	「情報Ⅰ」		
	外国語	「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」	から1	
				〔外国語を含む４教科４科目〕

区分・日程	教科	科目名等		科目数
中期	国語	「国語」		から2
	地理歴史	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」，「地理総合／歴史総合／公共」	から1	
	公民	「公共，倫理」，「公共，政治・経済」		
	数学①	「数学Ⅰ，数学A」，「数学Ⅰ」	から1	
	数学②	「数学Ⅱ，数学B，数学C」		
	理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」	から1	
	情報	「情報Ⅰ」		
	外国語	「英語」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」	から1	
				〔外国語を含む３教科３科目〕

＊「英語」でリスニングを受験しない場合は、失格となります。
＊「地理歴史，公民」「理科」で2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
＊「数学」で2科目受験した場合は、高得点の科目を採用します。

前期日程

（1）個別学力検査
①試験日　2026年2月25日（水）
②試験場　高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山・高松・福岡
③試験科目及び試験時間

時間	教科	科目名等	科目数
9:40～12:00	国語	現代の国語，言語文化，論理国語，古典探究を合わせたものを「国語」として出題	から2
	数学	数学Ⅰ，数学A，数学Ⅱ，数学B，数学Cを合わせたものを「数学」として出題 ＊数学Aは「図形の性質」，「場合の数と確率」を，数学Bは「数列」を，数学Cは「ベクトル」を出題範囲とする。	
	外国語【英語】	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲを合わせたものを「英語」として出題	
			〔２教科２科目〕

（2）大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

試験の区分	教科別配点							合計	総点
大学入学共通テスト	国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	外国語	100点×4科目＝400点	800点
	各科目100点（外国語及び国語を100点に換算します。）								
個別学力検査	国語		数学				外国語	200点×2科目＝400点	
	各科目200点								

（3）合格発表日
2026年3月6日（金）　午前10時から

公立大学中期日程

（1）個別学力検査
①試験日　2026年3月8日（日）
②試験場　高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山・高松・福岡
③試験科目及び試験時間

時間	教科	科目名等	科目数
9:40～12:00	国語	現代の国語，言語文化，論理国語，古典探究を合わせたものを「国語」として出題	から2
	地理歴史	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」	から1
	公民	「公共，政治・経済」	
	数学	数学Ⅰ，数学A，数学Ⅱ，数学B，数学Cを合わせたものを「数学」として出題 ＊数学Aは「図形の性質」，「場合の数と確率」を，数学Bは「数列」を，数学Cは「ベクトル」を出題範囲とする。	
	外国語【英語】	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲを合わせたものを「英語」として出題	
			〔２教科２科目〕

（2）大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

試験の区分	教科別配点							合計	総点
大学入学共通テスト	国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	外国語	100点×3科目＝300点	700点
	各科目100点（外国語及び国語を100点に換算します。）								
個別学力検査	国語	地理歴史	公民	数学			外国語	200点×2科目＝400点	
	各科目200点								

（3）合格発表日
2026年3月21日（土）　午前10時から

入試情報／地域政策学部

入試情報は発行時点（2025年5月）のものです。諸般の事情により変更が生じる場合がありますので、最新の情報はホームページで確認してください。

地域政策学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

1 大学で学ぶための基礎的な学力として、高等学校までの以下の学習の内容を身に付けている人
（1）日本語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（2）英語における「読む」「聞く」「話す」「書く」の技能
（3）データや資料を適切に分析・処理するのに必要な知識・技能
（4）人文社会科学を学習する前提となる幅広い知識

2 1に掲げる知識・技能をもとに、論理的に思考し、自身の考えをまとめて他者に伝えることができる、聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている人

3 地域社会に関する幅広い問題意識を持っている人

4 地域社会が直面する諸課題の解決に積極的に取り組む意欲を持っている人

5 大学内外の人たちと協力して学修・研究に取り組むことができる人

また、上記のような資質を備えているかを判断するため、以下の基本方針のもと入学者選抜を行い、多様な人材の確保に努める。

○一般選抜
一般選抜では、前期日程、後期日程とも、大学入学共通テストと個別学力検査を行い、上記1の知識・技能を修得しているかを評価する。個別学力検査では小論文の受験を必須とし、上記3及び4の問題意識や関心を有しているかを評価するとともに、論理的な文章を作成する能力をはかる。あわせて、調査書により、上記3、4、5の態度・能力を確認し、総合的に判断する。

○学校推薦型選抜
学校推薦型選抜では、小論文試験（英語を含む）により、上記1の（1）、（2）及び2の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験、活動実績報告書及び調査書等により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○編入・転入学選抜
編入・転入学選抜では、小論文試験により、上記1の（3）、（4）、3及び4の知識・関心を有しているかを評価するとともに、面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力について総合的に判断する。

○私費外国人留学生選抜
私費外国人留学生選抜では、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績により、上記1の知識・技能を有しているかを評価するとともに、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○社会人選抜
社会人選抜では、小論文試験により、上記1の（1）及び2の知識・技能・能力を有しているかを評価するとともに、面接試験及び志望論文により、上記3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

○帰国生徒選抜
帰国生徒選抜では、小論文試験及び面接試験により、上記2、3、4、5の態度・能力を総合的に判断する。

2026年度 一般選抜情報

（募集要項は11月中旬ホームページで公開予定、冊子の配布はありません）

募集人員

学部	学科	入学定員	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程
地域政策	地域政策	150人	200人	100人
	地域づくり	150人		
	観光政策	120人		

Ⅰ 出願資格（前期日程・後期日程）

令和8年度大学入学共通テストを、本学の指示に従って受験した者＊で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

（1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は2026年3月31日までに卒業見込みの者
（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）又は2026年3月31日までに修了見込みの者
（3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは2026年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
（4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2026年3月31日までに修了見込みの者
（5）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2026年3月31日までに修了見込みの者
（6）文部科学大臣の指定した者
（7）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は合格見込みの者で、2026年3月31日までに18歳に達するもの
（8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で2026年3月31日までに18歳に達するもの

＊本学では、大学入学共通テストを利用した選抜を実施します。令和8年度大学入学共通テストは、本要項で指示したとおりの教科・科目（英語を選択した場合はリスニングを含む）を必ず受験してください。未受験の教科・科目があるなど本要項で指示したとおりの教科・科目を受験していない場合は、判定の対象としません。

Ⅱ 出願期間（前期日程・後期日程）

2026年1月26日（月）～2月4日（水）
＊2月4日までの消印有効

Ⅲ 選抜方法（前期日程・後期日程）

本学が指示する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目及び本学が実施する個別学力検査の成績ならびに調査書を総合して判定します。

大学入学共通テスト

大学入学共通テストを次の指示に従い、受験してください。
（前期日程・後期日程）外国語を含む5教科5科目又は外国語を含む3教科3科目を選択解答してください。

区分・日程	教科	科目名等	科目数	
出願資格	国語	『国語』		から2又は4
	地理歴史	『地理総合，地理探究』，『歴史総合，日本史探究』，『歴史総合，世界史探究』，『地理総合／歴史総合／公共』	から1	
	公民	『公共，倫理』，『公共，政治・経済』		
	数学①	『数学Ⅰ，数学A』，『数学Ⅰ』	から1	
	数学②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』		
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』	から1	
	情報	『情報Ⅰ』		
	外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』	から1	
			（外国語を含む5教科5科目又は外国語を含む3教科3科目）	

【選抜方法（前期・後期共通）】
① 大学入学共通テストを5教科5科目以上受験した人については、5教科5科目受験による選抜と、3教科3科目受験による選抜の2つの選抜の対象となります。
3教科3科目又は4教科4科目受験した人については、3教科3科目受験による選抜の対象となります。
② 5教科5科目で選抜する合格者は、定員の概ね50％とします。5教科5科目の合格者は、3教科3科目の選抜の対象から除外されます。
③ 3教科3科目で選抜する合格者は、定員の概ね50％とします。

＊「英語」でリスニングを受験しない場合は、失格となります。
＊「地理歴史，公民」「理科」で2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
＊「数学」で2科目受験した場合は、高得点の科目を採用します。

前期日程

（1）個別学力検査
①試験日　2026年2月25日（水）
②試験場　高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山・高松・福岡
③試験科目及び試験時間

時間	科目名等		科目数	
9:40～12:00	小論文		必須	から1
	地理歴史	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」	から1	
	公民	『公共，政治・経済』		
	数学	数学Ⅰ，数学A，数学Ⅱ，数学B，数学Cを合わせたものを「数学」として出題 ＊数学Aは「図形の性質」，「場合の数と確率」を，数学Bは「数列」を，数学Cは「ベクトル」を出題範囲とする。		
			（小論文及び1教科1科目）	

（2）大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

●5教科5科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点							合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	350点＋150点×4科目＝950点	1,350点
	350点に換算します。	各科目を150点に換算します。							
個別学力検査	小論文		地理歴史	公民	数学			200点×2科目＝400点	
	200点		200点						

●3教科3科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点							合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	200点＋100点×2科目＝400点	800点
	200点	各科目100点（国語を100点に換算します。）							
個別学力検査	小論文		地理歴史	公民	数学			200点×2科目＝400点	
	200点		200点						

（3）合格発表日
2026年3月6日（金）　午前10時から

後期日程

（1）個別学力検査
①試験日　2026年3月12日（木）
②試験場　高崎・札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・岡山
③試験科目及び試験時間

時間	科目名等
9:30～11:00	小論文

（2）大学入学共通テストと個別学力検査の配点・換算方法

●5教科5科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点							合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	350点＋150点×4科目＝950点	1,250点
	350点に換算します。	各科目を150点に換算します。							
個別学力検査	小論文							300点	
	300点								

●3教科3科目を受験する方法

試験の区分	教科別配点							合計	総点
大学入学共通テスト	外国語	国語	地理歴史	公民	数学	理科	情報	200点＋100点×2科目＝400点	700点
	200点	各科目100点（国語を100点に換算します。）							
個別学力検査	小論文							300点	
	300点								

（3）合格発表日
2026年3月21日（土）　午前10時から